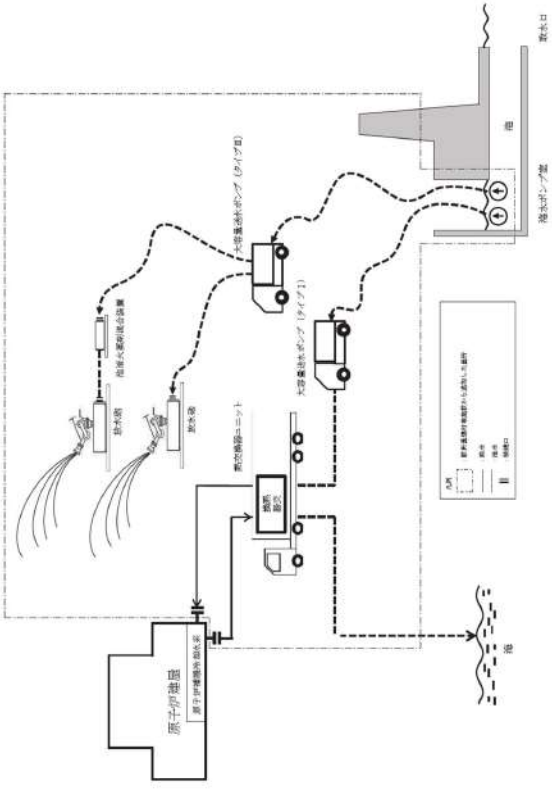


灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第1.13-10図 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種供給）概要図（2/2） （海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>女川2号炉との比較対象なし</p> </div>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>手順の項目</p> <p>海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種供給） （海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p> <p>（転送ヒートシンク（潜熱）への吐き出し）</p>	<p>手続の項目</p> <p>海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種供給） （海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p> <p>（転送ヒートシンク（潜熱）への吐き出し）</p> <p>48分</p> <p>※1：大容量送水ポンプ（タイプ1）及びホースの設置場所は第1保管エリア、第2保管エリア、第3保管エリア及び第4保管エリア。第3保管エリア及び第4保管エリアはBWR固有の設備であり、泊3号炉と比較対象とならない。</p> <p>※2：転送ヒートシンク（潜熱）への吐き出しは、第1保管エリアから取水口までを想定した移動時間と大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮した作業時間（余裕を見込んだ時間）を指す。</p> <p>※3：大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間は、第1保管エリアから取水口までを想定した移動時間と大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮した作業時間（余裕を見込んだ時間）を指す。</p> <p>※4：大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間は、第1保管エリアから取水口までを想定した移動時間と大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮した作業時間（余裕を見込んだ時間）を指す。</p> <p>※5：大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間は、第1保管エリアから取水口までを想定した移動時間と大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮した作業時間（余裕を見込んだ時間）を指す。</p> <p>※6：大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間は、第1保管エリアから取水口までを想定した移動時間と大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮した作業時間（余裕を見込んだ時間）を指す。</p> <p>※7：ホースの敷設時間を考慮した作業時間（余裕を見込んだ時間）を指す。</p> <p>※8：熱交換ユニットの敷設時間を考慮した作業時間（余裕を見込んだ時間）を指す。</p>	<p>海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種供給） タイムチャート（2/2）</p> <p>（海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>凡例 ① 閉鎖弁 ② 常開弁 ③ 常閉弁 ④ 常開弁</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: right;"> <p>第11.8図 No. 2取水タンクから復水ベクトへの補給 補給系統</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;"> <p>第11.8.7図 No. 2取水タンクから復水ベクトへの補給 タイムチャート</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: right;"> <p>第11.8.8図 No. 2取水タンクから復水ベクトへの補給 タイムチャート</p> </div> </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>大飯3/4号炉との比較対象なし</p> </div>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由③）</p>

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

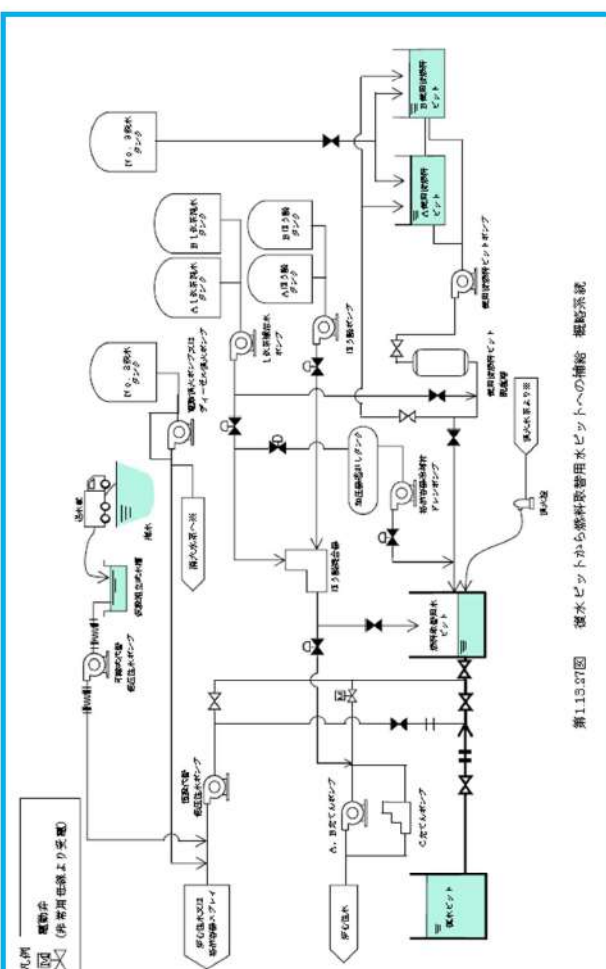
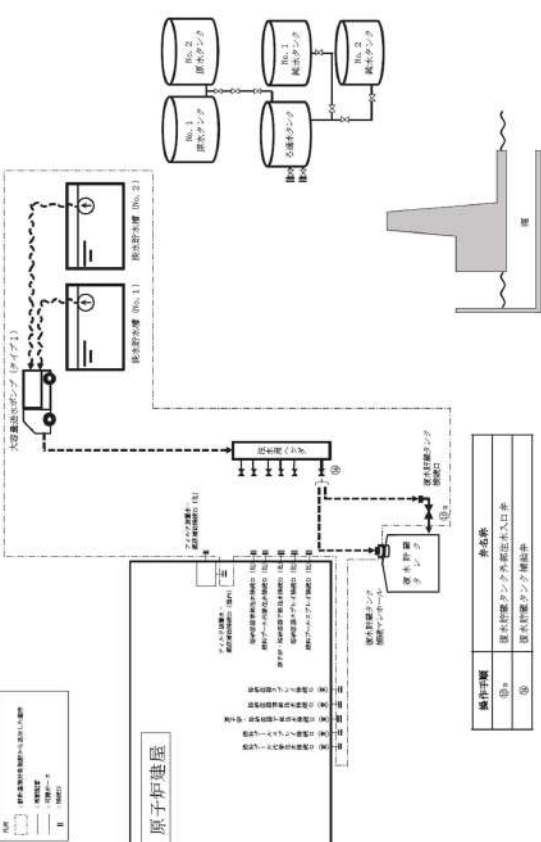
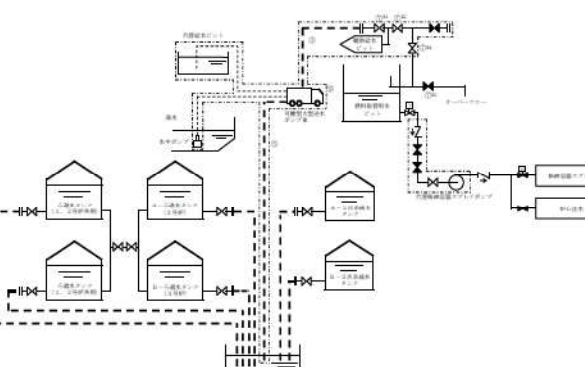
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="107 347 640 1241" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="651 352 680 922" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですのて公開することはできません。 </div> <p data-bbox="689 448 719 1150" style="text-align: center;">第1.13.8図 No. 2淡水タンクから復水ピットへの補給 ホース敷設ルート</p>		<div data-bbox="1431 767 1944 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 大飯3/4号炉との比較対象なし </div>	<p data-bbox="2018 751 2163 831" style="color: red;">【大飯】 設備の相違(相違理由③)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

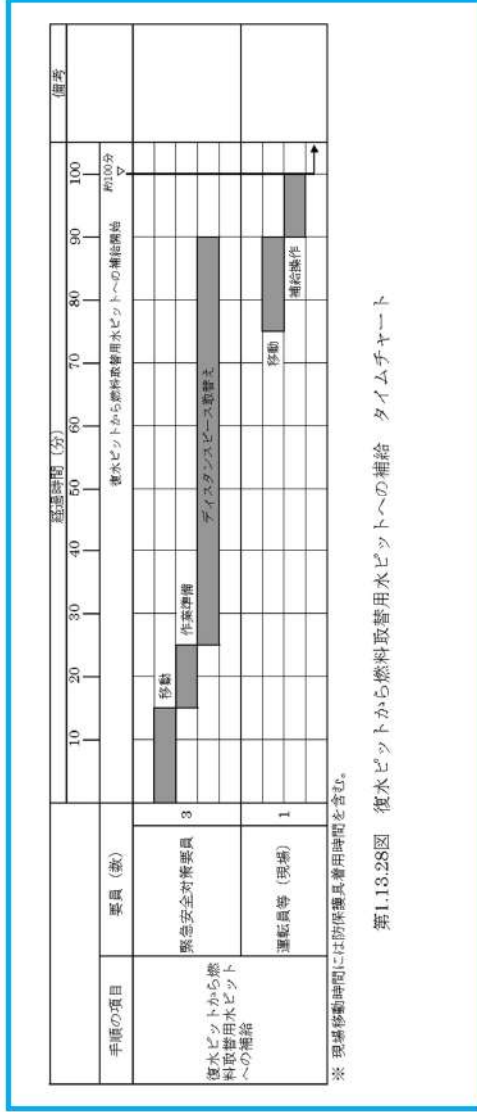
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p style="text-align: center;">第113-27図 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給 概略系統</p>	 <p style="text-align: center;">第1-13-13図 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給概要図</p>	 <table border="1" data-bbox="1456 973 1926 1085"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作考慮事項</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 送水ポンプ</td> <td></td> <td>ポンプ稼働</td> </tr> <tr> <td>② 送水ポンプ</td> <td></td> <td>ポンプ稼働</td> </tr> <tr> <td>③ 大容量送水ポンプ</td> <td>送水ポンプ稼働時（5分間）</td> <td>全停→稼働</td> </tr> <tr> <td>④ 燃料取替用水ピット</td> <td>燃料取替用水ピット送水ポンプ稼働時（5分間）</td> <td>全停→稼働</td> </tr> <tr> <td>⑤ 燃料取替用水ピット</td> <td>燃料取替用水ピット送水ポンプ稼働時（5分間）</td> <td>全停→稼働</td> </tr> <tr> <td>⑥ 大容量送水ポンプ</td> <td></td> <td>停止→稼働</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第1.13.2図 原水槽を水源とした可搬型大容量送水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作考慮事項	状態の変化	① 送水ポンプ		ポンプ稼働	② 送水ポンプ		ポンプ稼働	③ 大容量送水ポンプ	送水ポンプ稼働時（5分間）	全停→稼働	④ 燃料取替用水ピット	燃料取替用水ピット送水ポンプ稼働時（5分間）	全停→稼働	⑤ 燃料取替用水ピット	燃料取替用水ピット送水ポンプ稼働時（5分間）	全停→稼働	⑥ 大容量送水ポンプ		停止→稼働	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ
操作手順	操作考慮事項	状態の変化																						
① 送水ポンプ		ポンプ稼働																						
② 送水ポンプ		ポンプ稼働																						
③ 大容量送水ポンプ	送水ポンプ稼働時（5分間）	全停→稼働																						
④ 燃料取替用水ピット	燃料取替用水ピット送水ポンプ稼働時（5分間）	全停→稼働																						
⑤ 燃料取替用水ピット	燃料取替用水ピット送水ポンプ稼働時（5分間）	全停→稼働																						
⑥ 大容量送水ポンプ		停止→稼働																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

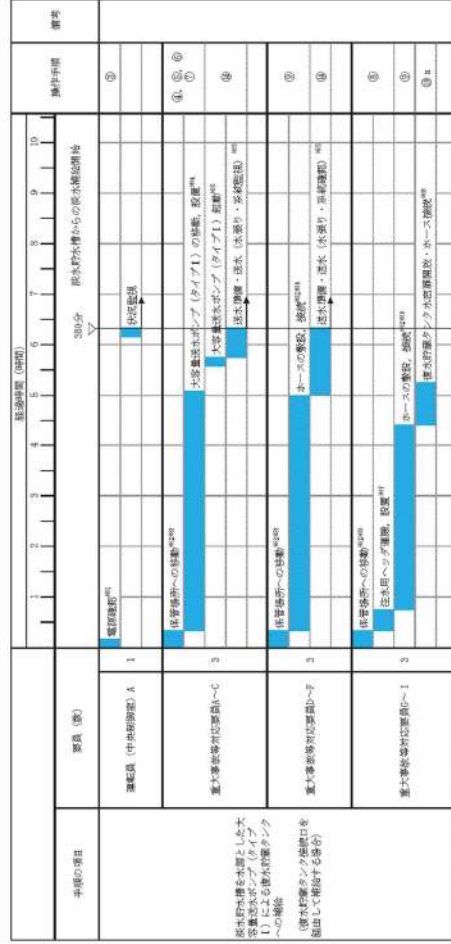
大飯発電所3/4号炉

【比較のため、記載順序入替え】



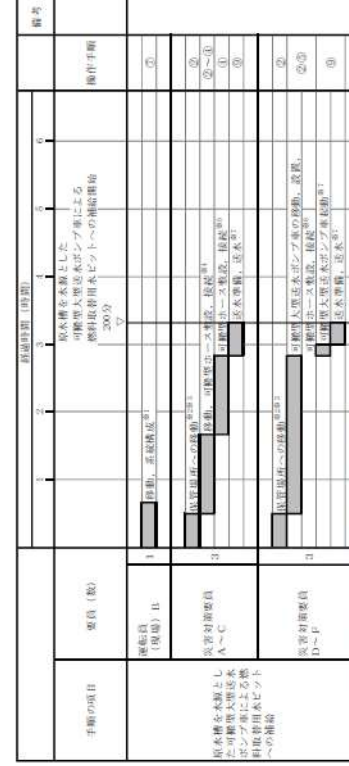
第1.13.28図 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉



第1.13-14図 大容量送水ポンプを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（1/2）
（復水貯蔵タンク接続口を臨田して補給する場合）

泊発電所3号炉



第1.13.3図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプによる

燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート

- ・【大飯】
設備の相違（相違理由⑥）
- ・【大飯】
記載方針の相違（女川審査実績の反映）
- ・タイムチャート
を操作手順番号
を紐づけ
- ・補足の充実
- ・備考欄の追加

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
<p>【比較のため、再掲】</p> <p>第113.37図 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>第1.13-16 図 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給概要図</p> <table border="1" data-bbox="1209 750 1321 1197"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>必要な</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>淡水貯蔵タンク外側注水口止弁</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>淡水貯蔵タンク貯蔵用配管止弁（大容量送水ポンプ用）</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>淡水貯蔵タンク貯蔵用配管止弁（大容量送水ポンプ用）</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>淡水貯蔵タンク貯蔵止弁</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>淡水貯蔵タンク貯蔵止弁</td> </tr> </tbody> </table>	操作手順	必要な	①	淡水貯蔵タンク外側注水口止弁	②	淡水貯蔵タンク貯蔵用配管止弁（大容量送水ポンプ用）	③	淡水貯蔵タンク貯蔵用配管止弁（大容量送水ポンプ用）	④	淡水貯蔵タンク貯蔵止弁	⑤	淡水貯蔵タンク貯蔵止弁	<p>第1.13.4 図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1456 989 1926 1085"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>装置の名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ車</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ車</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>淡水貯蔵タンク貯蔵用配管止弁（大容量送水ポンプ用）</td> <td>配管止弁</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>燃料取替用水ピット貯蔵用配管止弁（大容量送水ポンプ用）</td> <td>配管止弁</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>燃料取替用水ピット貯蔵用配管止弁（大容量送水ポンプ用）</td> <td>配管止弁</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>ポンプ車</td> </tr> </tbody> </table>	操作手順	操作対象機器	装置の名称	①	可搬型ポンプ	ポンプ車	②	可搬型ポンプ	ポンプ車	③	淡水貯蔵タンク貯蔵用配管止弁（大容量送水ポンプ用）	配管止弁	④	燃料取替用水ピット貯蔵用配管止弁（大容量送水ポンプ用）	配管止弁	⑤	燃料取替用水ピット貯蔵用配管止弁（大容量送水ポンプ用）	配管止弁	⑥	可搬型大型送水ポンプ車	ポンプ車	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ
操作手順	必要な																																			
①	淡水貯蔵タンク外側注水口止弁																																			
②	淡水貯蔵タンク貯蔵用配管止弁（大容量送水ポンプ用）																																			
③	淡水貯蔵タンク貯蔵用配管止弁（大容量送水ポンプ用）																																			
④	淡水貯蔵タンク貯蔵止弁																																			
⑤	淡水貯蔵タンク貯蔵止弁																																			
操作手順	操作対象機器	装置の名称																																		
①	可搬型ポンプ	ポンプ車																																		
②	可搬型ポンプ	ポンプ車																																		
③	淡水貯蔵タンク貯蔵用配管止弁（大容量送水ポンプ用）	配管止弁																																		
④	燃料取替用水ピット貯蔵用配管止弁（大容量送水ポンプ用）	配管止弁																																		
⑤	燃料取替用水ピット貯蔵用配管止弁（大容量送水ポンプ用）	配管止弁																																		
⑥	可搬型大型送水ポンプ車	ポンプ車																																		

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>※1：中央制御室での待機時間 ※2：中央制御室での待機時間 ※3：緊急時対応エリア及び緊急時対応エリア ※4：緊急時対応エリアからの待機時間 ※5：緊急時対応エリアからの待機時間 ※6：緊急時対応エリアからの待機時間 ※7：緊急時対応エリアからの待機時間 ※8：緊急時対応エリアからの待機時間</p> <p>第1.13-18図 大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（2/2） （復水貯蔵タンク授配マンホールを經由して補給する割合）</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																											
<p>【比較のため、再掲】</p> <p>第113.57図 海水ピットから燃料油取替用水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>第1.13-19図 海を水源とした大容量送水ポンプ(タイプI)による海水貯蔵タンクへの補給概要図</p>	<p>第1.13.6図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料油取替用水ピットへの補給 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1456 957 1904 1085"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>種別対象機器</th> <th>状態の変更</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 可搬型ポンプ車</td> <td>ポンプ車</td> <td>モータ起動</td> </tr> <tr> <td>② 可搬型ポンプ車</td> <td>ポンプ車</td> <td>モータ停止</td> </tr> <tr> <td>③ 海水貯蔵タンク外給排水入口弁</td> <td>弁</td> <td>開閉</td> </tr> <tr> <td>④ 海水貯蔵タンク給排水弁</td> <td>弁</td> <td>開閉</td> </tr> <tr> <td>⑤ 燃料油取替用水ピット給排水ライン止め弁 (5A制御)</td> <td>弁</td> <td>開閉</td> </tr> <tr> <td>⑥ 燃料油取替用水ピット給排水ライン止め弁 (5B制御)</td> <td>弁</td> <td>開閉</td> </tr> <tr> <td>⑦ 燃料油取替用水ピット給排水ライン止め弁 (5C制御)</td> <td>弁</td> <td>開閉</td> </tr> <tr> <td>⑧ 可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>ポンプ車</td> <td>停止</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～⑧同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	種別対象機器	状態の変更	① 可搬型ポンプ車	ポンプ車	モータ起動	② 可搬型ポンプ車	ポンプ車	モータ停止	③ 海水貯蔵タンク外給排水入口弁	弁	開閉	④ 海水貯蔵タンク給排水弁	弁	開閉	⑤ 燃料油取替用水ピット給排水ライン止め弁 (5A制御)	弁	開閉	⑥ 燃料油取替用水ピット給排水ライン止め弁 (5B制御)	弁	開閉	⑦ 燃料油取替用水ピット給排水ライン止め弁 (5C制御)	弁	開閉	⑧ 可搬型大型送水ポンプ車	ポンプ車	停止	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を結びつけ
操作手順	種別対象機器	状態の変更																												
① 可搬型ポンプ車	ポンプ車	モータ起動																												
② 可搬型ポンプ車	ポンプ車	モータ停止																												
③ 海水貯蔵タンク外給排水入口弁	弁	開閉																												
④ 海水貯蔵タンク給排水弁	弁	開閉																												
⑤ 燃料油取替用水ピット給排水ライン止め弁 (5A制御)	弁	開閉																												
⑥ 燃料油取替用水ピット給排水ライン止め弁 (5B制御)	弁	開閉																												
⑦ 燃料油取替用水ピット給排水ライン止め弁 (5C制御)	弁	開閉																												
⑧ 可搬型大型送水ポンプ車	ポンプ車	停止																												

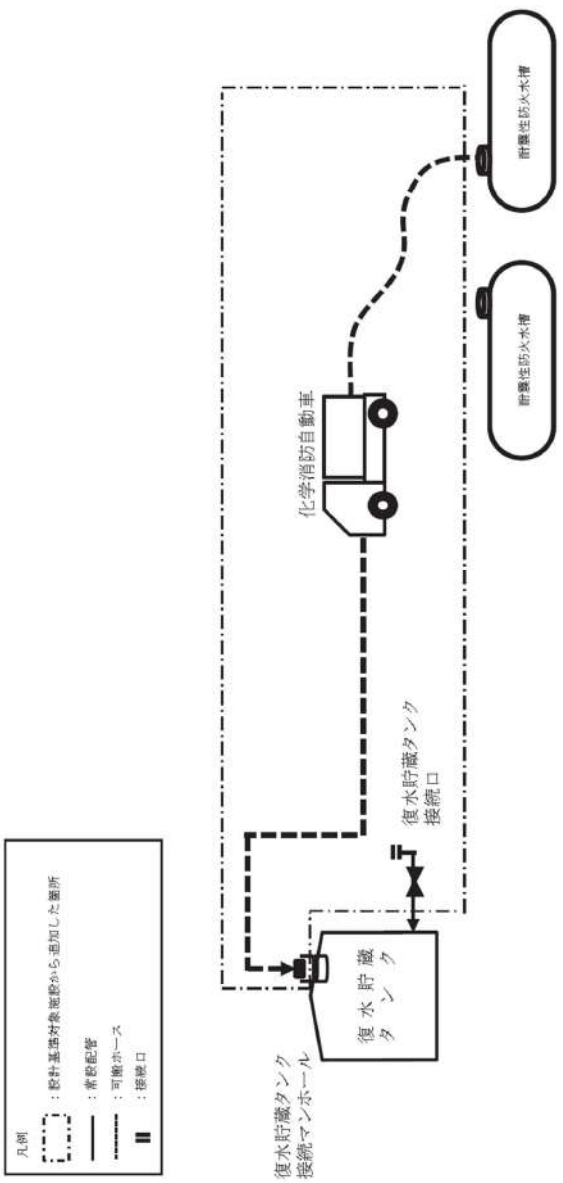
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図 1.13-21 海水水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（2/4） （取水口から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを越えて補給する場合（山形ルート））</p>	<p>図 1.13-21 図 海水水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（2/4） （取水口から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを越えて補給する場合（山形ルート））</p>	<p>図 1.13-21 図 海水水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（2/4） （海水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続口を越えて補給する場合）</p>	
<p>図 1.13-22 海水水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（3/4） （海水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続口を越えて補給する場合）</p>	<p>図 1.13-22 図 海水水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（3/4） （海水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続口を越えて補給する場合）</p>	<p>図 1.13-22 図 海水水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（3/4） （海水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続口を越えて補給する場合）</p>	
<p>図 1.13-23 海水水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（4/4） （海水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続口を越えて補給する場合）</p>	<p>図 1.13-23 図 海水水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（4/4） （海水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続口を越えて補給する場合）</p>	<p>図 1.13-23 図 海水水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（4/4） （海水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続口を越えて補給する場合）</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉</p>  <p style="text-align: center;">第 1.13-24 図 耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給概要図</p>	<p>女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 設備の相違（相違理由①）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>65分 耐震性防火水槽からの補給開始</p> <p>① 電源確認 ② 状況監視 ③ 化学消防自動車への移動 ④ 化学消防自動車の移動 ⑤ ホースの敷設・接続 ⑥ 化学消防自動車の起動 ⑦ 送水（水車・流量調整）</p> <p>注1：中央制御室での状況確認に必要な想定時間 注2：化学消防自動車の中央制御室から第1保管エリアまでの移動を想定した移動時間と余裕を見込んだ時間 注3：事務所又は事務棟から第1保管エリアまでの移動を想定した移動時間と化学消防自動車放水訓練の実績を考慮した作業時間と余裕を見込んだ時間 注4：化学消防自動車の放水距離として、第1保管エリアから耐震性防火水槽までの移動時間を想定した移動時間と余裕を見込んだ時間 注5：ホース敷設前後の実績を考慮した作業時間と余裕を見込んだ時間 注6：化学消防自動車の放水訓練の実績を考慮した作業時間と余裕を見込んだ時間 注7：化学消防自動車の放水訓練の実績を考慮した作業時間と余裕を見込んだ時間</p>	<p>【女川】 設備の相違（相違理由①）</p>	<p>【女川】 設備の相違（相違理由①）</p>
<p>大飯発電所3/4号炉</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>泊発電所3号炉</p>	<p>相違理由</p>
<p>手順の項目</p>	<p>要員（数）</p> <p>運転員（中央制御室） A</p> <p>初期消火要員（消防車隊） A～E</p>	<p>65分 耐震性防火水槽からの補給開始</p>	<p>相違理由</p>
<p>耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復旧給水タンクへの補給</p>	<p>① 電源確認 ② 状況監視 ③ 化学消防自動車への移動 ④ 化学消防自動車の移動 ⑤ ホースの敷設・接続 ⑥ 化学消防自動車の起動 ⑦ 送水（水車・流量調整）</p>	<p>65分 耐震性防火水槽からの補給開始</p>	<p>相違理由</p>
<p>操作手順</p>	<p>① ②、③ ④、⑤ ⑥</p>	<p>65分 耐震性防火水槽からの補給開始</p>	<p>相違理由</p>
<p>備考</p>	<p>第 1.13-25 図 耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復旧給水タンクへの補給タイムチャート</p>	<p>女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>相違理由</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.24図 No.2 取水タンクから燃料取替専用水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<table border="1" data-bbox="1406 1037 1948 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>消防ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>電動機駆動消火ポンプ*</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディーゼル駆動消火ポンプ*</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：どちらか1台を起動する。</p> <p>第1.13.8図 ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替専用水ピットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	消防ホース	ホース接続	⑤	電動機駆動消火ポンプ*	停止→起動		ディーゼル駆動消火ポンプ*	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を結びつけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化													
①	消防ホース	ホース接続													
⑤	電動機駆動消火ポンプ*	停止→起動													
	ディーゼル駆動消火ポンプ*	停止→起動													

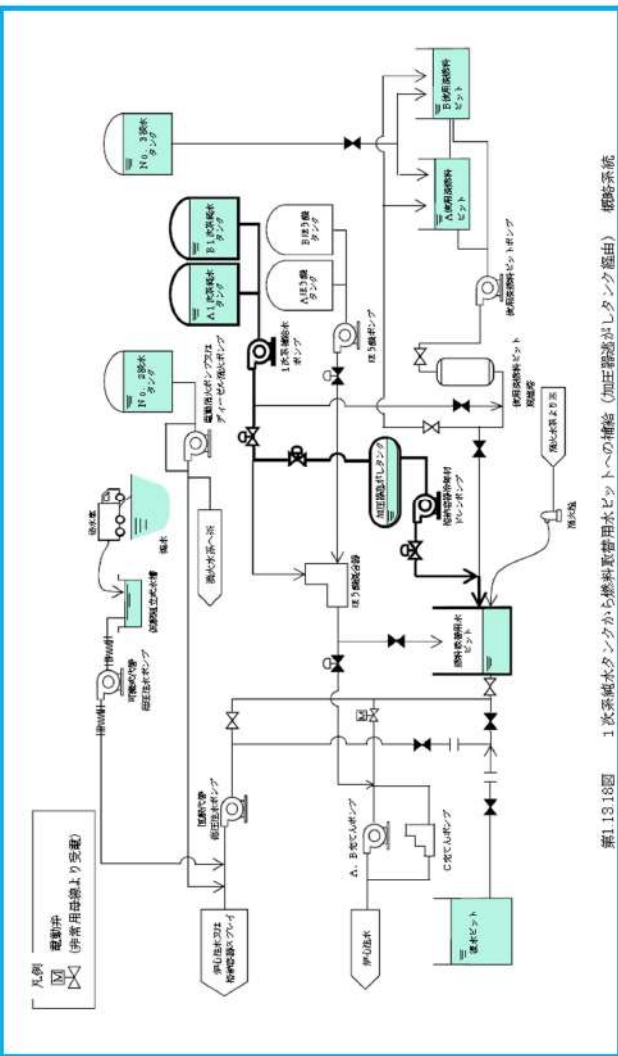
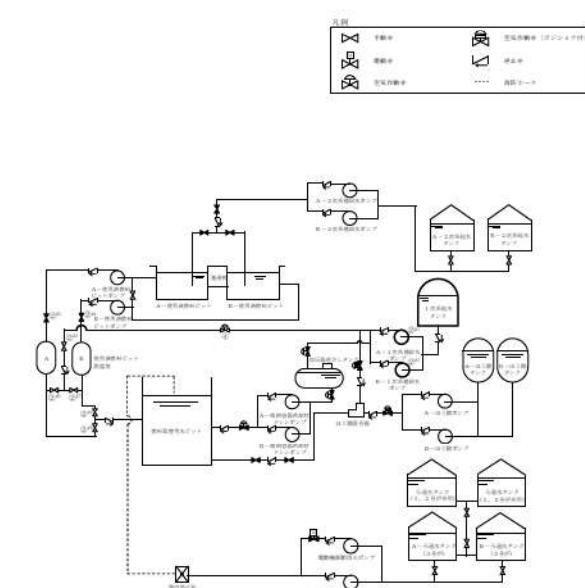
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.25図 No. 2 溢水タンクから燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※：現場移動時間には防護用具着用時間を含む。</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">第 1.13.9 図 ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※1：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の稼働時間を見込んだ時間 ※2：機器の稼働時間及び動作時間に見込んだ時間</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加 <p>【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炉型の相違による対応手段の相違

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>前1.13.18図 1次系統水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（加圧器なしタンク経由） 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1411 957 1948 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>A-1 1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>B-1 1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>A-1 使用済燃料ピット集塵器入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>B-1 使用済燃料ピット集塵器入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>使用済燃料ピット集塵器浄水取り弁</td> <td>選定開閉確認</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>A-1 使用済燃料ピット集塵器浄水弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>B-1 使用済燃料ピット集塵器浄水弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>A-3P2アルタ出口燃料取替用水ピット浄化戻りライン切替弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>B-3P2アルタ出口燃料取替用水ピット浄化戻りライン切替弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑩</td> <td>集塵器補給水止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>前1.13.10図 1次系統水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる 使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピット への補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	A-1 1次系補給水ポンプ	停止→起動	②	B-1 1次系補給水ポンプ	停止→起動	③	A-1 使用済燃料ピット集塵器入口弁	全閉→全開	④	B-1 使用済燃料ピット集塵器入口弁	全閉→全開	⑤	使用済燃料ピット集塵器浄水取り弁	選定開閉確認	⑥	A-1 使用済燃料ピット集塵器浄水弁	全閉→全開	⑦	B-1 使用済燃料ピット集塵器浄水弁	全閉→全開	⑧	A-3P2アルタ出口燃料取替用水ピット浄化戻りライン切替弁	全閉→全開	⑨	B-3P2アルタ出口燃料取替用水ピット浄化戻りライン切替弁	全閉→全開	⑩	集塵器補給水止め弁	全閉→全開	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を結びつけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																		
①	A-1 1次系補給水ポンプ	停止→起動																																		
②	B-1 1次系補給水ポンプ	停止→起動																																		
③	A-1 使用済燃料ピット集塵器入口弁	全閉→全開																																		
④	B-1 使用済燃料ピット集塵器入口弁	全閉→全開																																		
⑤	使用済燃料ピット集塵器浄水取り弁	選定開閉確認																																		
⑥	A-1 使用済燃料ピット集塵器浄水弁	全閉→全開																																		
⑦	B-1 使用済燃料ピット集塵器浄水弁	全閉→全開																																		
⑧	A-3P2アルタ出口燃料取替用水ピット浄化戻りライン切替弁	全閉→全開																																		
⑨	B-3P2アルタ出口燃料取替用水ピット浄化戻りライン切替弁	全閉→全開																																		
⑩	集塵器補給水止め弁	全閉→全開																																		

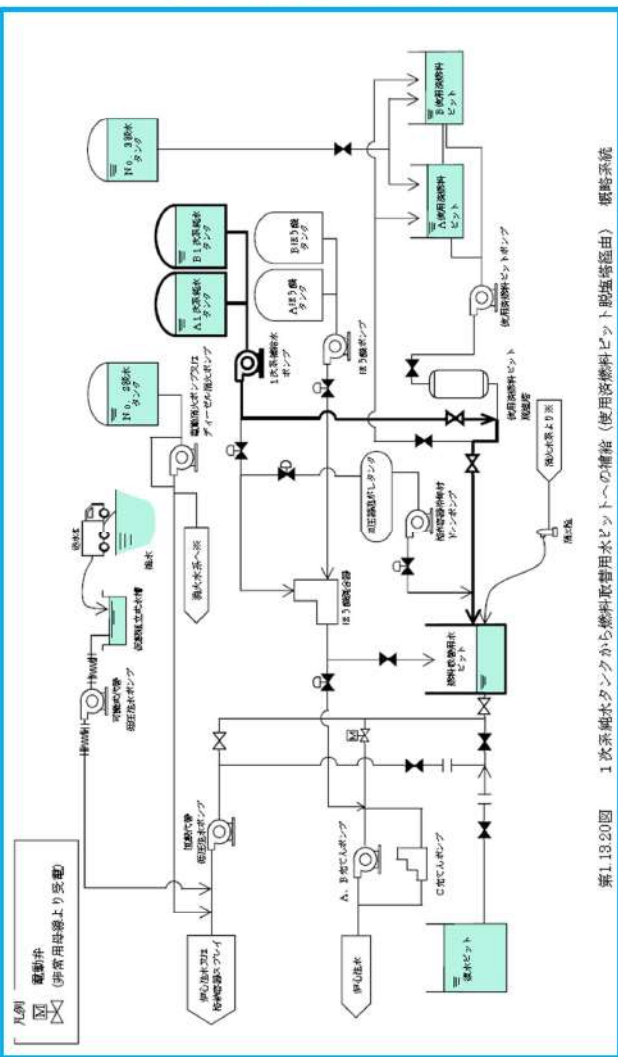
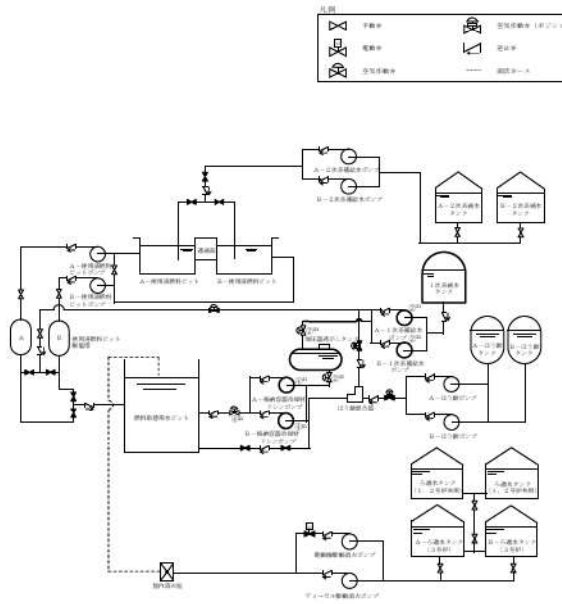
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.19図 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（加圧器述がしタンク経由） タイムチャート</p> <p>※ 現場移動時間には防塵器具着脱時間を含む。</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.11図 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる 使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピット への補給 タイムチャート</p> <p>※1：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間 ※3：機器の操作時間に見込んだ時間</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の 反映） ・タイムチャート に操作手順番号 を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違によ る対応手段の相 違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.20図 1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの補給（使用済燃料ビット脱塩塔経由） 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1411 957 1971 1093"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>設備の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①^注</td> <td>A-1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②^注</td> <td>B-1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>③^注</td> <td>加圧器逃がしタンクドレン弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④^注</td> <td>加圧器逃がしタンク補給水ライン止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤^注</td> <td>A-1格納容器冷却材ドレンポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑥^注</td> <td>格納容器冷却材ドレンポンプ出口6内側隔離弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑦^注</td> <td>B-1格納容器冷却材ドレンポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～⑦同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	設備の変化	① ^注	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動	② ^注	B-1次系補給水ポンプ	停止→起動	③ ^注	加圧器逃がしタンクドレン弁	全閉→全開	④ ^注	加圧器逃がしタンク補給水ライン止め弁	全開→全閉	⑤ ^注	A-1格納容器冷却材ドレンポンプ	停止→起動	⑥ ^注	格納容器冷却材ドレンポンプ出口6内側隔離弁	全開→全閉	⑦ ^注	B-1格納容器冷却材ドレンポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を結びつけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	設備の変化																									
① ^注	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動																									
② ^注	B-1次系補給水ポンプ	停止→起動																									
③ ^注	加圧器逃がしタンクドレン弁	全閉→全開																									
④ ^注	加圧器逃がしタンク補給水ライン止め弁	全開→全閉																									
⑤ ^注	A-1格納容器冷却材ドレンポンプ	停止→起動																									
⑥ ^注	格納容器冷却材ドレンポンプ出口6内側隔離弁	全開→全閉																									
⑦ ^注	B-1格納容器冷却材ドレンポンプ	停止→起動																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入れ替え】</p> <p>第1.13.21図 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（使用済燃料ピット脱塩塔経由） タイムチャート</p> <p>※ 現場移動時間には防護用具着用時間を含む。</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.13図 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※1：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>【比較のため、記載順序入れ替え】</p> <p>第1.13.22図 No. 3 淡水タンクから使用済燃料ピットへを源とした燃料取替用水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<table border="1" data-bbox="1422 981 1960 1093"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>設備の動作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>A-2次系補給水ポンプ</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>A-1使用済燃料ピット逆止弁</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>A-1使用済燃料ピット逆止弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>A-1使用済燃料ピット逆止弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>A-1使用済燃料ピット逆止弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>A-1使用済燃料ピット逆止弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> </tbody> </table> <p>第1.13.14図 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	設備の動作	①	A-2次系補給水ポンプ	起動確認	②	A-1使用済燃料ピット逆止弁	起動確認	③	A-1使用済燃料ピット逆止弁	全閉→全開	④	A-1使用済燃料ピット逆止弁	全開→全閉	⑤	A-1使用済燃料ピット逆止弁	全閉→全開	⑥	A-1使用済燃料ピット逆止弁	全開→全閉	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を結びつけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	設備の動作																						
①	A-2次系補給水ポンプ	起動確認																						
②	A-1使用済燃料ピット逆止弁	起動確認																						
③	A-1使用済燃料ピット逆止弁	全閉→全開																						
④	A-1使用済燃料ピット逆止弁	全開→全閉																						
⑤	A-1使用済燃料ピット逆止弁	全閉→全開																						
⑥	A-1使用済燃料ピット逆止弁	全開→全閉																						

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

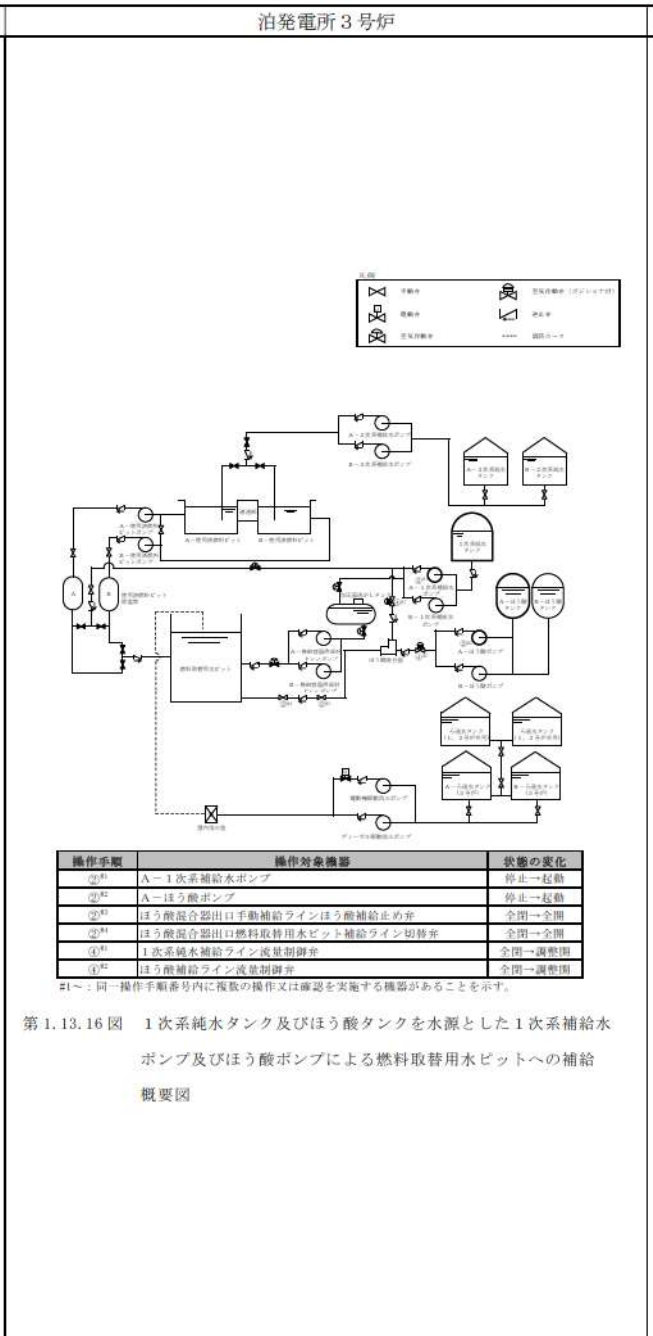
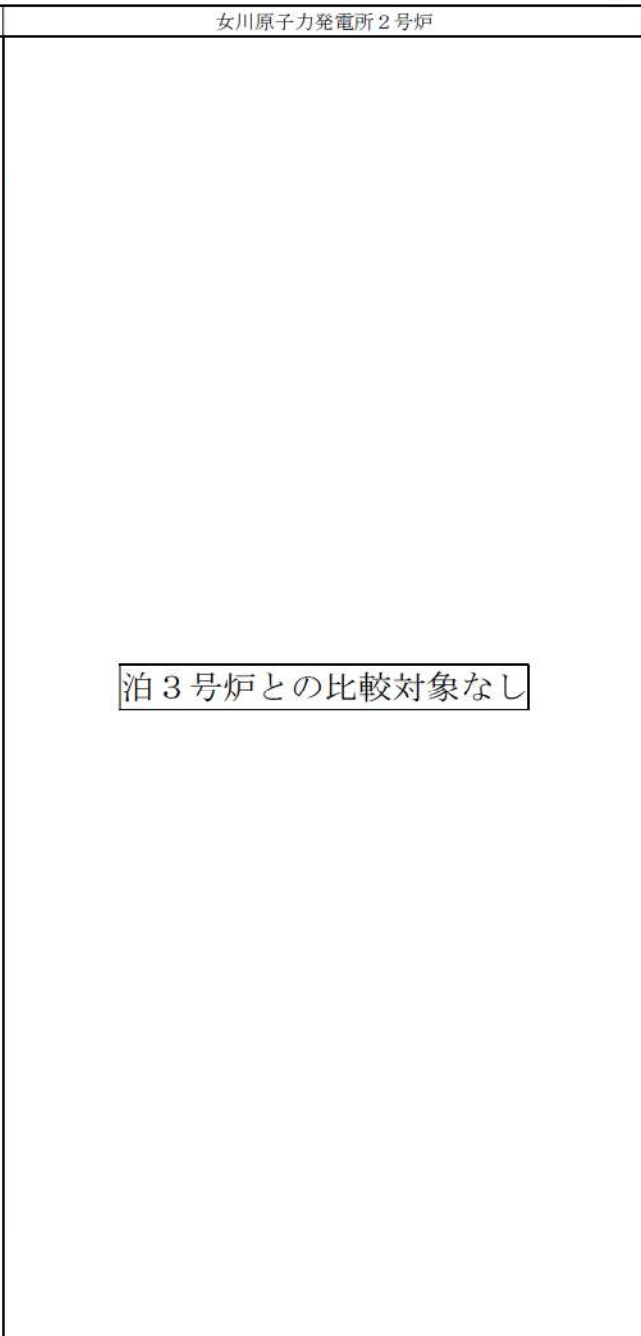
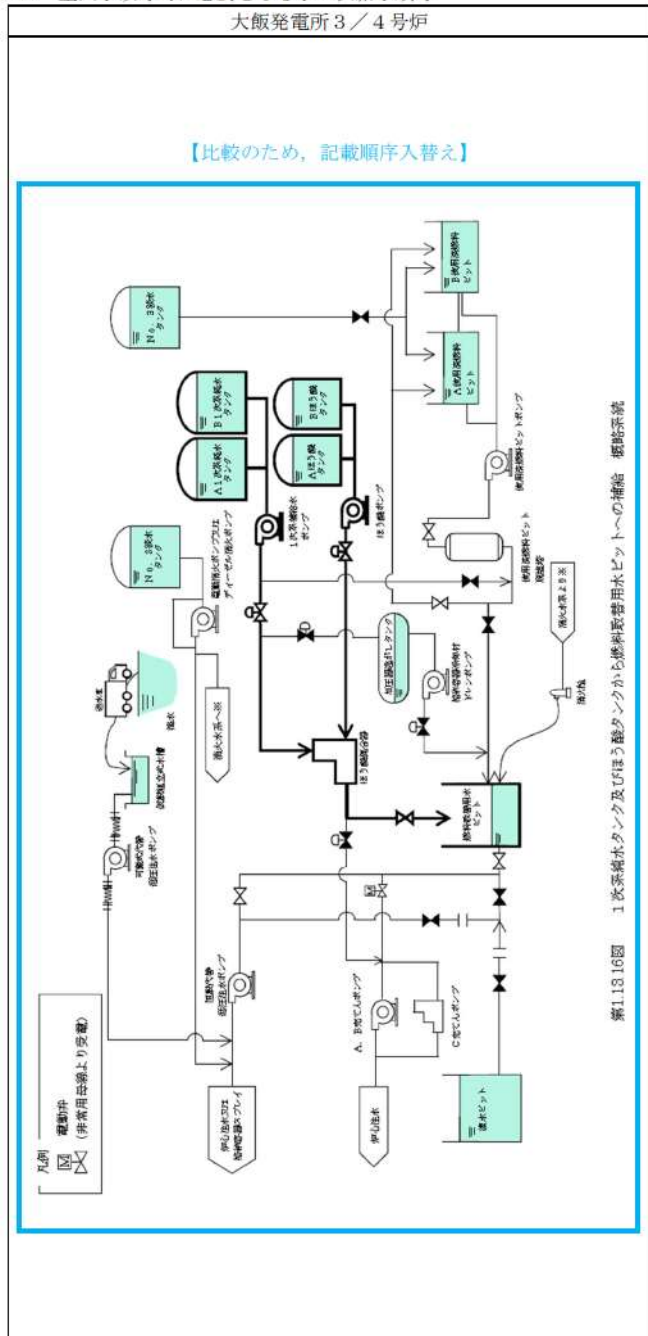
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.23図 No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※ 現場移動時間には防護具着用時間を含む。</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">第1.13.15図 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加 <p>【女川】 記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炉型の相違による対応手段の相違

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



相違理由

【大飯】
記載方針の相違
(女川審査実績の反映)
・凡例の記載内容充実
・概要図と操作内容を結びつけ

【女川】
記載内容の相違
・炉型の相違による対応手段の相違

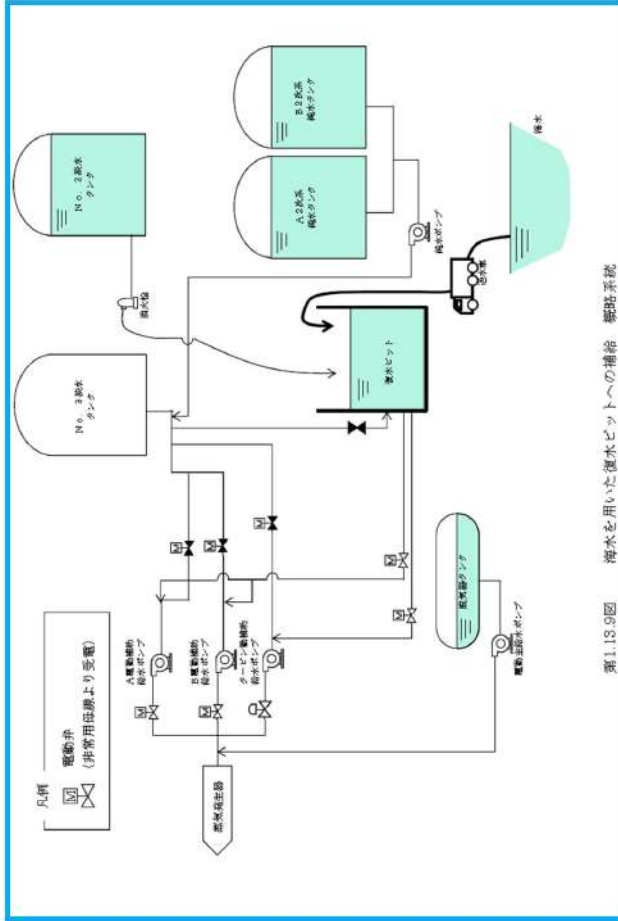
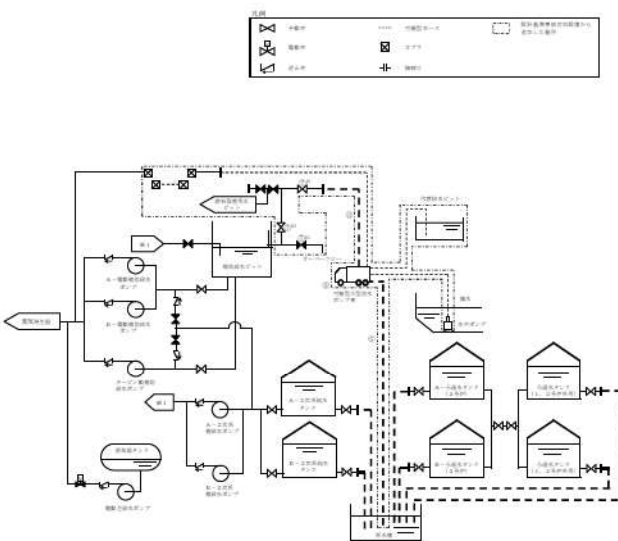
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>※ 現場移動時間には防護員着脱時間を含む。</p> <p>第1.13.17図 1次系純水タンク及びびほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.17図 1次系純水タンク及びびほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びびほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p style="text-align: center;">第1.13.9図 海水を用いた復水ビットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1467 973 1948 1093"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>装置の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>圧力調整可搬型ポンプ接続線用ライン止め栓 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>補助給水ビットローライン給水ライン止め栓 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>補助給水ビット給水ライン止め栓 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第1.13.18図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による 補助給水ビットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	装置の変化	①	可搬型ボース	ボース接続	②	可搬型ボース	ボース接続	③	圧力調整可搬型ポンプ接続線用ライン止め栓 (SA対策)	全閉→全開	④	補助給水ビットローライン給水ライン止め栓 (SA対策)	全閉→全開	⑤	補助給水ビット給水ライン止め栓 (SA対策)	全閉→全開	⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の 反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凡例の記載内容 充実 ・概要図と操作内 容を紐づけ
操作手順	操作対象機器	装置の変化																						
①	可搬型ボース	ボース接続																						
②	可搬型ボース	ボース接続																						
③	圧力調整可搬型ポンプ接続線用ライン止め栓 (SA対策)	全閉→全開																						
④	補助給水ビットローライン給水ライン止め栓 (SA対策)	全閉→全開																						
⑤	補助給水ビット給水ライン止め栓 (SA対策)	全閉→全開																						
⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動																						

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">第1.13.10図 海水を用いた復水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※ 現場移動時間には防保護具着用時間を含む。</p> </div>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">第1.13.19図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 タイムチャート</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																															
<p style="text-align: center;">【比較のため、再掲】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.9図 海水を用いた復水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<table border="1" data-bbox="1456 973 1926 1085"> <thead> <tr> <th>操作名称</th> <th>機器安全機能</th> <th>装置の要件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1号機冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>2号機冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>3号機冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>4号機冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>5号機冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>6号機冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>7号機冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>8号機冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>9号機冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>10号機冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>11号機冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>12号機冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>13号機冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>14号機冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>15号機冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>16号機冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>17号機冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>18号機冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>19号機冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>20号機冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第1.13.20図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 概要図</p>	操作名称	機器安全機能	装置の要件	1号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	2号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	3号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	4号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	5号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	6号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	7号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	8号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	9号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	10号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	11号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	12号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	13号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	14号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	15号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	16号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	17号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	18号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	19号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	20号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作名称	機器安全機能	装置の要件																																																																
1号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ																																																																
2号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ																																																																
3号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ																																																																
4号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ																																																																
5号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ																																																																
6号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ																																																																
7号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ																																																																
8号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ																																																																
9号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ																																																																
10号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ																																																																
11号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ																																																																
12号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ																																																																
13号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ																																																																
14号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ																																																																
15号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ																																																																
16号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ																																																																
17号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ																																																																
18号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ																																																																
19号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ																																																																
20号機冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ																																																																

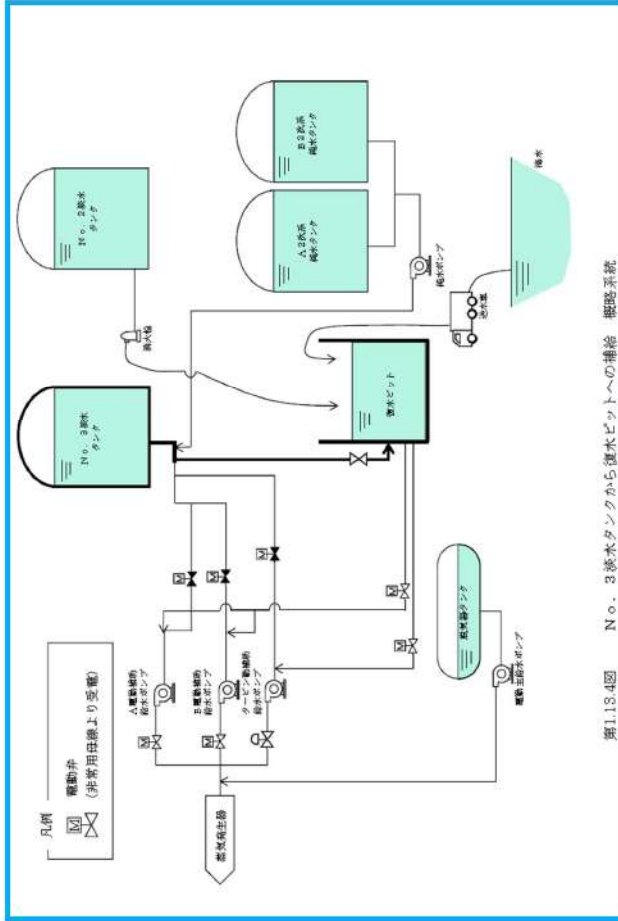
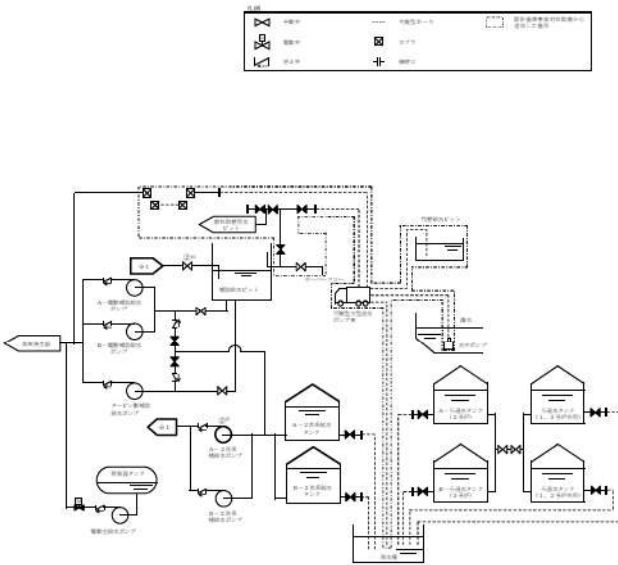
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>手順の項目</p>	<p>要員(名)</p>		
<p>海を水取とした大容量送水ポンプ(タイプII)による淡水貯水槽への補給</p>	<p>重大事故等対応要員A~C 3</p>		
<p>(海水ポンプ室から海水を取水する場合)</p>	<p>重大事故等対応要員D~F 3</p>		
	<p>重大事故等対応要員G~I 3</p>		
	<p>備考</p>		
	<p>操作手順</p>		
	<p>経過時間(時間)</p>		
	<p>205分 海からの海水補給開始</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>大容量送水ポンプ(タイプII)の稼働、防振壁の開放※3※4</p>		
	<p>大容量送水ポンプ(タイプII)稼働※5</p>		
	<p>海水ポンプ室から海水を取水(水張り・系圧監視)※5</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>海水ポンプ室から海水を取水(水張り・系圧監視)※5</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		
	<p>ホースの敷設、接続※6</p>		
	<p>保管場所への移動※1※2</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由									
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.4図 No.3淡水タンクから補助水ビットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1489 1029 1960 1085"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①^{注1)}</td> <td>A-2次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②^{注1)}</td> <td>補助給水ビット配管水補給ライン戻り有り</td> <td>全閉→調整開</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.13.24図 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① ^{注1)}	A-2次系補給水ポンプ	停止→起動	② ^{注1)}	補助給水ビット配管水補給ライン戻り有り	全閉→調整開	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を結びつけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化										
① ^{注1)}	A-2次系補給水ポンプ	停止→起動										
② ^{注1)}	補助給水ビット配管水補給ライン戻り有り	全閉→調整開										

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

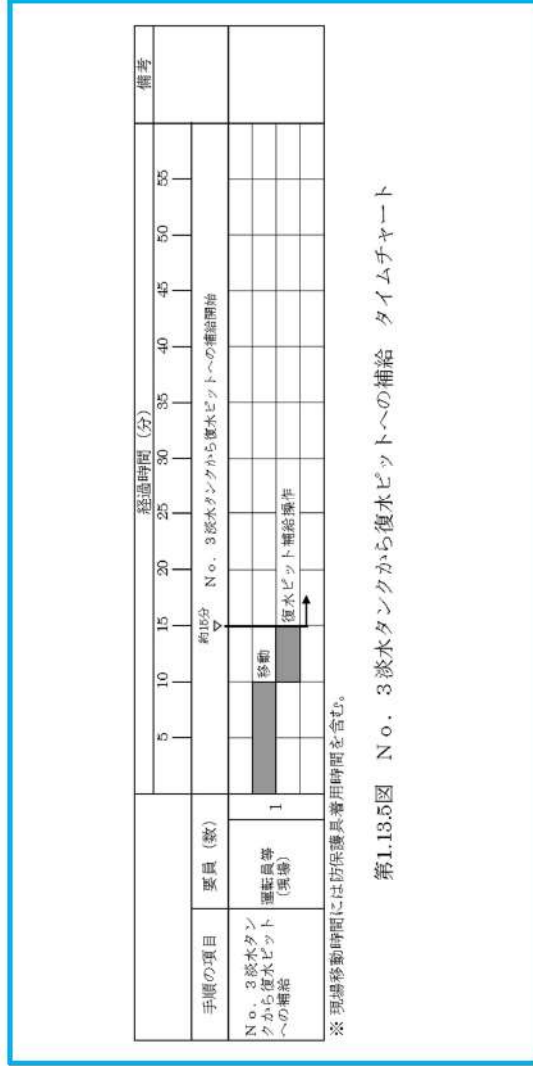
大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

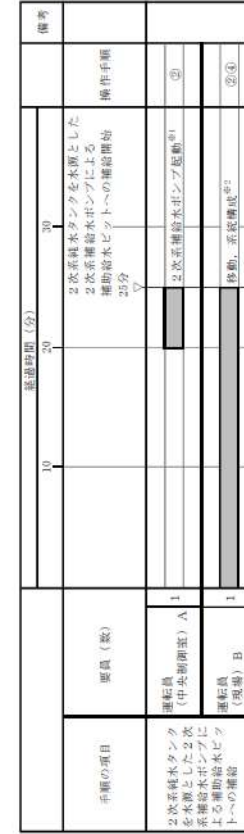
泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、記載順序入替え】



泊3号炉との比較対象なし



第1.13.25図 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補給水ピットへの補給 タイムチャート

- 【大飯】
記載方針の相違
（女川審査実績の反映）
・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ
・補足の充実
・備考欄の追加
- 【女川】
記載内容の相違
・炉型の相違による対応手段の相違

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="844 767 1254 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="1370 395 2000 893" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1415 933 1915 1141" style="margin-top: 10px;"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作系統</th> <th>操作対象機器</th> <th>設備の状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">①</td> <td>A-1ろ過水タンク取水弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>B-1ろ過水タンク取水弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>A-2二次系純水タンク取水弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>B-2二次系純水タンク取水弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>A-ろ過水タンクブローヤ</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>B-ろ過水タンクブローヤ</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬用ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">③</td> <td>A-ろ過水タンク取水弁*</td> <td>全開-全開</td> </tr> <tr> <td>B-ろ過水タンク取水弁*</td> <td>全開-全開</td> </tr> <tr> <td>A-2次系純水タンク取水弁*</td> <td>全開-全開</td> </tr> <tr> <td>B-2次系純水タンク取水弁*</td> <td>全開-全開</td> </tr> <tr> <td>A-ろ過水タンクブローヤ*</td> <td>全開-全開</td> </tr> <tr> <td>B-ろ過水タンクブローヤ*</td> <td>全開-全開</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">* いずれの弁も全開とする。</p> </div>	操作系統	操作対象機器	設備の状況	①	A-1ろ過水タンク取水弁	全開確認	B-1ろ過水タンク取水弁	全開確認	A-2二次系純水タンク取水弁	全開確認	B-2二次系純水タンク取水弁	全開確認	A-ろ過水タンクブローヤ	全開確認	B-ろ過水タンクブローヤ	全開確認	②	可搬用ホース	ホース接続	③	A-ろ過水タンク取水弁*	全開-全開	B-ろ過水タンク取水弁*	全開-全開	A-2次系純水タンク取水弁*	全開-全開	B-2次系純水タンク取水弁*	全開-全開	A-ろ過水タンクブローヤ*	全開-全開	B-ろ過水タンクブローヤ*	全開-全開	<p style="color: red;">【大飯】 設備の相違（相違理由②）</p> <p style="color: red;">【女川】 設備の相違（相違理由②）</p>
操作系統	操作対象機器	設備の状況																																	
①	A-1ろ過水タンク取水弁	全開確認																																	
	B-1ろ過水タンク取水弁	全開確認																																	
	A-2二次系純水タンク取水弁	全開確認																																	
	B-2二次系純水タンク取水弁	全開確認																																	
	A-ろ過水タンクブローヤ	全開確認																																	
	B-ろ過水タンクブローヤ	全開確認																																	
②	可搬用ホース	ホース接続																																	
③	A-ろ過水タンク取水弁*	全開-全開																																	
	B-ろ過水タンク取水弁*	全開-全開																																	
	A-2次系純水タンク取水弁*	全開-全開																																	
	B-2次系純水タンク取水弁*	全開-全開																																	
	A-ろ過水タンクブローヤ*	全開-全開																																	
	B-ろ過水タンクブローヤ*	全開-全開																																	

第 1.13.26 図 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給
概要図

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">第 1.13.27 図 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給 タイムチャート</p>	<p style="color: red;">【大飯】 設備の相違（相違理由⑤）</p> <p style="color: red;">【女川】 設備の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13-29図 燃料取替用水ビットからの復水ビットへの水源切替 概略系図</p>	<p>第1.13-29図 高圧炉心スプレイ系による原子炉压力容器への注水時の水源の切替 概略図</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②#1</td> <td>HPCS ポンプ CST 吸込弁</td> </tr> <tr> <td>②#2</td> <td>HPCS ポンプ S/C 吸込弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p>	操作手順	弁名称	②#1	HPCS ポンプ CST 吸込弁	②#2	HPCS ポンプ S/C 吸込弁	<p>第1.13.28図 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え（原子炉容器への注水中の場合） 概要図</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②#1</td> <td>日一燃料貯蔵スプレイ出口高圧出口(CV)外部隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②#2</td> <td>代替燃料貯蔵スプレイポンプ補助給水ビット吸入入口止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②#3</td> <td>代替燃料貯蔵スプレイポンプ入口マスト止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②#4</td> <td>代替燃料貯蔵スプレイポンプ接続ライン止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②#5</td> <td>日一高圧炉心スプレイ出口高圧隔離スプレイ入口マスト止め弁 (SA2系)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②#6</td> <td>代替燃料貯蔵スプレイポンプ出口燃料貯蔵スプレイ用取り弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②#7</td> <td>代替燃料貯蔵スプレイポンプ出口炉心注入用取り弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②#8</td> <td>代替燃料貯蔵スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を結びつけ</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	②#1	日一燃料貯蔵スプレイ出口高圧出口(CV)外部隔離弁	全閉→全開	②#2	代替燃料貯蔵スプレイポンプ補助給水ビット吸入入口止め弁	全開→全閉	②#3	代替燃料貯蔵スプレイポンプ入口マスト止め弁	全開→全閉	②#4	代替燃料貯蔵スプレイポンプ接続ライン止め弁	全開→全閉	②#5	日一高圧炉心スプレイ出口高圧隔離スプレイ入口マスト止め弁 (SA2系)	全開→全閉	②#6	代替燃料貯蔵スプレイポンプ出口燃料貯蔵スプレイ用取り弁	全開→全閉	②#7	代替燃料貯蔵スプレイポンプ出口炉心注入用取り弁	全開→全閉	②#8	代替燃料貯蔵スプレイポンプ	停止→起動	
操作手順	弁名称																																			
②#1	HPCS ポンプ CST 吸込弁																																			
②#2	HPCS ポンプ S/C 吸込弁																																			
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																		
②#1	日一燃料貯蔵スプレイ出口高圧出口(CV)外部隔離弁	全閉→全開																																		
②#2	代替燃料貯蔵スプレイポンプ補助給水ビット吸入入口止め弁	全開→全閉																																		
②#3	代替燃料貯蔵スプレイポンプ入口マスト止め弁	全開→全閉																																		
②#4	代替燃料貯蔵スプレイポンプ接続ライン止め弁	全開→全閉																																		
②#5	日一高圧炉心スプレイ出口高圧隔離スプレイ入口マスト止め弁 (SA2系)	全開→全閉																																		
②#6	代替燃料貯蔵スプレイポンプ出口燃料貯蔵スプレイ用取り弁	全開→全閉																																		
②#7	代替燃料貯蔵スプレイポンプ出口炉心注入用取り弁	全開→全閉																																		
②#8	代替燃料貯蔵スプレイポンプ	停止→起動																																		

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.15図 燃料取替用水ビットから復水ビットへの水源切替 タイムチャート</p> <p>※ 現業移動時間には対応機員専用時間を含む。</p>	<p style="text-align: center;">第 1.13-30 図 高圧炉心スプレイス系による原子炉圧力容器への注水時の水源の切替えタイムチャート</p>	<p style="text-align: center;">第 1.13.29 図 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え (原子炉容器への注水中の場合) タイムチャート</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の 反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.30図 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水源切替 概略系図</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.30図 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え (原子炉格納容器内へのスプレイング中の場合) 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1444 1029 1948 1141"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>機軸対象機器</th> <th>装置の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>代替格納容器スプレイング補助給水ピット側入口止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>代替格納容器スプレイング入口ストロム止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>代替格納容器スプレイング接続ライン止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>代替格納容器スプレイング出口格納容器スプレイング絞り弁</td> <td>全開→調整開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>目一格納容器スプレイング出口の1/4外側開閉弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>代替格納容器スプレイング</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機軸があることを示す。</p>	操作手順	機軸対象機器	装置の変化	①	代替格納容器スプレイング補助給水ピット側入口止め弁	全開→全開	②	代替格納容器スプレイング入口ストロム止め弁	全開→全開	③	代替格納容器スプレイング接続ライン止め弁	全開→全開	④	代替格納容器スプレイング出口格納容器スプレイング絞り弁	全開→調整開	⑤	目一格納容器スプレイング出口の1/4外側開閉弁	全開→全開	⑥	代替格納容器スプレイング	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を結びつけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	機軸対象機器	装置の変化																						
①	代替格納容器スプレイング補助給水ピット側入口止め弁	全開→全開																						
②	代替格納容器スプレイング入口ストロム止め弁	全開→全開																						
③	代替格納容器スプレイング接続ライン止め弁	全開→全開																						
④	代替格納容器スプレイング出口格納容器スプレイング絞り弁	全開→調整開																						
⑤	目一格納容器スプレイング出口の1/4外側開閉弁	全開→全開																						
⑥	代替格納容器スプレイング	停止→起動																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

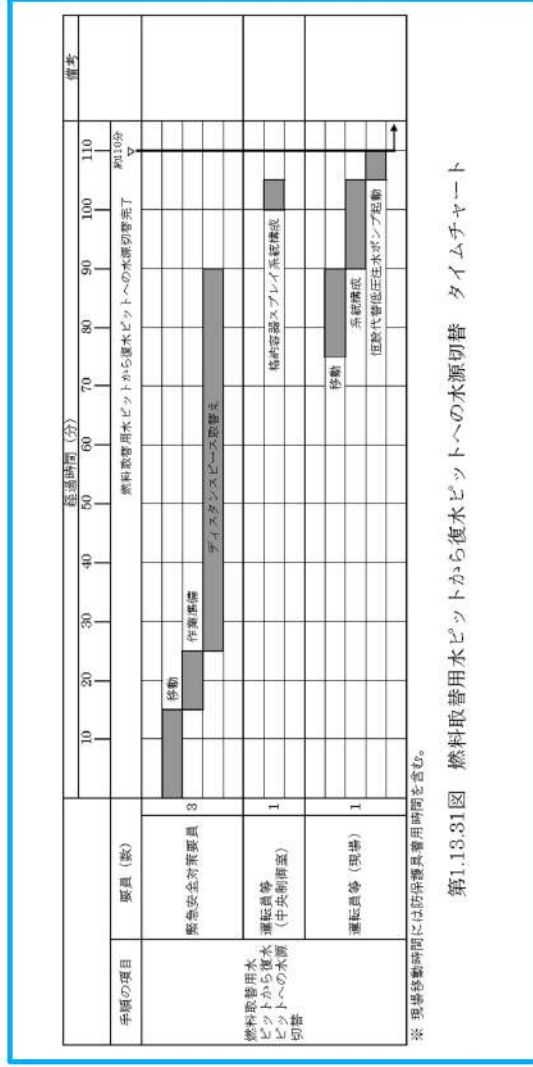
大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、記載順序入替え】



泊3号炉との比較対象なし

手順の項目	要員(数)	経過時間(分)		備考
		開始	終了	
燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)	運転員(中央制御室) A	10	30	燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え 30分 操作手順
	運転員(現場) B	10	30	
	災害対策要員 A	10	30	

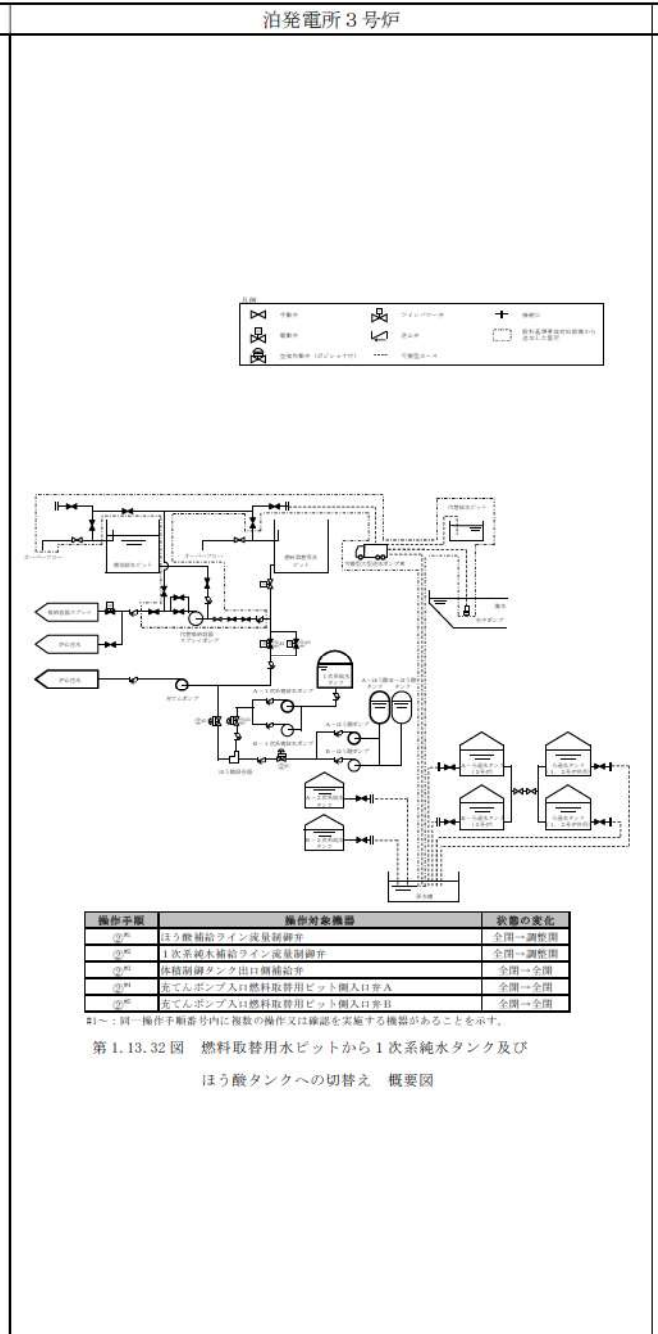
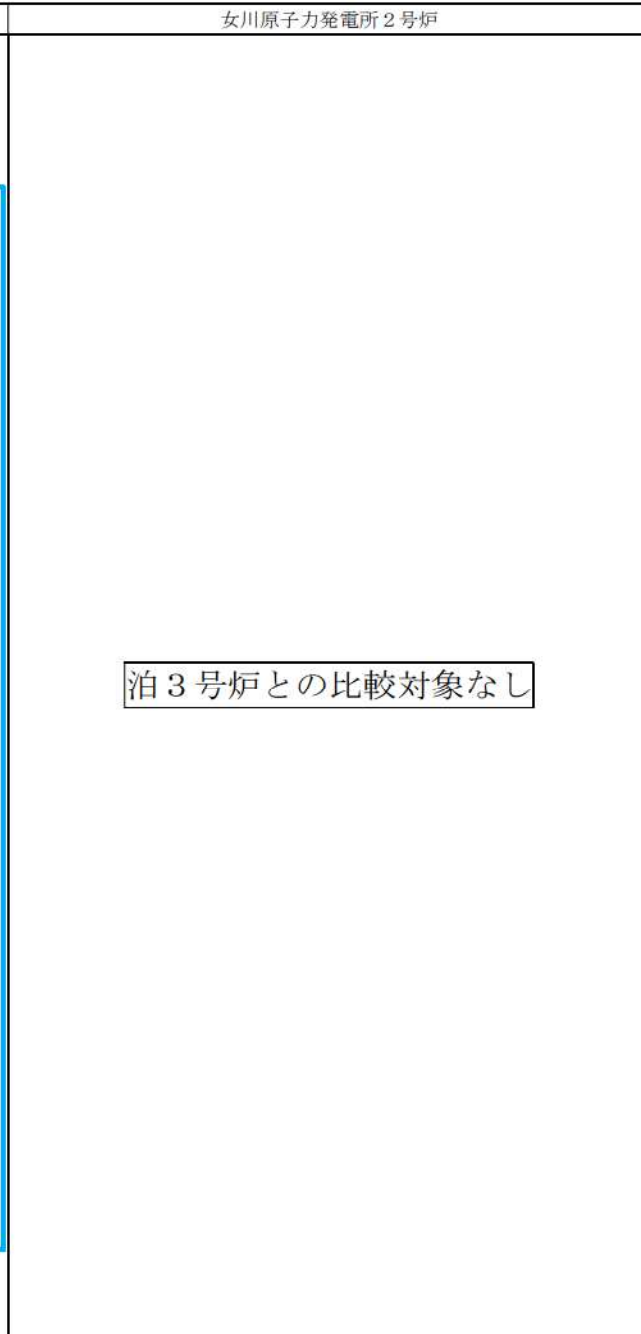
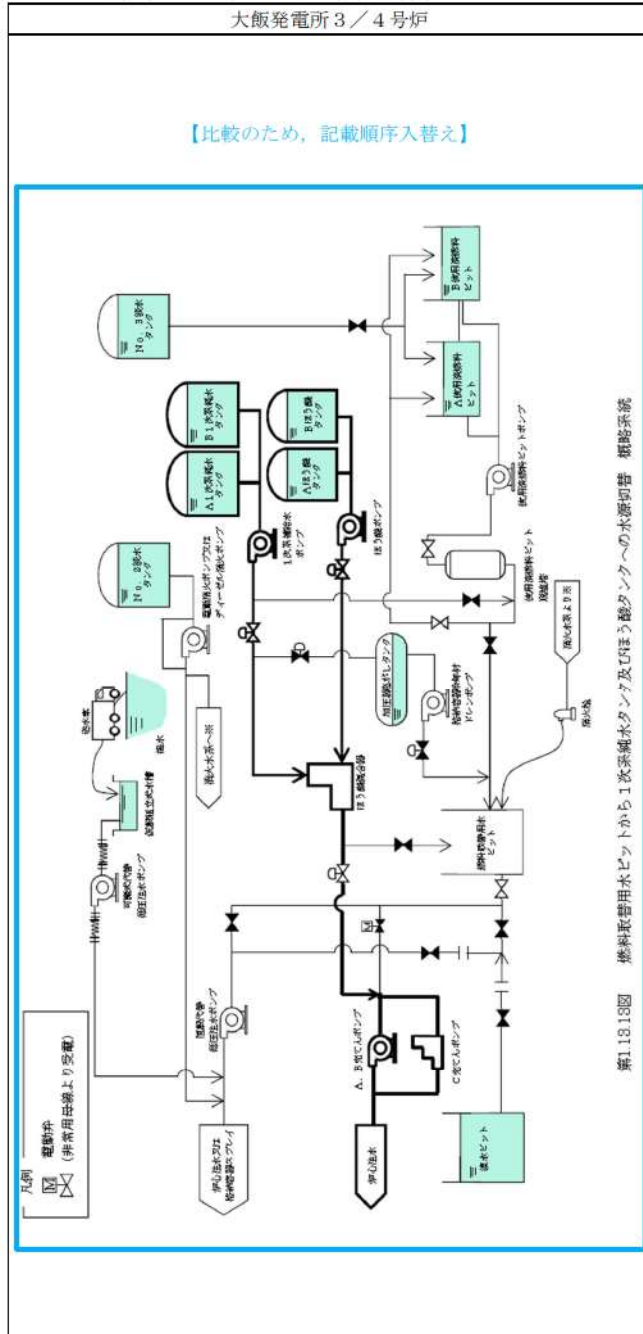
※1: 機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間
※2: 中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間

第1.13.31図 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え
(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合) タイムチャート

- 【大飯】
記載方針の相違
(女川審査実績の反映)
・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ
・補足の充実
・備考欄の追加
- 【女川】
記載内容の相違
・炉型の相違による対応手段の相違

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



相違理由

【大飯】
記載方針の相違（女川審査実績の反映）
・凡例の記載内容充実
・概要図と操作内容を紐づけ

【女川】
記載内容の相違
・炉型の相違による対応手段の相違

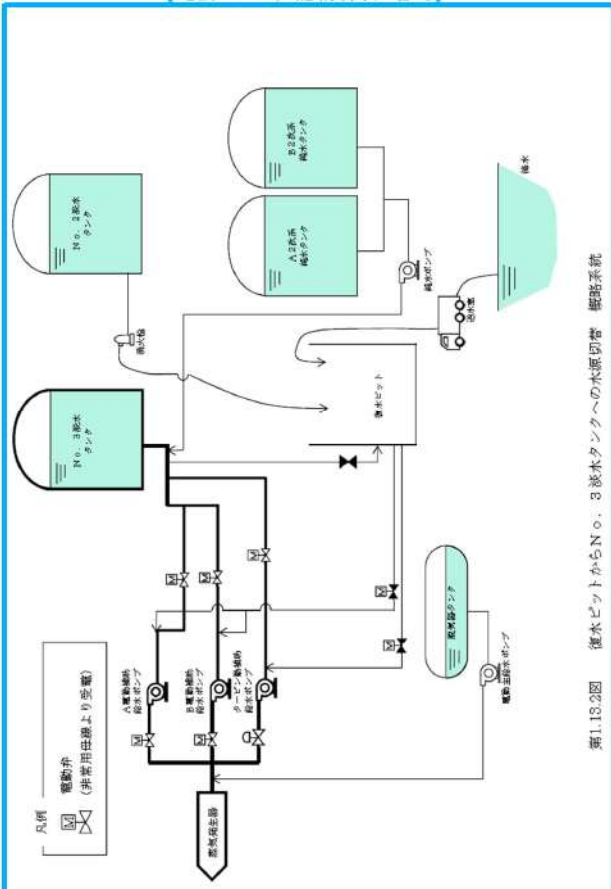
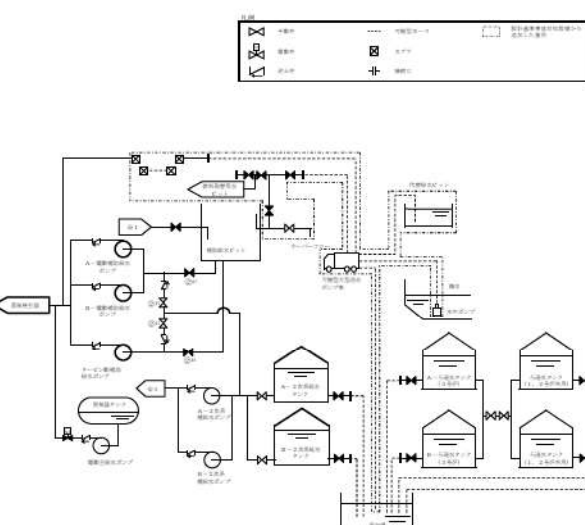
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="844 767 1254 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="1541 325 1765 1259" style="text-align: center;"> <p>燃料取替水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え</p> <p>燃料取替水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え</p> <p>10分</p> <p>系統構成</p> <p>1</p> <p>運転員 (中央制御室) A</p> <p>要員 (数)</p> <p>手順の項目</p> <p>燃料取替水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え</p> <p>備考</p> <p>操作手順</p> <p>②</p> </div> <p style="text-align: center;">第 1.13.33 図 燃料取替水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え タイムチャート</p> <p style="text-align: center;">※1：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、中央制御室のみの操作についても、タイムチャートを整理する。 <p>【女川】 記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炉型の相違による対応手段の相違

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p style="text-align: center;">第1.13.29図 僅水ピットからNo.3減水タンクへの水源切替 概略系統</p>	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p style="text-align: center;">第1.13.34図 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる 蒸気発生器への注水時の水源の切替え 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1478 989 1948 1085"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>タービン動補助給水ポンプ2次蒸気減水タンクライン入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>A、B電動補助給水ポンプ2次蒸気減水タンクライン入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>補助給水ピット電動補助給水ポンプ側出口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>補助給水ピットタービン動補助給水ポンプ側出口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	タービン動補助給水ポンプ2次蒸気減水タンクライン入口弁	全閉→全開	②	A、B電動補助給水ポンプ2次蒸気減水タンクライン入口弁	全閉→全開	③	補助給水ピット電動補助給水ポンプ側出口弁	全閉→全開	④	補助給水ピットタービン動補助給水ポンプ側出口弁	全閉→全開	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 凡例の記載内容充実 ・ 概要図と操作内容を結びつけ <p>【女川】 記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 炉型の相違による対応手段の相違
操作手順	操作対象機器	状態の変化																
①	タービン動補助給水ポンプ2次蒸気減水タンクライン入口弁	全閉→全開																
②	A、B電動補助給水ポンプ2次蒸気減水タンクライン入口弁	全閉→全開																
③	補助給水ピット電動補助給水ポンプ側出口弁	全閉→全開																
④	補助給水ピットタービン動補助給水ポンプ側出口弁	全閉→全開																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

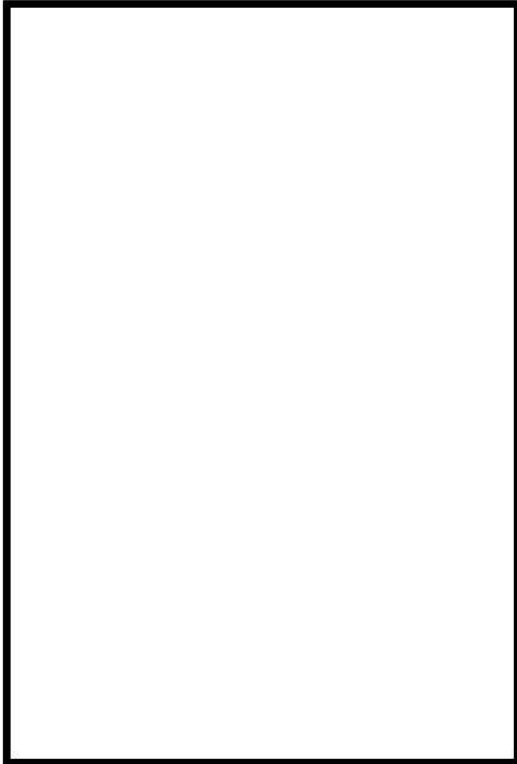
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="844 770 1254 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="1503 327 1747 1249" style="text-align: center;"> </div> <p data-bbox="1749 662 1769 1249" style="font-size: small;">※1：中央制御室から機器操作場までの移動時間及び機器の動作時間に見込んだ時間</p> <p data-bbox="1809 363 1899 1249">第 1.13.35 図 電動補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水取の切替え タイムチャート</p>	<p data-bbox="2018 496 2163 576">【大飯】 設備の相違（相違理由②）</p> <p data-bbox="2018 611 2163 863">【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、中央制御室のみの操作についても、タイムチャートを整理する。</p> <p data-bbox="2018 898 2163 1038">【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

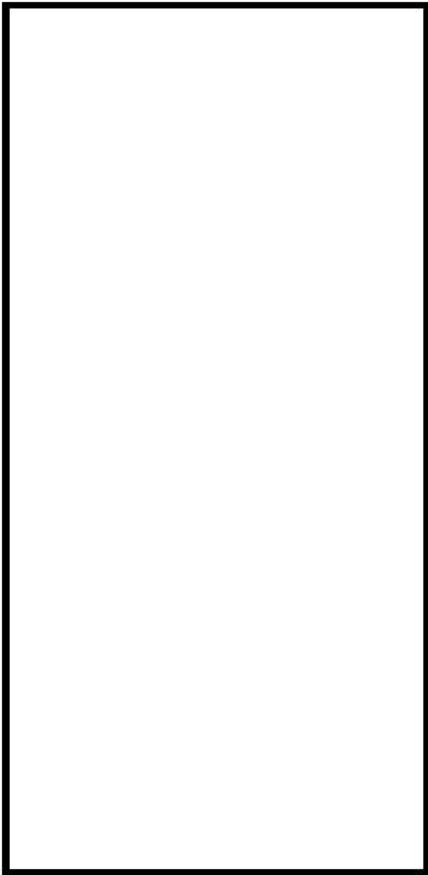
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  </div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">第1.13.36図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用水ピットへの補給 ホース敷設ルート図（1/2）</p> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">□：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】 設備の相違（相違理由⑥）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  </div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.36図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱替用水ビットへの補給 ホース敷設ルート図(2/2)</p>	<p style="color: red; font-size: small;">【大飯】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

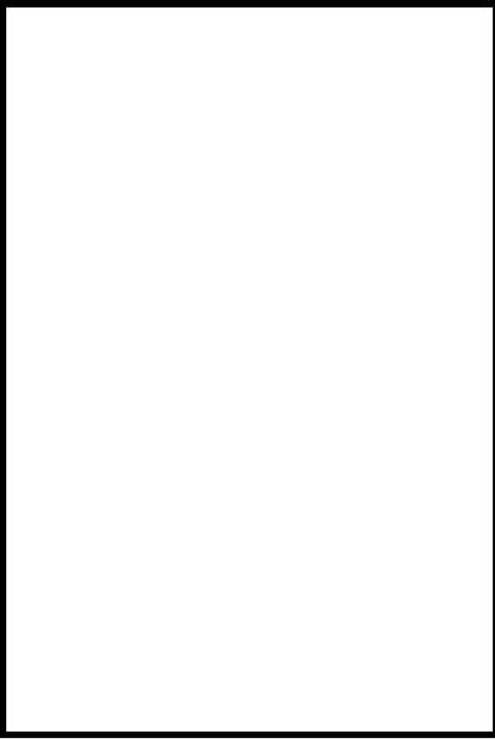
□：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  </div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.37図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピット への補給ホース敷設ルート図 (1/2)</p> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">□：特開みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

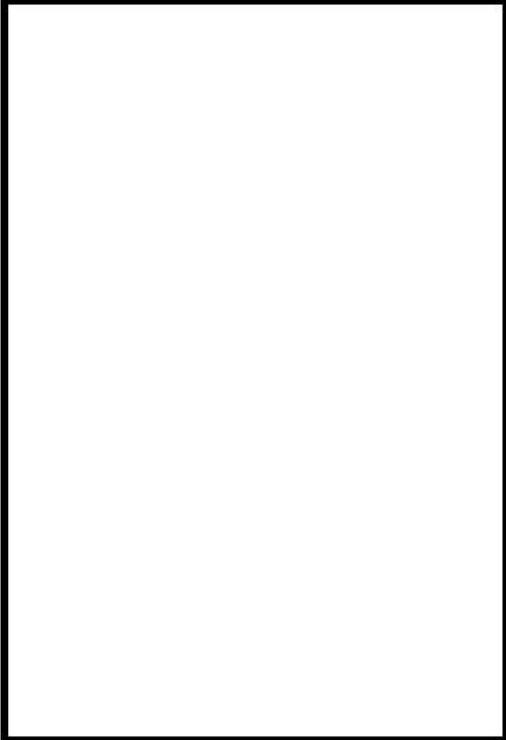
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1391 437 1872 1150" style="border: 2px solid black; width: 215px; height: 447px; margin: 0 auto;"></div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;"> 第1.13.37図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱替用水ピット への補給ホース敷設ルート図 (2/2) : 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </p>	<p style="color: red; font-size: small;">【大飯】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  </div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.38図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用海水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (1/3)</p> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】</p> <p style="color: red;">設備の相違(相違理由⑥)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1420 368 1839 1225" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="1868 331 1989 1088" style="font-size: small; margin-top: 10px;"> 第1.13.38図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱替用水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (2/3) □：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<div data-bbox="2018 751 2159 831" style="color: red; font-size: small;"> 【大飯】 設備の相違(相違理由⑥) </div>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1375 443 1861 1153" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="1892 427 1989 1077" style="font-size: small; margin-top: 10px;"> 第1.13.38図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱車用水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (3/3) □：詳細みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<div data-bbox="2018 754 2163 831" style="color: red; font-size: small;"> 【大飯】 設備の相違(相違理由⑥) </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="107 391 649 1257" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="649 406 712 1212" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することできません。</p> <p>第1.13.26図 No.2淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給 ホース敷設ルート</p> </div>		<div data-bbox="1384 502 1899 1181" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> </div> <p>第 1.13.39 図 No.2淡水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 ホース敷設ルート図</p>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1375 424 1868 1171" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.40図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (1/2)</p> <p style="font-size: x-small; margin-top: 10px;">□：作図みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】</p> <p style="color: red;">設備の相違(相違理由④)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 786 613 831" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1391 371 1821 1241" style="border: 2px solid black; height: 545px; width: 192px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="1854 512 1910 1166" style="text-align: center;"> 第1.13.40図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピット への補給 ホース敷設ルート図 (2/2) </div> <div data-bbox="1951 427 1980 890" style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/>：相違みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<div data-bbox="2013 767 2163 847" style="color: red;"> 【大飯】 設備の相違(相違理由④) </div>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

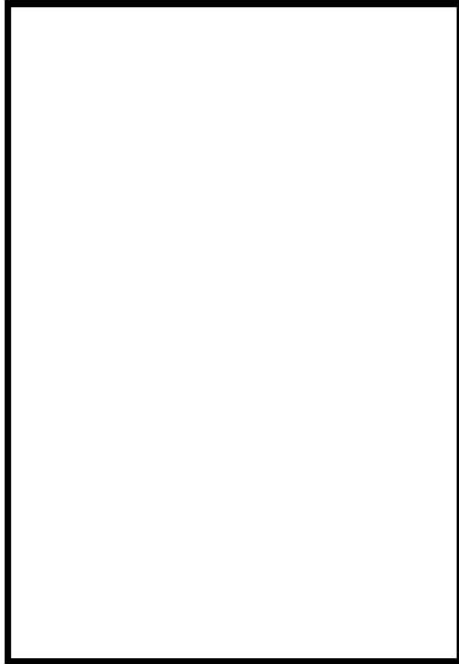
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1384 427 1883 1169" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p data-bbox="1892 427 1960 1189" style="font-size: small;"> 第1.13.41図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (1/2) </p> <p data-bbox="1960 443 1989 890" style="font-size: small;"> ：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </p>	<p data-bbox="2018 754 2163 834" style="color: red; font-size: small;"> 【大飯】 設備の相違(相違理由④) </p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

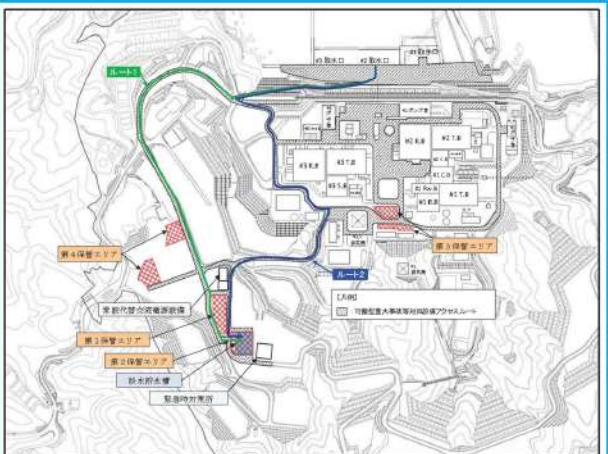
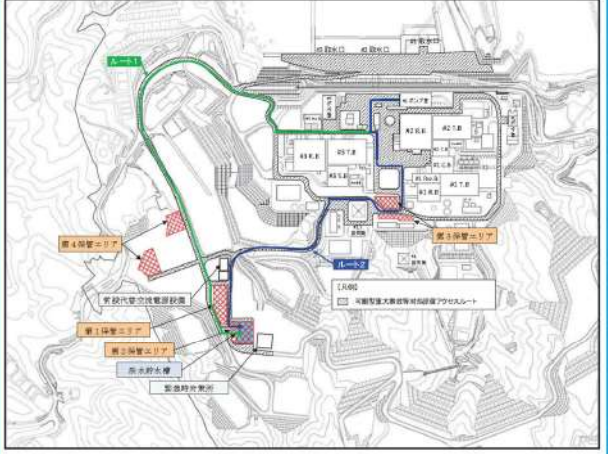
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  </div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.41 図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (2/2)</p> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">□：料囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】 設備の相違(相違理由④)</p>

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>		
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (1/2)</p>	<p>第1.13-33 図 海から淡水貯水槽ルート図 (1/2) (取水口取水)</p>		
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (2/2)</p>	<p>第1.13-34 図 海から淡水貯水槽ルート図 (2/2) (海水ポンプ室取水)</p>		
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (3/2)</p>			
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (4/2)</p>			

第1.13-42 図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (1/3)

：※図面の内容は機密情報に属しますので公開できません。

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="112 151 705 486" style="border: 2px solid black; height: 210px; width: 265px;"></div> <div data-bbox="291 494 705 518" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>	<div data-bbox="907 247 1187 271" style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入れ替え】</div> <div data-bbox="750 287 1344 758" style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> </div> <div data-bbox="840 774 1265 798" style="text-align: center;">第1.13-35図 淡水貯水槽から各種注水ルート図</div>	<div data-bbox="1456 367 1870 1220" style="border: 2px solid black; height: 535px; width: 225px;"></div>	
<div data-bbox="145 574 683 598" style="text-align: center;">第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (5/22)</div>			
<div data-bbox="112 614 705 949" style="border: 2px solid black; height: 210px; width: 265px;"></div> <div data-bbox="291 957 705 981" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>	<div data-bbox="750 829 1344 1284" style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> </div> <div data-bbox="784 1292 1310 1316" style="text-align: center;">第1.13-36図 海から各種注水ルート図 (1/2) (取水口取水)</div>	<div data-bbox="1881 343 1937 1189" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 第1.13.42図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (2/3) </div>	<div data-bbox="1960 335 1993 742" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>
<div data-bbox="145 981 683 1005" style="text-align: center;">第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (6/22)</div>			
<div data-bbox="112 1077 705 1412" style="border: 2px solid black; height: 210px; width: 265px;"></div> <div data-bbox="291 1420 705 1444" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>			
<div data-bbox="145 1444 683 1468" style="text-align: center;">第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (7/22)</div>			

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

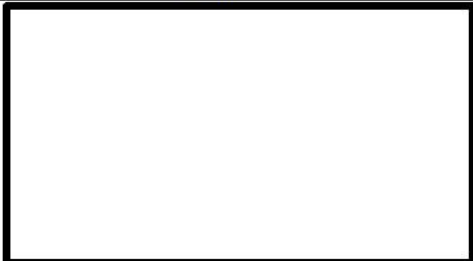
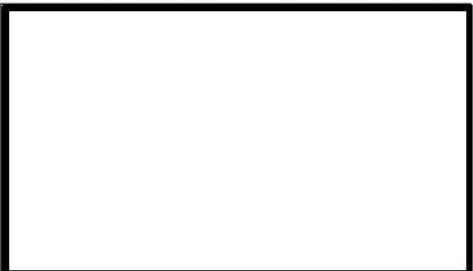
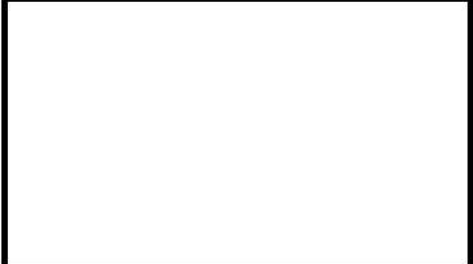

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>特図みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた深井水ピットへの補給 ホース敷設ルート (8/22)</p>			
<p>特図みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>	<p>第1.13.42回 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート (3/3)</p>	<p>特図みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた深井水ピットへの補給 ホース敷設ルート (9/22)</p>			
<p>特図みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>第1.13-37回 海から各種注水ルート図 (2/2) (海水ポンプ室取水)</p>		
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた深井水ピットへの補給 ホース敷設ルート (10/22)</p>			
<p>特図みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた深井水ピットへの補給 ホース敷設ルート (11/22)</p>			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等



大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (12/22)</p>			
 <p>特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (13/22)</p>			
 <p>特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>大飯3/4号炉との比較対象は 泊3号炉の第1.13.42図参照</p>	
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (14/22)</p>			
 <p>特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (16/22)</p>			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等





大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			
<p>特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (16/22)</p>			
		<p>大飯3 / 4号炉との比較対象は 泊3号炉の第1.13.42図参照</p>	
<p>特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (17/22)</p>			
			
<p>特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (18/22)</p>			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>※図中の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (19/22)</p>			
 <p>※図中の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (20/22)</p>			
 <p>※図中の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (21/22)</p>			
 <p>※図中の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (22/22)</p>		<p>大飯3/4号炉との比較対象は 泊3号炉の第1.13.42図参照</p>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1384 451 1895 1219" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.43図 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給 ホース敷設ルート図 ：作図みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】</p> <p>設備の相違（相違理由）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.13.12図 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ビットへの供給手順</p>	<p>第1.13.44図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (1/8)</p>	<p>第1.13.44図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (2/8)</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の 反映）</p>
<p>第1.13.12図 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ビットへの供給手順</p>	<p>第1.13.44図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (1/8)</p>	<p>第1.13.44図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (2/8)</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の 反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.13.29図 炉心注水のための代替手段及び燃料取扱替用水ピットへの供給手順</p>	<p>第1.13-31図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（各種注水用）</p>	<p>(2) 原子炉容器への注水のための代替手段及び燃料取扱替用水ピットへの補給手段の選択 (1/3)</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p>

第 1.13.44 図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (3/8)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="136 742 680 842" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 泊3号炉との比較対象は 大飯3/4号炉の第1.13.29図参照 </div>	<div data-bbox="745 316 1310 1279"> <p>【凡例】 □ プラント状態 ○ 操作、確認 △ 判断 …… 重大事故等対応設備</p> <p>第1.13-32図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（各種補給用）</p> </div>	<div data-bbox="1377 411 1915 1184"> <p>【凡例】 □ 操作、確認 ○ 重大事故等対応設備 △ 判断 …… 各種補給用</p> <p>(2) 原子炉容器への注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの補給手段の選択 (2/3)</p> <p>第1.13.44図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (4/8)</p> </div>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p style="text-align: center;">(2) 原子炉容器への注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの補給手段の選択 (3/3)</p>	<p style="text-align: center;">【大飯】 設備の相違（相違理由⑥）</p>
<p>第 1.13.44 図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (5/8)</p>			

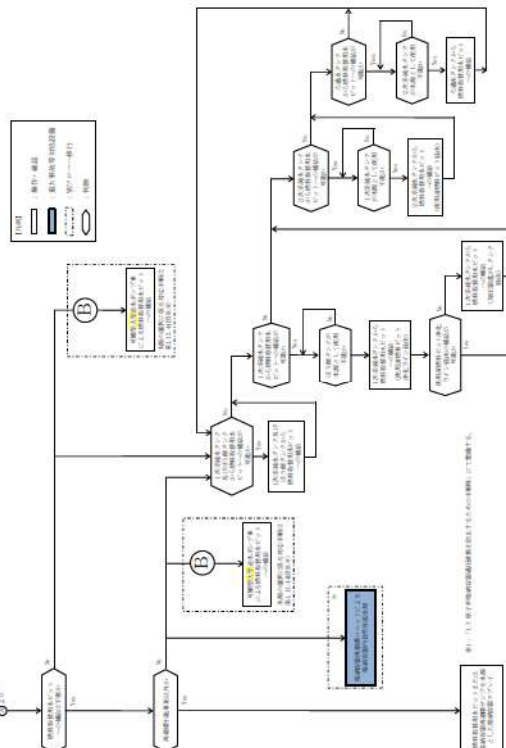
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.13.32図 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取扱替用水ピットへの供給手順</p>		<p>(3) 原子炉格納容器内へのスプレイのための代替手段及び燃料取扱替用水ピットへの供給手段の選択 (1/3)</p>	<p>第1.13.44図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (6/8)</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="134 734 683 845" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 泊3号炉との比較対象は 大飯3/4号炉の第1.13.32図参照 </div>		<div data-bbox="1377 367 1411 1149" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> (3) 原子伊格納容器内へのスプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給手段の選択 </div>  <p style="text-align: right;">第1.13.44図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート(7/8)</p>	<div data-bbox="2004 718 2161 829" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の 反映) </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="134 742 683 845" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 泊3号炉との比較対象は 大飯3/4号炉の第1.13.32図参照 </div>		<div data-bbox="1377 375 1411 1204" style="font-size: small;"> (3) 原子炉格納容器内へのスプレイのための代替手段及び燃料取扱替用水ピットへの供給手段の選択 (3/3) </div> <div data-bbox="1422 462 1982 1173"> </div> <div data-bbox="1948 558 1982 1085" style="font-size: small;"> 第1.13.44図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (8/8) </div>	<div data-bbox="2004 750 2161 837" style="color: red; font-size: small;"> 【大飯】 設備の相違(相違理由⑥) </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

【比較のため女川の添付資料1.13.1を掲載】

添付資料 1.13.1

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (1/6)

技術的能力審査基準 (1.13)	番号	設置許可基準規則 (56条)	技術基準規則 (71条)	番号
【本文】 発電用原子炉設置者において、設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要な十分な量を有する水源を確保することに加えて、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量を供給するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。	①	【本文】 設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要な十分な量を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量を供給するために必要な設備を設けなければならない。	【本文】 設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要な十分な量を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量を供給するために必要な設備を設けなければならない。	⑧
【解釈】 1 「設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要な十分な量を有する水源を確保することに加えて、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量を供給するために必要な手順等」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。	—	【解釈】 1 第56条に規定する「設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要な十分な量を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量を供給するために必要な設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。	【解釈】 1 第71条に規定する「設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要な十分な量を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量を供給するために必要な設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。	—
a) 想定される重大事故等の収束までの間、十分な量を供給できる手順等を整備すること。	②	a) 想定される重大事故等の収束までの間、十分な量を供給できること。	a) 想定される重大事故等の収束までの間、十分な量を供給できること。	⑨
b) 複数の代替淡水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）が確保されていること。	③	b) 複数の代替淡水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）が確保されていること。	b) 複数の代替淡水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）が確保されていること。	⑩
c) 海を水源として利用できること。	④	c) 海を水源として利用できること。	c) 海を水源として利用できること。	⑪
d) 各水源からの移送ルートが確保されていること。	⑤	d) 各水源からの移送ルートが確保されていること。	d) 各水源からの移送ルートが確保されていること。	⑫
e) 代替水源からの移送ホース及びポンプを準備しておくこと。	⑥	e) 代替水源からの移送ホース及びポンプを準備しておくこと。	e) 代替水源からの移送ホース及びポンプを準備しておくこと。	⑬
f) 水の供給が中断することがないよう、水源の切替え手順等を定めること。	⑦	f) 原子炉格納容器を水源とする再循環設備は、代替再循環設備等により、多重性又は多様性を確保すること。（PWR）	f) 原子炉格納容器を水源とする再循環設備は、代替再循環設備等により、多重性又は多様性を確保すること。（PWR）	—

泊発電所3号炉

添付資料1.13.1

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (1/8)

技術的能力審査基準 (1.13)	番号	設置許可基準規則 (五十六条)	技術基準規則 (七十一条)	番号
【本文】 1 発電用原子炉設置者において、想定される重大事故等に対するための水源として必要な量を貯留するための設備を設けなければならない。想定される重大事故等に対するために必要な設備を整備していること。	①	【本文】 発電用原子炉施設には、次に掲げるように、想定される重大事故等に対するための水源として必要な量を貯留するための設備を設けなければならない。 一 設計基準事故の収束に必要な水を貯留するものについては、当該設計基準事故及び想定される重大事故等に対するために必要な水を貯留できるものとする。 二 その貯留された水を、想定される重大事故等に発生するために必要な設備に供給できるものとする。	【本文】 発電用原子炉施設には、次に掲げるように、想定される重大事故等に対するための水源として必要な量を貯留するための設備を設けなければならない。 一 設計基準事故の収束に必要な水を貯留するものについては、当該設計基準事故及び想定される重大事故等に対するために必要な水を貯留できるものとする。 二 その貯留された水を、想定される重大事故等に発生するために必要な設備に供給できるものとする。	⑦
2 発電用原子炉設置者において、海その他の水源（前項の水を除く。）から、想定される重大事故等の収束に必要な量を取水し、当該重大事故等に対するために必要な設備に供給するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。	②	2 発電用原子炉施設には、海その他の水源（前項の水を除く。）から、想定される重大事故等の収束に必要な量を取水し、当該重大事故等に対するために必要な設備に供給するために必要な設備を設けなければならない。	2 発電用原子炉施設には、海その他の水源（前項の水を除く。）から、想定される重大事故等の収束に必要な量を取水し、当該重大事故等に対するために必要な設備に供給するために必要な設備を設けなければならない。	⑧
【解釈】 1 第1項に規定する「想定される重大事故等に対するための水源」とは、第2項に規定する「海その他の水源」から取水されたが重大事故等に対するために必要な設備に供給されるまでの間、当該重大事故等に発生するために必要な水をいう。	—	【解釈】 1 第1項に規定する「必要な量の水」とは、第2項に規定する「海その他の水源」から取水されたが重大事故等に対するために必要な設備に供給されるまでの間、当該重大事故等に発生するために必要な水をいう。	【解釈】 1 第2項に規定する「必要な量の水」とは、第2項に規定する「海その他の水源」から取水されたが重大事故等に対するために必要な設備に供給されるまでの間、当該重大事故等に発生するために必要な水をいう。	—
2 一次冷却材喪失時に原子炉格納容器に水を取り替える必要がある発電用原子炉施設は、第1項第2号に規定する「想定される重大事故等に対するために必要な設備に供給できるもの」として、原子炉格納容器を水源とする再循環設備を代替することができる設備を設けること。	—	2 一次冷却材喪失時に原子炉格納容器に水を取り替える必要がある発電用原子炉施設は、第1項第2号に規定する「想定される重大事故等に対するために必要な設備に供給できるもの」として、原子炉格納容器を水源とする再循環設備を代替することができる設備を設けること。	2 一次冷却材喪失時に原子炉格納容器に水を取り替える必要がある発電用原子炉施設は、第1項第2号に規定する「想定される重大事故等に対するために必要な設備に供給できるもの」として、原子炉格納容器を水源とする再循環設備を代替することができる設備を設けること。	⑨
3 第1項に規定する「想定される重大事故等に対するための水源」として必要な量を貯留するための設備」及び第2項に規定する「海その他の水源」から、想定される重大事故等に対するために必要な水を供給できる手順等を整備すること。この場合において、以下の事項を考慮すること。	③	—	—	—
1) 第2項に規定する「海その他の水源」として、海及び複数の代替淡水源（貯水槽、ダム又は貯水池等の淡水源であって、第1項の設備に貯留されたもの以外のものをいう。）を利用できるものとする。	④	3 第2項に規定する「海その他の水源」とは、海及び複数の代替淡水源（貯水槽、ダム又は貯水池等の淡水源であって、第1項の設備に貯留されたもの以外のものをいう。）であって、想定される重大事故等の収束までの間、当該重大事故等に対するために必要な量を取水できるものとする。	3 第2項に規定する「海その他の水源」とは、海及び複数の代替淡水源（貯水槽、ダム又は貯水池等の淡水源であって、第1項の設備に貯留されたもの以外のものをいう。）であって、想定される重大事故等の収束までの間、当該重大事故等に対するために必要な量を取水できるものとする。	⑩
2) 各水源からの移送ルートを提供し、移送ホース、ポンプその他の設備を用いた水の供給ができるものとする。	⑤	4 第2項の規定により設けられる設備は、同項に規定する「海その他の水源」から、想定される重大事故等の収束までの間、当該重大事故等に対するために必要な水を供給するために必要な設備に供給するための移送ホース、ポンプその他の設備であって、当該各水源からの移送ルートが確保されたものでなければならない。	4 第2項の規定により設けられる設備は、同項に規定する「海その他の水源」から、想定される重大事故等の収束までの間、当該重大事故等に対するために必要な水を供給するために必要な設備に供給するための移送ホース、ポンプその他の設備であって、当該各水源からの移送ルートが確保されたものでなければならない。	⑪
3) 水の供給が中断することがないよう、水源の切替えができるようにすること。	⑥	—	—	—

【女川】
・PWRとBWRに対する要求事項相違による附番の相違
・審査基準の改正による記載内容の相違

【大飯】
記載方針の相違（女川審査実議の反映）
・大飯の比較対象となる添付資料1.13.2は後段に掲載している。
・泊は女川の審査実績を踏まえた構成となっているため、本資料の比較対象は女川としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】

審査基準、基準規則と対処設備との対応表(2/6)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

重大事故等対処設備を用いた対応手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策			
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	既設 新設	所要時間 対応人数 備考
女川2号炉の設備と本表記載した対応手段	取水貯留タンク	既設	112222 222222 222222	女川2号炉の設備と本表記載した対応手段	ろ過水タンク	既設	—
	高圧代替注水系(高圧代替注水ポンプ)	既設	—		ろ過水系(ろ過水ポンプ)	既設	—
	原子炉隔離時冷却系(原子炉隔離時冷却ポンプ)	既設	—				
	高圧炉心スプレー系(高圧炉心スプレー系ポンプ)	既設	—				
	制御棒駆動水圧系(制御棒駆動水ポンプ)	既設	—				
	低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)	既設	—				
	低圧代替注水系(常設)(原液移動用注水ポンプ)	既設	—				
	原子炉格納容器冷却用注水系(常設)(復水移送ポンプ)	既設	—				
	原子炉格納容器冷却用注水系(常設)(燃料プール冷却水ポンプ)	既設	—				
	原子炉格納容器冷却用注水系(常設)(燃料プール冷却水ポンプ)	既設	—				
女川2号炉の設備と本表記載した対応手段	サブプレッシャントラップ	既設	112222 222222 222222				
	高圧炉心スプレー系(高圧炉心スプレー系ポンプ)	既設	—				
	制御棒駆動水系(制御棒駆動水ポンプ)	既設	—				
	低圧炉心スプレー系(低圧炉心スプレー系ポンプ)	既設	—				
	代替制御棒駆動水系(代替制御棒駆動水ポンプ)	既設	—				
原子炉格納容器冷却用注水系(常設)(代替制御棒駆動水ポンプ)	既設	—					

※1：本表文【解釈】1 b)項を満足するための代替注水源（措置）

泊発電所3号炉

審査基準、基準規則と対処設備との対応表(2/8)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策			
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	既設 新設	所要時間 対応人数 備考
燃料取扱用注水ポンプを水源とした対応	燃料取扱用注水ポンプ	既設	① ③ ⑤ ⑥ ⑦	燃料取扱用注水ポンプを水源とした対応	ろ過水タンク	既設	—
	冷却ポンプ	既設	—		電動機駆動消火ポンプ	既設	—
	高圧注入ポンプ	既設	—		ディーゼル駆動消火ポンプ	既設	—
	代替格納容器スプレーポンプ	既設	—		1次系純水タンク	既設	—
	格納容器スプレーポンプ	既設	—		1次系補給水ポンプ	既設	—
	冷却ポンプ	既設	—		2次系純水タンク	既設	—
	燃料取扱用注水ポンプ	既設	—		2次系補給水ポンプ	既設	—
	—	—	—		2次系補給水ポンプ	既設	—
	補助給水ポンプ	既設	① ③ ⑤ ⑥ ⑦		脱気器タンク	既設	—
	電動補助給水ポンプ	既設	—		電動主給水ポンプ	既設	—
タービン駆動補助給水ポンプ	既設	—					
直接給水用高圧ポンプ	既設	—					

【女川】
 設備の相違による対応手段の相違

【大飯】
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）

- ・大飯の比較対象となる添付資料1.13.2は後段に掲載している。
- ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (3/6)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	自主対策				
				既設 新設	所要時間	対応人数	備考	
自主対策 大飯発電所3号炉を基準とした対応	送水ポンプ (No.1) 系	新設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	送水ポンプ	既設	300分	9名	自主対策設備とする理由は本文参照
	送水ポンプ (No.2) 系	新設		送水ポンプ	既設			
	大容量送水ポンプ (タイプ1)	新設		大容量送水ポンプ (タイプ1)	可搬			
	ホース延長回収車	新設		ホース延長回収車	可搬			
	ホース・送水用ヘッド・接続口	新設		ホース・送水用ヘッド・接続口	既設			
	—	—		高圧水送 配管・弁	既設			
	—	—		送水用機器設置配管・弁	既設			
	燃料補給設備	既設		燃料補給設備	既設			
	既設代替注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・送水用ヘッド・接続口等)	新設		既設代替注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・送水用ヘッド・接続口等)	既設			
	—	—		既設代替注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・送水用ヘッド・接続口等)	可搬			
	原子炉格納容器代替送水システム (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・送水用ヘッド・接続口等)	新設		原子炉格納容器代替送水システム (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・送水用ヘッド・接続口等)	既設			
	—	—		原子炉格納容器代替送水システム (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・送水用ヘッド・接続口等)	可搬			
	大容量送水ポンプ (タイプ1)	新設		大容量送水ポンプ (タイプ1)	可搬			
	ホース延長回収車	新設		ホース延長回収車	可搬			
	ホース・送水用ヘッド・接続口	新設		ホース・送水用ヘッド・接続口	既設			
原子炉格納容器下部注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・送水用ヘッド・接続口等)	新設	原子炉格納容器下部注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・送水用ヘッド・接続口等)	既設					
—	—	原子炉格納容器下部注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・送水用ヘッド・接続口等)	可搬					
原子炉格納容器上部注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・送水用ヘッド・接続口等)	新設	原子炉格納容器上部注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・送水用ヘッド・接続口等)	既設					
—	—	原子炉格納容器上部注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・送水用ヘッド・接続口等)	可搬					
燃料プールの代替注水系 (既設配管) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・送水用ヘッド・接続口等)	新設	燃料プールの代替注水系 (既設配管) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・送水用ヘッド・接続口等)	既設					
—	—	燃料プールの代替注水系 (既設配管) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・送水用ヘッド・接続口等)	可搬					
燃料プールの代替注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・送水用ヘッド等)	新設	燃料プールの代替注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・送水用ヘッド等)	既設					
—	—	燃料プールの代替注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・送水用ヘッド等)	可搬					
燃料プールのスプレインズル (既設配管) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・送水用ヘッド、スプレインズル等)	新設	燃料プールのスプレインズル (既設配管) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・送水用ヘッド、スプレインズル等)	既設					
—	—	燃料プールのスプレインズル (既設配管) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・送水用ヘッド、スプレインズル等)	可搬					
燃料プールのスプレインズル (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・送水用ヘッド、スプレインズル等)	新設	燃料プールのスプレインズル (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・送水用ヘッド、スプレインズル等)	既設					
—	—	燃料プールのスプレインズル (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・送水用ヘッド、スプレインズル等)	可搬					
—	—	大飯炉冷却用送水車	既設					
—	—	化学油回収車	既設					
—	—	ホース・接続口	既設					
—	—	燃料プールの冷却用配管・弁	既設					
—	—	スプレインズル	既設					
—	—	燃料油回収車	既設					

※1：本文【解釈】1)h)項を満足するための代替送水源（措置）

泊発電所3号炉

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (3/8)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	自主対策				
				既設 新設	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	
自主対策 泊発電所3号炉を基準とした対応	可搬型大型送水ポンプ車	新設	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	代替給水ビット	既設	-	-	自主対策とする理由は本文参照
	可搬型ホース・接続口	新設		可搬型大型送水ポンプ車	可搬			
	ホース延長・回収車 (送水専用)	新設		可搬型ホース・接続口	可搬			
	非常用取水設備	既設		ホース延長・回収車 (送水専用)	可搬			
	可搬型ホース	新設		可搬型ホース	可搬			
	可搬型スプレインズル	新設		可搬型スプレインズル	可搬			
	原子炉格納容器冷却水ポンプ	既設		燃料補給設備	既設			
	原子炉格納容器冷却水ポンプ	既設		取水槽	既設			
	可搬型大容量海水送水ポンプ車	新設		可搬型大型送水ポンプ車	可搬			
	取水砲	新設		可搬型ホース・接続口	可搬			
	既設設備	既設		ホース延長・回収車 (送水専用)	可搬			
	燃料補給設備	既設		可搬型ホース	可搬			
	—	—		可搬型スプレインズル	可搬			
	—	—		燃料補給設備	既設			

【女川】
設備の相違による
対応手段の相違

【大飯】
記載方針の相違
(女川審査実績の
反映)

・大飯の比較対象
となる添付資料
1.13.2は後段に
掲載している。
・泊は女川の審査
実績を踏まえた
構成としている
ため、本資料の
比較対象は女川
としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】

審査基準，基準規則と対処設備との対応表 (5/6)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

重大事故等対処設備を用いた対応手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					
対応手段	機器名称	現設 新設	解釈 対応番号	対応 手段	機器名称	常設 可設	所要時間	対応人数	備考
シラカネの補給(2)の対応	ほうろく水注入系貯蔵タンク	現設	①②③④	—	—	—	—	—	—
	ほうろく水注入系 (ほうろく水注入系ポンプ)	現設			—	—	—	—	—
ポンプ(1)の対応(3)の審査基準(3)の補給	汲水貯水槽 (No. 1) 容1	新設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	—	ろ過水タンク	常設	300分	7名	自主対策設備とする理由は本文参照
	汲水貯水槽 (No. 2) 容1	新設			純水タンク	常設			
	大容量送水ポンプ(タイプ1)	現設			送水タンク	常設			
	ホース延長回収車	現設			大容量送水ポンプ(タイプ1)	可設			
	ホース・送水用ヘッド・接続口	現設			ホース延長回収車	可設			
	給排水系 配管・弁	現設			ホース・送水用ヘッド・接続口	常設			
	管水貯蔵タンク	現設			給排水系 配管・弁	常設			
	燃料補給設備	現設			ろ過水系 配管・弁	常設			
	—	—			給排水処理設備配管・弁	常設			
	—	—			管水貯蔵タンク	常設			
	—	—			燃料補給設備	常設			
水供給(2)の対応(3)の審査基準(3)の補給	大容量送水ポンプ(タイプ1)	新設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	—	耐震性貯水タンク	常設	45分	7名	自主対策設備とする理由は本文参照
	ホース延長回収車	現設			化学消防自動車	可設			
	ホース・送水用ヘッド・接続口	現設			ホース	可設			
	給排水系 配管・弁	現設			管水貯蔵タンク	常設			
	管水貯蔵タンク	現設			—	—			
	管留機	現設			—	—			
	取水口	現設			—	—			
	取水ポンプ	現設			—	—			
	取水ポンプ室	現設			—	—			
	燃料補給設備	現設			—	—			
	燃料補給設備	現設			—	—			

※1：本文【解釈】1.b)項を満足するための代替水源（措置）

泊発電所3号炉

審査基準，基準規則と対処設備との対応表 (5/8)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					
対応手段	機器名称	現設 新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	常設 可設	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数に 使用可能か	備考
可搬型大型送水ポンプ(1)の補給	燃料取替用水ビット	現設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	—	取水槽	常設	200分	7名	自主対策とする理由は本文参照
	可搬型大型送水ポンプ車	新設			ろ過水タンク	常設			
	ホース延長・回収車(送水車用)	新設			2次系純水タンク	常設			
	可搬型ホース・接続口	新設			燃料取替用水ビット	常設			
	非常用貯心冷却設備 配管・弁	現設			可搬型大型送水ポンプ車	可設			
	非常用取水設備	現設			可搬型ホース・接続口	可設			
	燃料補給設備	現設			ホース延長・回収車(送水車用)	可設			
	—	—			非常用貯心冷却設備 配管・弁	常設			
	—	—			給水処理設備 配管・弁	常設			
	—	—			燃料補給設備	常設			
	—	—			燃料補給設備	常設			
可搬型大型送水ポンプ(2)の補給	—	—	—	—	代替給水ビット	常設	145分	7名	自主対策とする理由は本文参照
	—	—			燃料取替用水ビット	常設			
	—	—			可搬型大型送水ポンプ車	可設			
	—	—			可搬型ホース・接続口	可設			
	—	—			ホース延長・回収車(送水車用)	可設			
	—	—			非常用貯心冷却設備 配管・弁	常設			
	—	—			燃料補給設備	常設			
	—	—			燃料補給設備	常設			
	—	—			ろ過水タンク	常設			
	—	—			燃料取替用水ビット	常設			
	—	—			電動機駆動消防ポンプ	常設			
ろ過水又はディーゼル駆動消防ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給	—	—	—	—	ディーゼル駆動消防ポンプ	常設	30分	1名	自主対策とする理由は本文参照
	—	—			消防ホース	可設			
	—	—			防災防護設備(消火栓設備)配管・弁	常設			
	—	—			給水処理設備 配管・弁	常設			
	—	—			常用電源設備	常設			

【女川】
 設備の相違による対応手段の相違

【大飯】
 記載方針の相違(女川審査実績の反映)
 ・大飯の比較対象となる添付資料1.13.2は後段に掲載している。
 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

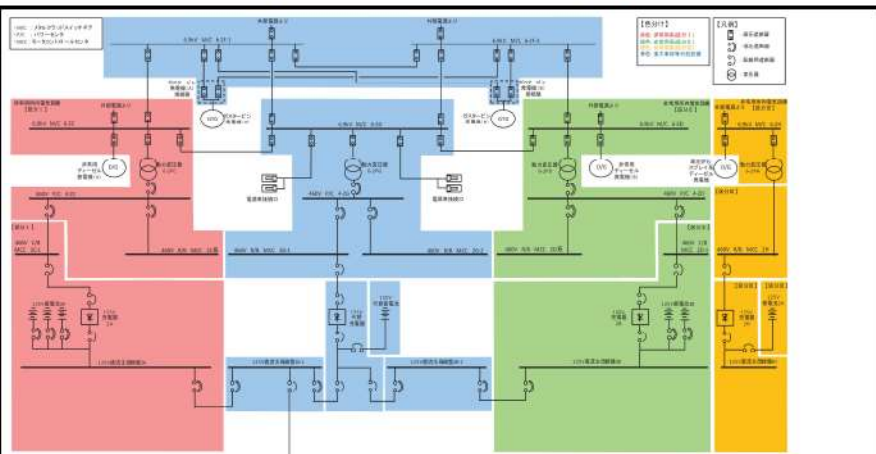
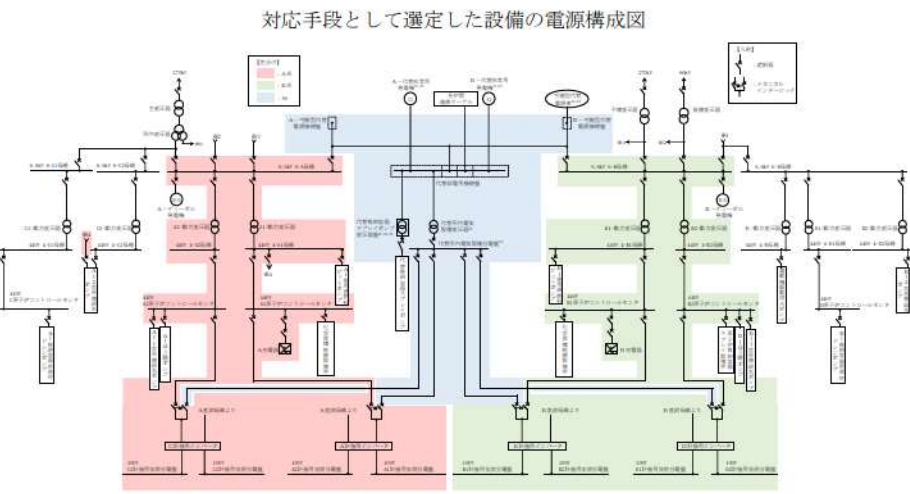
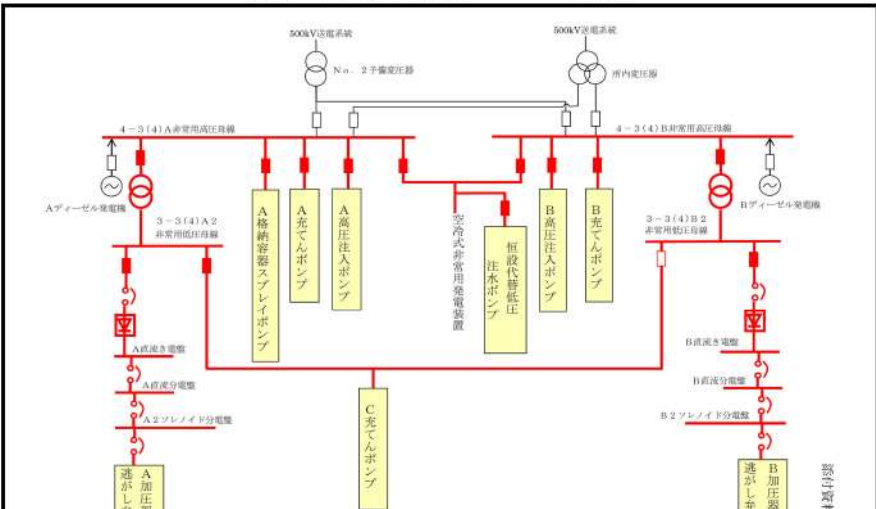
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
<p>【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】</p> <p>審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (6/6)</p> <p>■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">重大事故等対処設備を用いた対応手段 審査基準の要請に適合するための手段</th> <th colspan="5">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>施設新設</th> <th>既設</th> <th>稼働時間</th> <th>対応人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">燃料取扱設備の相違</td> <td>大飯発電所ポンプ（ダイヤ直）</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コース燃料取扱車</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コース</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料貯水罐 (No. 1) 母1</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>燃料貯水罐 (No. 2) 母1</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>貯留槽</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取水口</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料補給設備</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">燃料取扱設備の相違</td> <td>大飯発電所ポンプ（ダイヤ直）</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コース燃料取扱車</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コース</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料貯水罐 (No. 1) 母1</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>燃料貯水罐 (No. 2) 母1</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>貯留槽</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取水口</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料補給設備</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">燃料取扱設備の相違</td> <td>燃料貯留タンク</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>サプレッションチェンブ</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧中心キャブライズ（高圧中心キャブライズポンプ）</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">燃料取扱設備の相違</td> <td>大飯発電所ポンプ（ダイヤ直）</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コース燃料取扱車</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コース</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料貯水罐 (No. 1) 母1</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>燃料貯水罐 (No. 2) 母1</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>貯留槽</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取水口</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料補給設備</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">燃料取扱設備の相違</td> <td>燃料貯留タンク</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>サプレッションチェンブ</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料代管圧水ポンプ（燃料代管圧水ポンプ）</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>代管圧水ポンプ（代管圧水ポンプ）</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：本文【解釈】1)回項を満足するための代替取水源（措置）</p>	重大事故等対処設備を用いた対応手段 審査基準の要請に適合するための手段		自主対策					対応手段	機器名称	施設新設	既設	稼働時間	対応人数	備考	燃料取扱設備の相違	大飯発電所ポンプ（ダイヤ直）	新設					コース燃料取扱車	新設					コース	新設					燃料貯水罐 (No. 1) 母1	新設				①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	燃料貯水罐 (No. 2) 母1	新設					貯留槽	既設					取水口	既設					燃料補給設備	既設					燃料取扱設備の相違	大飯発電所ポンプ（ダイヤ直）	新設					コース燃料取扱車	新設					コース	新設					燃料貯水罐 (No. 1) 母1	新設				①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	燃料貯水罐 (No. 2) 母1	新設					貯留槽	既設					取水口	既設					燃料補給設備	既設					燃料取扱設備の相違	燃料貯留タンク	既設					サプレッションチェンブ	既設					高圧中心キャブライズ（高圧中心キャブライズポンプ）	既設					燃料取扱設備の相違	大飯発電所ポンプ（ダイヤ直）	新設					コース燃料取扱車	新設					コース	新設					燃料貯水罐 (No. 1) 母1	新設				①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	燃料貯水罐 (No. 2) 母1	新設					貯留槽	既設					取水口	既設					燃料補給設備	既設					燃料取扱設備の相違	燃料貯留タンク	新設					サプレッションチェンブ	既設					燃料代管圧水ポンプ（燃料代管圧水ポンプ）	既設					代管圧水ポンプ（代管圧水ポンプ）	既設					<p>審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (6/8)</p> <p>■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要請に適合するための手段</th> <th colspan="5">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>施設新設</th> <th>既設</th> <th>稼働時間</th> <th>対応人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">燃料取扱設備の相違</td> <td>1次系純水タンク</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取扱設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次系補給水ポンプ</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>加圧器過がしタンク</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次系補給水タンク</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次系補給水ポンプ</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取扱設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>化学体積制御設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>活性廃棄物処理設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>常用電源設備</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>所内常設蓄電式直流電源設備</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="15">燃料取扱設備の相違</td> <td>燃料取扱設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2次系純水タンク</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2次系補給水ポンプ</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取扱設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>化学体積制御設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>活性廃棄物処理設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>常用電源設備</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>所内常設蓄電式直流電源設備</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="15">燃料取扱設備の相違</td> <td>1次系純水タンク</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取扱設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次系補給水ポンプ</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ほう酸ポンプ</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>化学体積制御設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>常用電源設備</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要請に適合するための手段		自主対策					対応手段	機器名称	施設新設	既設	稼働時間	対応人数	備考	燃料取扱設備の相違	1次系純水タンク	常設					燃料取扱設備 配管・弁	常設					1次系補給水ポンプ	常設					加圧器過がしタンク	常設					1次系補給水タンク	常設					1次系補給水ポンプ	常設					燃料取扱設備 配管・弁	常設					化学体積制御設備 配管・弁	常設					給水処理設備 配管・弁	常設					活性廃棄物処理設備 配管・弁	常設					燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	常設					常用電源設備	常設					非常用交流電源設備	常設					所内常設蓄電式直流電源設備	常設					燃料取扱設備の相違	燃料取扱設備 配管・弁	常設					2次系純水タンク	常設					2次系補給水ポンプ	常設					燃料取扱設備 配管・弁	常設					化学体積制御設備 配管・弁	常設					給水処理設備 配管・弁	常設					活性廃棄物処理設備 配管・弁	常設					燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	常設					常用電源設備	常設					非常用交流電源設備	常設					所内常設蓄電式直流電源設備	常設					燃料取扱設備の相違	1次系純水タンク	常設					ほう酸タンク	常設					燃料取扱設備 配管・弁	常設					1次系補給水ポンプ	常設					ほう酸ポンプ	常設					化学体積制御設備 配管・弁	常設					非常用炉心冷却設備 配管	常設					給水処理設備 配管・弁	常設					常用電源設備	常設					非常用交流電源設備	常設					<p>【女川】 設備の相違による 対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の 反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯の比較対象となる添付資料1.13.2は後段に掲載している。 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。
重大事故等対処設備を用いた対応手段 審査基準の要請に適合するための手段		自主対策																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
対応手段	機器名称	施設新設	既設	稼働時間	対応人数	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
燃料取扱設備の相違	大飯発電所ポンプ（ダイヤ直）	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	コース燃料取扱車	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	コース	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	燃料貯水罐 (No. 1) 母1	新設				①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	燃料貯水罐 (No. 2) 母1	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	貯留槽	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	取水口	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	燃料補給設備	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	燃料取扱設備の相違	大飯発電所ポンプ（ダイヤ直）	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		コース燃料取扱車	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
コース		新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
燃料貯水罐 (No. 1) 母1		新設				①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
燃料貯水罐 (No. 2) 母1		新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
貯留槽		既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
取水口		既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
燃料補給設備		既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
燃料取扱設備の相違		燃料貯留タンク	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		サプレッションチェンブ	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	高圧中心キャブライズ（高圧中心キャブライズポンプ）	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
燃料取扱設備の相違	大飯発電所ポンプ（ダイヤ直）	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	コース燃料取扱車	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	コース	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	燃料貯水罐 (No. 1) 母1	新設				①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	燃料貯水罐 (No. 2) 母1	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	貯留槽	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	取水口	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	燃料補給設備	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	燃料取扱設備の相違	燃料貯留タンク	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		サプレッションチェンブ	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
燃料代管圧水ポンプ（燃料代管圧水ポンプ）		既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
代管圧水ポンプ（代管圧水ポンプ）		既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要請に適合するための手段		自主対策																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
対応手段	機器名称	施設新設	既設	稼働時間	対応人数	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
燃料取扱設備の相違	1次系純水タンク	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	燃料取扱設備 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	1次系補給水ポンプ	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	加圧器過がしタンク	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	1次系補給水タンク	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	1次系補給水ポンプ	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	燃料取扱設備 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	化学体積制御設備 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	給水処理設備 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	活性廃棄物処理設備 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	常用電源設備	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	非常用交流電源設備	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	所内常設蓄電式直流電源設備	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	燃料取扱設備の相違	燃料取扱設備 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
2次系純水タンク		常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
2次系補給水ポンプ		常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
燃料取扱設備 配管・弁		常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
化学体積制御設備 配管・弁		常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
給水処理設備 配管・弁		常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
活性廃棄物処理設備 配管・弁		常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁		常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
常用電源設備		常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
非常用交流電源設備		常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
所内常設蓄電式直流電源設備		常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
燃料取扱設備の相違		1次系純水タンク	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		ほう酸タンク	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		燃料取扱設備 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		1次系補給水ポンプ	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	ほう酸ポンプ	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	化学体積制御設備 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	非常用炉心冷却設備 配管	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	給水処理設備 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	常用電源設備	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	非常用交流電源設備	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯発電所3 / 4号炉</p> <p>【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】</p>  <p>第1図 対応手段として選定した設備の電源構成</p> <p>添付資料 1.13.2</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>添付資料1.13.2</p> <p>対応手段として選定した設備の電源構成図</p>  <p>第1図 電源構成図（交流電源）</p> <p>*1：常設代替交流電源設備の主要設備 *2：可搬型代替交流電源設備の主要設備 *3：代替所内電気設備の主要設備</p>	<p>【女川】 設備の相違による 電源構成の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の 反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は交流と直流 で分割 ・泊は流路及び給 電に使用する設 備を記載
<p>【比較のため大飯の添付資料1.13.1を掲載】</p>  <p>重大事故等対処設備の電源構成図</p> <p>添付資料 1.13.1</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】</p> <p>第1図 対応手段として選定した設備の電源構成</p> <p>添付資料 1.13.2</p>	<p>第2図 電源構成図（直流電源）</p> <p>*1：常設代替交流電源設備の主要設備 *2：可搬型代替交流電源設備の主要設備 *3：代替内電設備の主要設備 *4：所内常設蓄電池式直流電源設備の主要設備</p>	<p>【女川】 設備の相違による電源構成の相違</p>
<p>【比較のため大飯の添付資料1.13.1を掲載】</p> <p>重大事故等対処設備の電源構成図</p> <p>添付資料 1.13.1</p>		<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は交流と直流で分割 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>重大事故等対処設備の電源構成図</p> <p>添付資料 1.13.1</p>	<p>比較表 p 1.13-538 から p 1.13-539 にて比較</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉

重大事故等対応設備及び多様性拡張設備整理表

設備区分	設備名称	設備の概要	設備の位置	設備の仕様		設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様						
設備区分	設備名称	設備の概要	設備の位置	設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由

※1、※2：重大事故等対応設備の稼働時に使用する設備の組合せを示す。

添付資料1.13-2(1)

泊発電所3号炉

相違理由

記載方針の相違（女川審査実績の反映）
 ・大飯の比較対象となる泊の添付資料1.13.1は前段で整理している。
 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

比較対象は泊3号炉の添付資料1.13.1参照

大飯発電所3 / 4号炉

重大事故等対応設備及び多様性拡張設備整理表

設備区分	設備名称	設備の概要	設備の位置	設備の仕様		設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様						
設備区分	設備名称	設備の概要	設備の位置	設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由
				設備の仕様	設備の仕様	設備の稼働	設備の点検	設備の保守	設備の取組	設備の相違	設備の相違理由

※1、※2：重大事故等対応設備の稼働時に使用する設備の組合せを示す。

添付資料1.13-2(2)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

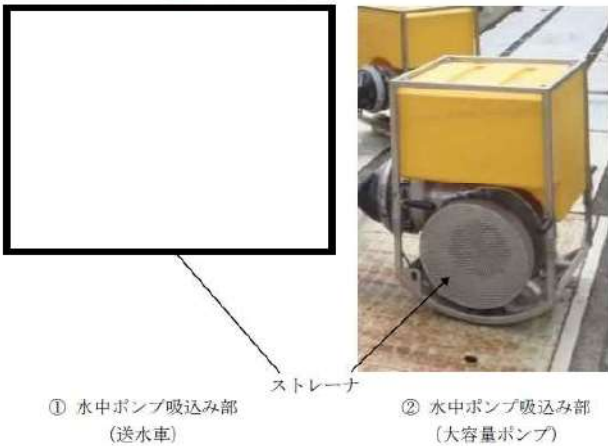
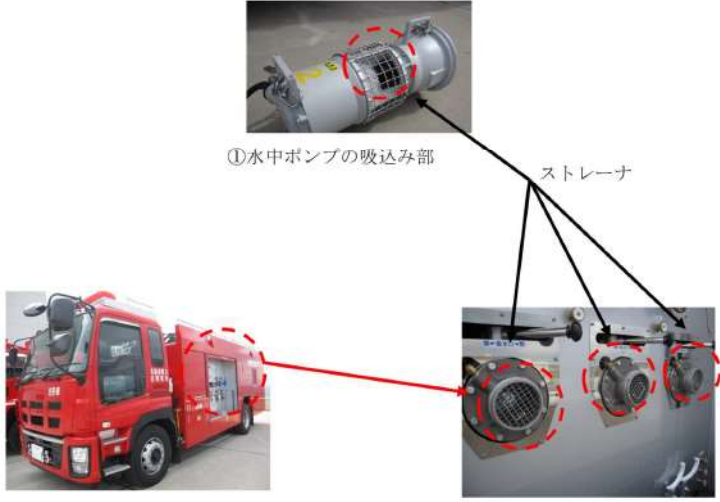
大飯発電所3 / 4号炉						泊発電所3号炉						相違理由
添付資料 1.13.3						添付資料1.13.3						
多様性拡張設備仕様						自主対策設備仕様						
機器名称	常設／可搬	耐震性	容量	揚程	台数	機器名称	常設／可搬	耐震性	容量	揚程	台数	
No. 3 淡水タンク	常設	Cクラス	8,000m ³	—	1基	2次系純水タンク	常設	Cクラス	約1,500m ³	—	2基	
電動補助給水ポンプ	常設	Sクラス	約 140m ³ /h	約 950m	2台	タービン動補助給水ポンプ	常設	Sクラス	約115m ³ /h	約900m	1台	
タービン動補助給水ポンプ	常設	Sクラス	約 250m ³ /h	約 950m	1台	電動補助給水ポンプ	常設	Sクラス	約90m ³ /h	約900m	2台	
A、B 2次系純水タンク	常設	Cクラス	8,500m ³	—	2基	代替給水ピット	常設	Cクラス	約473m ³	—	1基	
純水ポンプ	常設	Cクラス	約 220m ³ /h	約 140m	3台	可搬型大型送水ポンプ車	可搬	転倒評価	約300m ³ /h	吐出圧力 約1.3MPa [gage]	4台+予備 2台	
脱気器タンク	常設	Cクラス	約 600m ³	—	1基	原水槽	常設	Cクラス	約5,000m ³	—	2基	
電動主給水ポンプ	常設	Cクラス	約 3,300m ³ /h	約 620m	1台	ろ過水タンク	常設	Cクラス	約1,500m ³	—	4基	
No. 2 淡水タンク	常設	Cクラス	8,000m ³	—	1基	燃料取替用水ピット	常設	Sクラス	約2,000m ³	—	1基	
電動消火ポンプ	常設	Cクラス	約 1,200m ³ /h	83m	1台	2次系補給水ポンプ	常設	Cクラス	265m ³ /h	92m	2台	
ディーゼル消火ポンプ	常設	Cクラス	約 1,200m ³ /h	55m	1台	1次系純水タンク	常設	Cクラス	約360m ³	—	1基	
1次系純水タンク	常設	Cクラス	328m ³	—	2基	1次系補給水ポンプ	常設	Cクラス	45m ³ /h	95m	2台	
1次系補給水ポンプ	常設	Cクラス	60m ³ /h	80m	2台	ほう酸タンク	常設	Sクラス	約40m ³	—	2基	
ほう酸タンク	常設	Sクラス	約 100m ³	—	2基	ほう酸ポンプ	常設	Sクラス	約17m ³ /h	72m	2台	
ほう酸ポンプ	常設	Sクラス	約 17m ³ /h	80m	2台	電動機駆動消火ポンプ	常設	Cクラス	約390m ³ /h	138m	1台	
A、B 充てんポンプ	常設	Sクラス	約 45m ³ /h	1,770m	2台	ディーゼル駆動消火ポンプ	常設	Cクラス	約390m ³ /h	133m	1台	
C 充てんポンプ	常設	Sクラス	約 14m ³ /h	—	1台	使用済燃料ピットポンプ	常設	Bクラス	約550m ³ /h	75m	2台	
加圧器逃がしタンク	常設	Bクラス	51m ³	—	1基	加圧器逃がしタンク	常設	Bクラス	約37m ³	—	1基	
格納容器冷却材ドレンポンプ	常設	Bクラス	23m ³ /h	90m	2台	格納容器冷却材ドレンポンプ	常設	Bクラス	23m ³ /h	95m	2台	
使用済燃料ピットポンプ	常設	Bクラス	約 546m ³ /h	60m	2台	脱気器タンク	常設	Cクラス	約400m ³	—	1基	
格納容器再循環サンプ	常設	Sクラス	—	—	2基							
格納容器再循環サンプスクリーン	常設	Sクラス	—	—	2基							
A 余熱除去ポンプ	常設	Sクラス	約 1,020m ³ /h	約 91m	1台							
ポンプ車	可搬	—	120m ³ /h	85m	1台							

記載表現の相違（女川審査実績の反映）
 ・多様性拡張設備から自主対策設備に変更。
 ・設備名称のため中央及び現場手動操作の記載を削除
 設備の相違(相違理由①)

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.4</p> <p style="text-align: center;">海水取水時の異物管理について</p> <p>重大事故等時には、炉心冷却、格納容器スプレイを実施するが、水源である常設設備は水量が有限であるため、取水路等から海水を送水車で常設設備等に供給を実施する。また、原子炉補機冷却機能が喪失した場合は、大容量ポンプを使用して海水を原子炉補機冷却水系に通水する。</p> <p>その他使用済燃料ピットへの供給、原子炉格納容器への放水等、取水路等から取水する水の使用用途は多岐に渡る。</p> <p>津波等の自然災害の影響により、取水箇所至瓦礫等の漂流物が浮遊又は水底に堆積していることが懸念されるが、水中ポンプの吸込み部に設置されているストレーナによって、メッシュより大きな異物の混入は防止される。また、ストレーナのメッシュより小さな異物が海水と同時に取水されたとしても、水中ポンプ、送水ポンプ及び送水ホースには影響なく、規定の流量や送水機能は維持が可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>① 水中ポンプ吸込み部 (送水車)</p> <p>② 水中ポンプ吸込み部 (大容量ポンプ)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.4</p> <p style="text-align: center;">海水取水時の異物管理について</p> <p>重大事故等時には、発電用原子炉の冷却、格納容器スプレイを実施するが、水源である常設設備は水量が有限であるため、取水路等から海水を可搬型大型送水ポンプ車で常設設備等に供給を実施する。また、原子炉補機冷却機能が喪失した場合は、可搬型大型送水ポンプ車を使用して海水を原子炉補機冷却水系へ通水する。</p> <p>その他使用済燃料ピットへの供給等、取水路等から取水する水の使用用途は多岐にわたる。</p> <p>津波等の自然災害の影響により、取水箇所至瓦礫等の漂流物が浮遊又は水底に堆積していることが懸念されるが、水中ポンプの吸込み部に設置されているストレーナによって、メッシュより大きな異物の混入は防止される。また、ストレーナのメッシュより小さな異物が海水と同時に取水されたとしても、水中ポンプ、可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型ホースには影響なく、規定の流量や送水機能は維持が可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>①水中ポンプの吸込み部</p> <p>ストレーナ</p> <p>②可搬型大型送水ポンプ車の吸込み部 (水中ポンプからのホース接続部)</p> </div>	<p>記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.5</p> <p>電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え</p> <p>【水源切替操作】</p> <p>1. 操作概要 補助給水ピットから2次系純水タンクへの水源切替準備のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P. 10. 3m, T.P. 24. 8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 40分 操作時間（訓練実績等）: 21分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性 : 通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>補助給水ピット水源切替 系統構成 (周辺補機棟 T.P. 24. 8m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>補助給水ピット水源切替 系統構成 (周辺補機棟 T.P. 10. 3m)</p> </div> </div>	<p>設備の相違(相違理由⑨)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号炉の補助給水ピットから2次系純水タンクへの水源切替え操作は現場作業を伴うため、操作の成立性について記載している。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.5-(1)</p> <p style="text-align: center;">代替水源を用いた復水ビットへの補給</p> <p>【No. 3淡水タンクから復水ビットへの補給】</p> <p>1. 操作概要 No. 3淡水タンクを水源とした、復水ビットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名/ユニット 操作時間(想定) : 15分 操作時間(実績) : 8分(現場移動時間を含む。)</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.6</p> <p style="text-align: center;">2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給</p> <p>1. 操作概要 2次系純水タンクを水源とした、2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.24.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間(想定) : 25分 操作時間(訓練実績等) : 12分(現場移動、放射線防護具着用時間を含む。)</p>	<p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は、各水源から復水ビットへの補給手段をまとめて記載している。 ・泊は、各水源から補助給水ビットへの補給手段ごとに添付資料を作成している。(伊方3号炉と同様) <p>設備の相違(相違理由①)</p> <p>記載方針の相違(女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業場所の追加 ・以降、同様の相違理由は省略する。 <p>記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は「実績」又は「模擬」の作業時間を「訓練実績等」と記載。(女川と同様) ・放射線防護具着用時間を含めていることを記載。(伊方、玄海と同様) ・以降、同様の相違理由は省略する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3. 操作の成立性</p> <p>アクセシビリティ：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div data-bbox="320 507 795 826" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="392 853 728 909">復水ピット補給弁開操作 (原子炉周辺建屋 E.L.+26.0m)</p>	<p>4. 操作の成立性</p> <p>移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1339 531 1691 798" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1411 805 1624 877">補助給水ピット供給 ライン系統構成 (周辺補機棟 T.P. 24.8m)</p>	<p>記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセシビリティを移動経路と記載する。 ・建屋内照明消灯時でもアクセス可能であることを記載。 ・アクセスルート上に支障となる設備がないことを記載。 ・防護具は必要に応じて着用する記載としている。 ・連絡手段の記載充実。 ・以降、同様の相違理由は省略する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.5-(2)</p> <p>【No. 2 淡水タンクから復水ピットへの補給】</p> <p>1. 作業概要 No. 2 淡水タンクから復水ピットへ補給するため、消火栓から復水ピットまで可搬型ホースを敷設し補給する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：3名/ユニット 作業時間（想定）：45分 作業時間（実績）：35分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 作業性：可搬型ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に作業可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <table border="1" data-bbox="309 786 846 914"> <thead> <tr> <th>号炉</th> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3号炉</td> <td>屋内消火栓～ 復水ピット入口扉</td> <td>45m</td> <td>40A</td> <td>3本</td> </tr> <tr> <td>4号炉</td> <td>屋内消火栓～ 復水ピット入口扉</td> <td>45m</td> <td>40A</td> <td>3本</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="385 935 553 1062"> <p>① 消火栓接続口 (常時接続)</p> </div> <div data-bbox="602 935 768 1062"> <p>② 消火栓～可搬型ホース施設</p> </div> <div data-bbox="385 1098 553 1225"> <p>③ 可搬型ホース (40A) 接続口</p> </div> <div data-bbox="602 1098 768 1225"> <p>④ 可搬型ホース (40A) 接続後</p> </div> <div data-bbox="385 1270 553 1398"> <p>⑤ 可搬型ホース敷設</p> </div> <div data-bbox="602 1270 768 1398"> <p>⑥ 復水ピット入口扉</p> </div> </div>	号炉	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	3号炉	屋内消火栓～ 復水ピット入口扉	45m	40A	3本	4号炉	屋内消火栓～ 復水ピット入口扉	45m	40A	3本	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p>設備の相違（相違理由③）</p>
号炉	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数													
3号炉	屋内消火栓～ 復水ピット入口扉	45m	40A	3本													
4号炉	屋内消火栓～ 復水ピット入口扉	45m	40A	3本													

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.7-(1)</p> <p style="text-align: center;">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車，可搬型ホース等の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要 原水槽水を補助給水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車，可搬型ホース等を設置する。原水槽へ吸管を挿入する。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P.10.3m 屋外（原水槽周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 6名 作業時間（想定） : 200分 作業時間（訓練実績等）: 160分（現場移動，放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても，ヘッドライト，懐中電灯等を携行していることから，アクセス可能である。また，アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア，運搬ルート及び設置エリア周辺には，作業を行う上で支障となる設備はなく，また，ヘッドライト，懐中電灯等を携行していることから作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し，防護具（全面マスク，個人線量計，ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお，冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが，夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性 : 可搬型大型送水ポンプ車は，車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外の可搬型ホースの敷設は，ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから，容易に実施可能である。また，可搬型ホースの接続は，汎用の結合金具であり，容易に実施可能である。 原水槽へ挿入する吸管は，可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており，人力で挿入できる。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも，無線連絡設備（携帯型），衛星電話設備（携帯型）を携帯しており，確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<div data-bbox="436 746 689 799" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" data-bbox="1137 199 1906 300" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原水槽～可搬型大型送水ポンプ車10m接続口</td> <td>約600m×1系統 約50m×1系統</td> <td>150A</td> <td>約12本×1系統 約5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="1391 387 1644 576" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設（屋外）</p> <div data-bbox="1207 660 1460 849" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース（150A）接続前</p> <div data-bbox="1570 660 1823 849" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース（150A）接続後</p> <div data-bbox="1207 932 1460 1120" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型大型送水ポンプ車の設置 原水槽への吸管挿入（屋外）</p> <div data-bbox="1563 925 1834 1129" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型大型送水ポンプ車 周辺のホース敷設（屋外）</p>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	原水槽～可搬型大型送水ポンプ車10m接続口	約600m×1系統 約50m×1系統	150A	約12本×1系統 約5本×1系統	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由④）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
原水槽～可搬型大型送水ポンプ車10m接続口	約600m×1系統 約50m×1系統	150A	約12本×1系統 約5本×1系統							

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.7-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.40.3m, T.P.17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間(想定) : 40分 操作時間(訓練実績等): 20分(現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路: ヘッドライト, 懐中電灯等を携行していることから, 建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また, アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境: 事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また, 作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり, 事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し, 防護具(全面マスク, 個人線量計, ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。 操作性 : 通常行う弁操作と同じであり, 容易に操作可能である。 連絡手段: 事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも, 携行型通話装置を使用し, 確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>原水槽から補助給水ピットへの補給 系統構成 (周辺補機棟 T.P.17.8m)</p> </div>	<p>設備の相違(相違理由④)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.7-(3)</p> <p>【原水槽への補給】</p> <p>1. 作業概要 2次系純水タンク又はろ過水タンクの移送ラインに可搬型ホースを接続し、移送することにより原水槽への補給を行う。</p> <p>2. 作業場所 屋外（2次系純水タンク又はろ過水タンク周辺及び原水槽周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 3名 作業時間（想定） : 180分 作業時間（訓練実績等）: 135分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性：可搬型ホースは、人力で運搬・敷設が可能な仕様であり、フランジ接続により容易かつ確実に接続可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;">   </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">ろ過水タンクからの補給（屋外） （作業風景は類似作業）</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;">   </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">2次系純水タンクからの補給（屋外） （作業風景は類似作業）</p>	<p style="color: red; font-size: small;">設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.8-(1)</p> <p style="text-align: center;">代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要 代替給水ピット水を補助給水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。代替給水ピットへ吸管を挿入する。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P.33.1m 屋外（代替給水ピット周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 6名 作業時間（想定） : 145分 作業時間（訓練実績等）: 115分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外の可搬型ホースの敷設は、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は、汎用の結合金具であり、容易に実施可能である。 代替給水ピットへ挿入する吸管は、可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" data-bbox="1131 199 1899 300" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口</td> <td>約 150m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150A</td> <td>約 3本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="1384 384 1641 580" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">ホース延長・回収車（送水車用）による 可搬型ホース敷設 （屋外）</p> <div data-bbox="1205 673 1460 863" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース（150A）接続前</p> <div data-bbox="1570 673 1825 863" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース（150A）接続後</p> <div data-bbox="1205 959 1460 1149" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型大型送水ポンプ車の設置 代替給水ビットへの吸管挿入 （屋外） （作業風景は類似作業）</p> <div data-bbox="1561 951 1832 1155" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型大型送水ポンプ車 周辺のホース敷設 （屋外）</p>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 150m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 3本×1系統 約 5本×1系統	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由④）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 150m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 3本×1系統 約 5本×1系統							

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.8-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.40.3m, T.P.17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 40分 操作時間（訓練実績等）: 20分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性 : 通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1352 963 1671 1206" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">代替給水ピットから 補助給水ピットへの補給系統構成 (周辺補機棟 T.P.17.8m)</p>	<p>設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.5-(3)</p> <p>【海水を用いた復水ピットへの補給】</p> <p>1. 作業概要 海水を復水ピットに補給するための送水車、可搬型ホース等を配備する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：5名/ユニット 作業時間(想定)：3.4時間 作業時間(実績)：3.4時間以内(現場移動時間を含む。)</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 なお、建屋への入口扉は2箇所からアクセス可能であり、これが両方とも使用できない場合でも、十分に距離のある別の入口扉からアクセス可能である。建屋入口扉の配置を「建屋入口扉へのアクセス箇所」に示す。 また、復水ピット入口扉にアクセスできない場合においても、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプのテストラインに可搬型ホースを接続することで補給できる。</p> <p>作業環境：可搬型設備保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>作業性：送水車の水中ポンプの設置要領は、他の水中ポンプ設置と同等であり、作業は実施可能である。 また、可搬型ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に接続可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、トランシーバー、衛星電話(アイサットフォン)を携帯しており、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.9-(1)</p> <p style="text-align: center;">海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置(水中ポンプの設置含む。)]</p> <p>1. 作業概要 海水を補助給水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。海水取水箇所へ水中ポンプを設置し、可搬型大型送水ポンプ車へ接続する。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P.33.1m, T.P.10.3m 屋外(海水取水箇所周辺及び原子炉建屋周辺)</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：6名 作業時間(想定)：200分 作業時間(訓練実績等)：160分(現場移動、放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具(全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。 屋外の可搬型ホースの敷設は、ホース延長・回収車(送水車用)を使用することから、容易に実施可能である。 また、可搬型ホースの接続は、汎用の結合金具であり、容易に実施可能である。 海水取水箇所に吊り下げて設置する水中ポンプは、軽量なものであり人力で降下設置できる。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備(携帯型)、衛星電話設備(携帯型)を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違 ・大飯は添付資料1.5.6の中で水中ポンプ設置の記載をしている。 泊は各添付資料にて記載する。 記載内容は同様である。 ・以降、同様の相違理由は省略する。</p> <p>運用の相違 ・泊は可搬型ホースを補給配管に接続することで補給可能。(伊方3号炉同様)</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載内容の相違 ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載</p> <p>設備の相違 ・泊は結合金具式である。(女川同様)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、**BWR**固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p data-bbox="376 161 763 183">建屋入口扉へのアクセス箇所（3号炉の例）</p> <div data-bbox="150 204 987 671" style="border: 2px solid black; height: 293px; width: 374px;"></div> <div data-bbox="405 683 983 710" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>	<div data-bbox="1391 783 1637 831" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 100px auto;"> 比較対象なし </div>	<p data-bbox="2007 145 2092 164">運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="2007 172 2136 309">・泊は可搬型ホースを補給配管に接続することで補給可能。（伊方3号炉同様）

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉				泊発電所3号炉				相違理由												
3号炉	海水ポンプ室前～復水ピット (背面道路経由)	約1,550m	100mm	約48本	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口</td> <td>約 400m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150 A</td> <td>約 8本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口</td> <td>約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150 A</td> <td>約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table>				敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 400m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 8本×1系統 約 5本×1系統	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統
			敷設ルート						敷設長さ	ホース口径	本数									
			海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口						約 400m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 8本×1系統 約 5本×1系統									
	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統																
	150mm																			
	200mm																			
	吉見橋付近～復水ピット (背面道路経由)	約1,450m	100mm	約47本																
			150mm																	
			200mm																	
	放水路ピット～復水ピット (中央道路経由)	約1,100m	100mm	約39本																
			150mm																	
			200mm																	
放水路ピット～復水ピット (D/G室前経由)	約300m	100mm	約17本																	
		150mm																		
		200mm																		
4号炉	海水ポンプ室前～復水ピット (背面道路経由)	約1,550m	100mm	約43本																
			150mm																	
			200mm																	
	吉見橋付近～復水ピット (背面道路経由)	約1,450m	100mm	約42本																
			150mm																	
			200mm																	
	放水路ピット～復水ピット (中央道路経由)	約1,100m	100mm	約37本																
			150mm																	
			200mm																	
	放水路ピット～復水ピット (D/G室前経由)	約700m	100mm	約25本																
			150mm																	
			200mm																	



① 送水車外観



② 可搬型ホース接続 (接続前)



③ 可搬型ホース接続 (接続後)



④ 復水ピット入口扉



⑤ 可搬型ホース～復水ピット

②、③の写真はイメージ



ホース延長・回収車（送水車用）による
可搬型ホース敷設
(屋外)



ホース延長・回収車（送水車用）による
可搬型ホース敷設
(屋外)



可搬型ホース（150A）接続前



可搬型ホース（150A）接続後



可搬型大型送水ポンプ車の設置
ポンプ車周辺のホース敷設
(屋外)



海水取水箇所への水中ポンプ設置
(屋外)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="434 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.9-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.40.3m, T.P.17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間(想定) : 40分 操作時間(訓練実績等): 20分(現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路: ヘッドライト, 懐中電灯等を携行していることから, 建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また, アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境: 事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また, 作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり, 事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し, 防護具(全面マスク, 個人線量計, ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。 操作性 : 通常行う弁操作と同じであり, 容易に操作可能である。 連絡手段: 事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも, 携行型通話装置を使用し, 確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1352 976 1671 1219" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">海から補助給水ビットへの補給 系統構成 (周辺補機棟 T.P.17.8m)</p>	<p>相違理由</p> <p style="color: red;">運用の相違 ・泊は可搬型ホースを給水ラインに接続後, 系統構成を実施する必要がある。 (伊カ3号炉同様)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）




1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.6</p> <p style="text-align: center;">燃料取替用水ピットから代替水源への水源切替</p> <p>【燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替（ディスタンスピース接続）】</p> <p>1. 作業概要 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替準備のために、補給ラインのディスタンスピースを閉止用から通水用に取り替える。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：3名/ユニット 作業時間（想定）：90分 作業時間（実績）：58分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 作業性：ディスタンスピース取替え作業は一般的な作業であるため、容易に作業可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 作業エリア (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② ディスタンスピース</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>③ ディスタンスピース取替え (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>④ ベンディングホース接続 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料1.13.10</p> <p style="text-align: center;">燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え (原子炉容器への注水又は原子炉格納容器内へのスプレイ)</p> <p>【燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替（系統構成（炉心注水））】</p> <p>1. 操作概要 炉心注水のため、燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 [恒設代替低圧注水ポンプの水源とする場合] 必要要員数：2名/ユニット 操作時間（想定）：35分 操作時間（実績）：27分（現場移動時間を含む。） [充てんポンプの水源とする場合] 必要要員数：2名/ユニット 操作時間（想定）：35分 操作時間（実績）：26分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>① 燃料取替用水ピット水源切替え系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m) ② 燃料取替用水ピット水源切替え系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p>	<p>燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え (原子炉容器への注水又は原子炉格納容器内へのスプレイ)</p> <p>【燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水源切替（系統構成）】</p> <p>1. 操作概要 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水源切替のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.10.3m, T.P.17.8m 原子炉補助建屋T.P.10.3m, T.P.10.3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 (1) 原子炉容器への注水時 必要要員数：2名 操作時間（想定）：35分 操作時間（訓練実績等）：27分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。） (2) 原子炉格納容器内へのスプレイ時 必要要員数：2名 操作時間（想定）：30分 操作時間（訓練実績等）：23分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 水源切替系統構成 (周辺補機棟 T.P.17.8m)</p> </div>	<p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯は、炉心注水が恒設代替低圧注水ポンプ又は充てんポンプで操作時間が異なるため、炉心注水及び格納容器スプレイで別の添付資料を作成している。 泊は、代替格納容器スプレイポンプのみであるため、原子炉容器への注水及び原子炉格納容器スプレイで共通の成立性を記載する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【燃料取替用水ビットから復水ビットへの水源切替（系統構成（格納容器スプレイ））】</p> <p>1. 操作概要 格納容器スプレイのため、燃料取替用水ビットから復水ビットへの水源切替のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名/ユニット 操作時間（想定）：35分 操作時間（実績）：27分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>① 燃料取替用水ビット水源切替え系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> <p>② 燃料取替用水ビット水源切替え系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯は、炉心注入が恒設代替低圧注水ポンプ又は充てんポンプで操作時間が異なるため、炉心注水及び格納容器スプレイで別の添付資料を作成している。 泊は、代替格納容器スプレイポンプのみであるため、原子炉容器への注水及び原子炉格納容器スプレイで共通の成立性を記載する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.7</p> <p>復水ビットから燃料取替用水ビット間のディスタンスピースの必要性及び取替え作業の確実性について</p> <p>復水ビットと燃料取替用水ビットとの隔離については、「隔離の信頼性」及び「作業の確実性」についての検討を行った。また、放射性物質が管理区域外へ漏えいすることへのリスクについて検討した結果、漏えいのリスクを抑えるためディスタンスピースによる隔離を選択した。</p> <p>【ディスタンスピースの必要性】 ○復水ビットと燃料取替用水ビットの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する構成であり、放射性物質が管理区域外へ漏えいすることへのリスクを排除するために、物理的障壁として信頼性の高いディスタンスピースを設置することにより、非管理区域と管理区域の確実な分離管理を可能としている。</p> <p>【ディスタンスピース取替え作業の確実性】 ○ディスタンスピース取替え作業は、一般的なガスケット取替え作業と同様であるため、適切な工具を使用すれば、容易かつ確実に作業が可能である。また、系統構成作業については、手順書を整備しており、ダブルチェックにより確実に実施可能である。 ○さらに、訓練用モックアップ（新設）又は実機によるディスタンスピース取替え作業及び系統構成作業について、定期的な訓練を実施し、確実な作業が行われるよう技能維持及び向上に努める。</p> <p>1. ディスタンスピースの必要性 復水ビット（純水内包）と燃料取替用水ビット（ほう酸水内包：放射性物質含む。）の接続については、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する構成であり、管理区域と非管理区域を厳格に隔離し漏えいリスクを排除するため、物理的障壁として信頼性の高いディスタンスピースを設置した。</p> <p>バルブによる隔離では誤操作やシートリークの懸念があるが、ディスタンスピースは物理的障壁として信頼性が高く、2次側への放射性物質の混入による汚染拡大を確実に防止可能であり、通常時の管理区域の区分設定を厳格に管理できる。</p> <p>PWRプラントには、設計思想として、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する配管は設けない。ただし、一部機器の洗浄ラインやポンプのシール水ラインについては、放射性物質を含む系統と接続しているものの、非放射性側の系統圧力を高くすることで、放射性物質の漏えい防止を図っている。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.11</p> <p>補助給水ビットから燃料取替用水ビット間の接続配管について</p> <p>補助給水ビットと燃料取替用水ビットとの隔離については、「隔離の信頼性」及び「作業の確実性」についての検討を行った。また、放射性物質が管理区域外へ漏えいすることへのリスクについて検討した結果、漏えいのリスクを抑えるため直列に2個設置した隔離弁による隔離を選択した。</p> <p>【補助給水ビットと燃料取替用水ビットとの隔離】 補助給水ビットと燃料取替用水ビットの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する構成であり、放射性物質が管理区域外へ漏えいすることへのリスクを排除するために、物理的障壁として直列に2個設置した隔離弁により、非管理区域と管理区域の確実な分離管理を可能としている。</p> <p>【切替えの容易性】 運転員が実施する弁操作による系統構成作業は、通常時に行う弁操作と同様であるため、容易かつ確実に実施可能である。また、系統構成作業については、手順書を整備しており、確実に実施可能である。 さらに、系統構成作業について、定期的な訓練を実施するとともに、通常時に行う弁操作経験を積むことにより、確実な作業が行われるよう技能維持及び向上に努める。</p> <p>1. 補助給水ビットと燃料取替用水ビットとの隔離 補助給水ビット（純水内包）と燃料取替用水ビット（ほう酸水内包：放射性物質含む。）の接続については、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する構成であり、管理区域と非管理区域を厳格に隔離し漏えいリスクを排除するため、物理的障壁として隔離弁を直列に2個設置した。</p> <p>弁による隔離では誤操作やシートリークの懸念があるが、直列に2個設置した隔離弁で隔離し、通常時開閉操作をしないことから異物の噛み込みによるシートリークが発生する可能性が極めて小さいこと及び施錠管理をすることで誤操作を防止できることから、ディスタンスピース及びスプールピースによる隔離と同等の信頼性が確保できると考えている。</p>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>

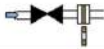



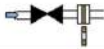



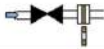



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p>(1) 放射性物質を含む配管と含まない配管との接続に対する設計上の考慮 泊発電所3号炉の既設設備における放射性物質を含む系統と放射性物質を含まない系統が接続している場合の隔離は、以下のとおりとしている。</p> <p>①放射性物質を含まない流体を放射性物質を含む系統に導く配管 放射性物質を含まない流体を放射性物質を含む系統へ導く配管については、放射性物質が放射性物質を含まない系統に逆流することを防止するため、逆止弁を設置し隔離する設計としていることから、「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」（以下「技術基準」という。）第三十条について満足している。</p> <table border="1" data-bbox="1220 446 1836 790"> <thead> <tr> <th>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則</th> <th>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(逆止め弁)</td> <td>第30条 (逆止め弁)</td> </tr> <tr> <td>第三十条 放射性物質を含む一次冷却材を内包する容器若しくは管又は放射性廃棄物を処理する設備（排気筒並びに第四十条及び第四十三条に規定するものを除く。第四十七条において同じ。）へ放射性物質を含まない流体を導く管には、逆止め弁を設けなければならない。ただし、放射性物質を含む流体が放射性物質を含まない流体を導く管に逆流するおそれがない場合は、この限りでない。</td> <td>1 第30条に規定する「逆流するおそれがない場合」とは、直接接続されていない場合、又は十分な圧力差を有している場合をいう。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; color: red;">既設の系統における同様な例との比較を以下に示す。</p> <table border="1" data-bbox="1075 901 1982 1141"> <thead> <tr> <th></th> <th>放射性物質を含む系統の機器名称</th> <th>放射性物質を含まない系統（液体）</th> <th>用途</th> <th>放射性物質を含まない系統の圧力/温度</th> <th>逆流防止の系統構成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">既設の例*</td> <td>蓄圧タンク</td> <td>気体廃棄物処理系統（窒素ガス）</td> <td>窒素ガスポンプによる蓄圧タンク加圧及びカバーガスの供給用</td> <td>4.9MPa/132℃</td> <td>逆止弁及び空気作動弁（1個）</td> </tr> <tr> <td>加圧器速がしタンク</td> <td>原子炉補給水系統（1次系統水）</td> <td>加圧器速がしタンク減圧用</td> <td>0.7MPa/170℃</td> <td>逆止弁</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">体積制御タンク</td> <td rowspan="2">気体廃棄物処理系統等（水素ガス）</td> <td rowspan="2">水素ガスポンプによる体積制御タンク加圧用</td> <td>0.5MPa/95℃</td> <td>逆止弁</td> </tr> <tr> <td>0.98MPa/50℃</td> <td>手動弁（1個）</td> </tr> <tr> <td>今回設置</td> <td>代替格納容器スプレイライン</td> <td>補助給水ライン</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ試験用</td> <td>0MPa/95℃</td> <td>補助給水ピット側逆止弁及び手動弁（1個）</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※：他にも、タンク等へに補給（2次系統水）及びカバーガス（窒素ガス等）等の例が多数ある。</p>	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈	(逆止め弁)	第30条 (逆止め弁)	第三十条 放射性物質を含む一次冷却材を内包する容器若しくは管又は放射性廃棄物を処理する設備（排気筒並びに第四十条及び第四十三条に規定するものを除く。第四十七条において同じ。）へ放射性物質を含まない流体を導く管には、逆止め弁を設けなければならない。ただし、放射性物質を含む流体が放射性物質を含まない流体を導く管に逆流するおそれがない場合は、この限りでない。	1 第30条に規定する「逆流するおそれがない場合」とは、直接接続されていない場合、又は十分な圧力差を有している場合をいう。		放射性物質を含む系統の機器名称	放射性物質を含まない系統（液体）	用途	放射性物質を含まない系統の圧力/温度	逆流防止の系統構成	既設の例*	蓄圧タンク	気体廃棄物処理系統（窒素ガス）	窒素ガスポンプによる蓄圧タンク加圧及びカバーガスの供給用	4.9MPa/132℃	逆止弁及び空気作動弁（1個）	加圧器速がしタンク	原子炉補給水系統（1次系統水）	加圧器速がしタンク減圧用	0.7MPa/170℃	逆止弁	体積制御タンク	気体廃棄物処理系統等（水素ガス）	水素ガスポンプによる体積制御タンク加圧用	0.5MPa/95℃	逆止弁	0.98MPa/50℃	手動弁（1個）	今回設置	代替格納容器スプレイライン	補助給水ライン	代替格納容器スプレイポンプ試験用	0MPa/95℃	補助給水ピット側逆止弁及び手動弁（1個）	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由②）</p>
実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈																																					
(逆止め弁)	第30条 (逆止め弁)																																					
第三十条 放射性物質を含む一次冷却材を内包する容器若しくは管又は放射性廃棄物を処理する設備（排気筒並びに第四十条及び第四十三条に規定するものを除く。第四十七条において同じ。）へ放射性物質を含まない流体を導く管には、逆止め弁を設けなければならない。ただし、放射性物質を含む流体が放射性物質を含まない流体を導く管に逆流するおそれがない場合は、この限りでない。	1 第30条に規定する「逆流するおそれがない場合」とは、直接接続されていない場合、又は十分な圧力差を有している場合をいう。																																					
	放射性物質を含む系統の機器名称	放射性物質を含まない系統（液体）	用途	放射性物質を含まない系統の圧力/温度	逆流防止の系統構成																																	
既設の例*	蓄圧タンク	気体廃棄物処理系統（窒素ガス）	窒素ガスポンプによる蓄圧タンク加圧及びカバーガスの供給用	4.9MPa/132℃	逆止弁及び空気作動弁（1個）																																	
	加圧器速がしタンク	原子炉補給水系統（1次系統水）	加圧器速がしタンク減圧用	0.7MPa/170℃	逆止弁																																	
	体積制御タンク	気体廃棄物処理系統等（水素ガス）	水素ガスポンプによる体積制御タンク加圧用	0.5MPa/95℃	逆止弁																																	
0.98MPa/50℃				手動弁（1個）																																		
今回設置	代替格納容器スプレイライン	補助給水ライン	代替格納容器スプレイポンプ試験用	0MPa/95℃	補助給水ピット側逆止弁及び手動弁（1個）																																	

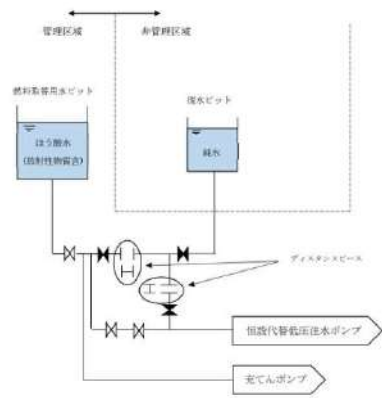
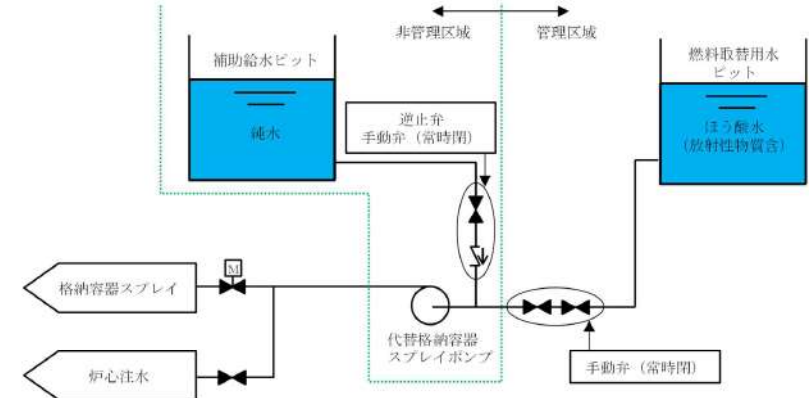
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p>②放射性物質を含む流体を放射性物質を含まない系統に導く配管</p> <p>泊発電所3号炉の既設の系統には、上記の例とは逆に、非常時に放射性物質を含む流体を放射性物質を含まない系統に導く配管として、燃料取替用水ピットから原子炉補機冷却水サージタンクへの非常時の補給</p> <table border="1" data-bbox="1137 336 1951 451"> <thead> <tr> <th>放射性物質を含む系統の機器名称</th> <th>放射性物質を含まない系統（液体）</th> <th>用途</th> <th>放射性物質を含まない系統の圧力/温度</th> <th>系統構成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">燃料取替用水ピット</td> <td rowspan="2">原子炉補機冷却水系</td> <td rowspan="2">原子炉補機冷却水サージタンクへの非常時の補給</td> <td>1.4MPa/95℃</td> <td>手動弁</td> </tr> <tr> <td>0.98MPa/65℃</td> <td>手動弁</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイルイン</td> <td>補助給水ライン</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ試験用</td> <td>0MPa/95℃</td> <td>燃料取替用水ピット側手動弁（3個）</td> </tr> </tbody> </table> <p>代替格納容器スプレイポンプの入口配管である燃料取替用水ピットと補助給水ピットが接続されている重大事故等対処設備の配管も、上記と同様に放射性物質を含まない流体を放射性物質を含む系統へ導く配管であることから、逆止弁を設けるとともに、手動弁1個を常時閉止することとしており、「技術基準」第三十条について満足している。さらに、燃料取替用水ピット側の配管に直列に2個設置した隔離弁を常時閉止することで、ディスタンスピースやスプールピースによる隔離と同等の信頼性が確保できる。</p> <table border="1" data-bbox="1106 767 1957 1169"> <thead> <tr> <th></th> <th>ディスタンスピース</th> <th>手動弁</th> <th>スプールピース</th> <th>フレキシブル配管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>概要図</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>隔離の信頼性</td> <td>物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能</td> <td>通常の閉鎖操作が不十分で、結果として異物の噛み込みによるリークが発生する可能性が極めて小さいこと、直列に2個設置した隔離弁で隔離し漏洩管理を行うことで漏洩を防止できることから、2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能</td> <td>物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能</td> <td>物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">作業性</td> <td>作業内容</td> <td>ディスタンスピース取替作業 手操作（2箇所）</td> <td>手操作（2箇所）</td> <td>スプールピース取替作業 手操作（2箇所）</td> <td>カプテラ接続作業 手操作（2箇所）</td> </tr> <tr> <td>詳細</td> <td>手操作に加えてディスタンスピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る</td> <td>手操作のみであり、作業性に優れる</td> <td>手操作に加えてスプールピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る</td> <td>手操作に加えてカプテラ接続作業が必要のため、手動弁より劣る</td> </tr> <tr> <td>評価結果</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">◎</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table>	放射性物質を含む系統の機器名称	放射性物質を含まない系統（液体）	用途	放射性物質を含まない系統の圧力/温度	系統構成	燃料取替用水ピット	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水サージタンクへの非常時の補給	1.4MPa/95℃	手動弁	0.98MPa/65℃	手動弁	代替格納容器スプレイルイン	補助給水ライン	代替格納容器スプレイポンプ試験用	0MPa/95℃	燃料取替用水ピット側手動弁（3個）		ディスタンスピース	手動弁	スプールピース	フレキシブル配管	概要図					隔離の信頼性	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	通常の閉鎖操作が不十分で、結果として異物の噛み込みによるリークが発生する可能性が極めて小さいこと、直列に2個設置した隔離弁で隔離し漏洩管理を行うことで漏洩を防止できることから、2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	作業性	作業内容	ディスタンスピース取替作業 手操作（2箇所）	手操作（2箇所）	スプールピース取替作業 手操作（2箇所）	カプテラ接続作業 手操作（2箇所）	詳細	手操作に加えてディスタンスピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る	手操作のみであり、作業性に優れる	手操作に加えてスプールピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る	手操作に加えてカプテラ接続作業が必要のため、手動弁より劣る	評価結果	○	◎	○	○	<p>設備の相違（相違理由②）</p>
放射性物質を含む系統の機器名称	放射性物質を含まない系統（液体）	用途	放射性物質を含まない系統の圧力/温度	系統構成																																														
燃料取替用水ピット	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水サージタンクへの非常時の補給	1.4MPa/95℃	手動弁																																														
			0.98MPa/65℃	手動弁																																														
代替格納容器スプレイルイン	補助給水ライン	代替格納容器スプレイポンプ試験用	0MPa/95℃	燃料取替用水ピット側手動弁（3個）																																														
	ディスタンスピース	手動弁	スプールピース	フレキシブル配管																																														
概要図																																																		
隔離の信頼性	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	通常の閉鎖操作が不十分で、結果として異物の噛み込みによるリークが発生する可能性が極めて小さいこと、直列に2個設置した隔離弁で隔離し漏洩管理を行うことで漏洩を防止できることから、2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能																																														
作業性	作業内容	ディスタンスピース取替作業 手操作（2箇所）	手操作（2箇所）	スプールピース取替作業 手操作（2箇所）	カプテラ接続作業 手操作（2箇所）																																													
	詳細	手操作に加えてディスタンスピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る	手操作のみであり、作業性に優れる	手操作に加えてスプールピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る	手操作に加えてカプテラ接続作業が必要のため、手動弁より劣る																																													
評価結果	○	◎	○	○																																														

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">大飯発電所3/4号炉</p> <div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 10px 0;"></div> <p style="text-align: center;">復水ピットから燃料取替用水ピット間ディスタンススペース設置箇所（1/2）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>  <p style="text-align: center;">復水ピットから燃料取替用水ピット間ディスタンススペース設置箇所（2/2）</p>	<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉</p> <div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 10px 0;"></div> <p style="text-align: center;">補助給水ピットから燃料取替用水ピット間弁設置箇所（1/2）</p>  <p style="text-align: center;">補助給水ピットから燃料取替用水ピット間弁設置箇所（2/2）</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p style="text-align: center;">相違理由</p> <p style="color: red;">設備の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載






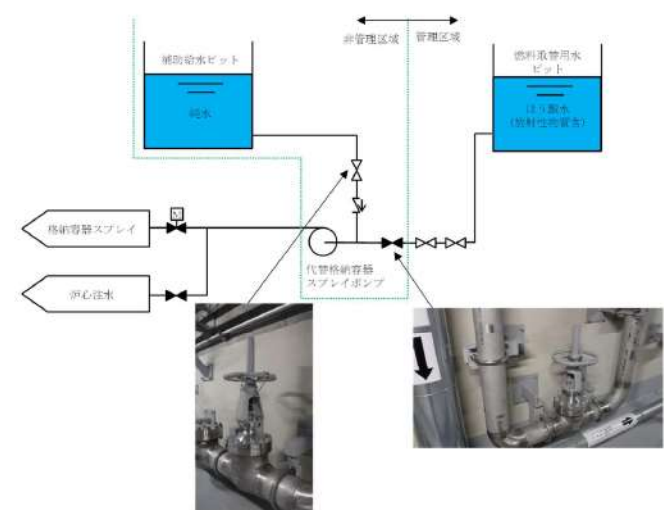


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																									
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p>(2) 放射性物質を含む配管と含まない配管の隔離に用いる弁の施設管理 放射性物質を含まない流体を放射性物質を含む系統へ導く配管に設置する逆止弁等の施設管理は以下のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="1093 268 1944 497"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>系統圧力/温度</th> <th>対象隔離弁</th> <th>隔離弁点検内容</th> <th>頻度（回/定期）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">既設の例</td> <td rowspan="2">常圧タンク 管系ガスライン</td> <td>逆止弁（リフト式）</td> <td>分解点検 （シート面の当り確認含む。）</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td>空気作動弁（玉形弁）</td> <td></td> <td>1/6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">加圧器連がしタンク 1次系補給水ライン</td> <td>空気作動弁（玉形弁）</td> <td>分解点検 （シート面の当り確認含む。）</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td>逆止弁（スイング式）</td> <td></td> <td>1/6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">化学体積調整タンク 本系ガスライン</td> <td>逆止弁（リフト式）</td> <td>分解点検 （シート面の当り確認含む。）</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td>手動弁（ゴムダイヤフラム弁）</td> <td>分解点検 （ダイヤフラム交換含む。）</td> <td>1/7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料取扱用水ヒートからの 原子炉補機冷却水サージタンク 補給水ライン</td> <td>手動弁（玉形弁）</td> <td>分解点検 （シート面の当り確認含む。）</td> <td>1/20</td> </tr> <tr> <td>逆止弁（スイング式）</td> <td>分解点検 （シート面の当り確認含む。）</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">今回設置 代替格納容器 スプレイポンプ 入口ライン</td> <td>逆止弁（スイング式）</td> <td>分解点検 （シート面の当り確認含む。）</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td>手動弁（仕切弁）</td> <td></td> <td>（検計中）</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、今回設置する代替格納容器スプレイポンプ入口配管については、上記に加えて、直列に2個設置した隔離弁の間にリーク確認用のドレン配管を設けており、弁を分解点検した場合は、水張り後に漏えい確認を行うこととしている。</p>	系統	系統圧力/温度	対象隔離弁	隔離弁点検内容	頻度（回/定期）	既設の例	常圧タンク 管系ガスライン	逆止弁（リフト式）	分解点検 （シート面の当り確認含む。）	1/10	空気作動弁（玉形弁）		1/6	加圧器連がしタンク 1次系補給水ライン	空気作動弁（玉形弁）	分解点検 （シート面の当り確認含む。）	1/10	逆止弁（スイング式）		1/6	化学体積調整タンク 本系ガスライン	逆止弁（リフト式）	分解点検 （シート面の当り確認含む。）	1/10	手動弁（ゴムダイヤフラム弁）	分解点検 （ダイヤフラム交換含む。）	1/7	燃料取扱用水ヒートからの 原子炉補機冷却水サージタンク 補給水ライン	手動弁（玉形弁）	分解点検 （シート面の当り確認含む。）	1/20	逆止弁（スイング式）	分解点検 （シート面の当り確認含む。）	1/10	今回設置 代替格納容器 スプレイポンプ 入口ライン	逆止弁（スイング式）	分解点検 （シート面の当り確認含む。）	1/10	手動弁（仕切弁）		（検計中）	<p>設備の相違（相違理由②）</p>
系統	系統圧力/温度	対象隔離弁	隔離弁点検内容	頻度（回/定期）																																							
既設の例	常圧タンク 管系ガスライン	逆止弁（リフト式）	分解点検 （シート面の当り確認含む。）	1/10																																							
		空気作動弁（玉形弁）		1/6																																							
	加圧器連がしタンク 1次系補給水ライン	空気作動弁（玉形弁）	分解点検 （シート面の当り確認含む。）	1/10																																							
		逆止弁（スイング式）		1/6																																							
	化学体積調整タンク 本系ガスライン	逆止弁（リフト式）	分解点検 （シート面の当り確認含む。）	1/10																																							
		手動弁（ゴムダイヤフラム弁）	分解点検 （ダイヤフラム交換含む。）	1/7																																							
燃料取扱用水ヒートからの 原子炉補機冷却水サージタンク 補給水ライン	手動弁（玉形弁）	分解点検 （シート面の当り確認含む。）	1/20																																								
	逆止弁（スイング式）	分解点検 （シート面の当り確認含む。）	1/10																																								
今回設置 代替格納容器 スプレイポンプ 入口ライン	逆止弁（スイング式）	分解点検 （シート面の当り確認含む。）	1/10																																								
	手動弁（仕切弁）		（検計中）																																								

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由					
<p>2. ディスタンスピース取替え作業の確実性</p> <p>(1) ディスタンスピース取替え作業</p> <p>ディスタンスピースの取替え作業は、以下のとおり一般的なガスケット取替え作業と同様であり、系統の圧力もかからないため容易に実施することができる。</p> <p>○作業内容</p> <p>①ボルト緩め(8本)及びボルト取外し(そのうち4本)</p> <p>②フランジ面間を広げる(シノ使用)</p> <p>③ディスタンスピース及びガスケット取替え(閉止水⇒通水用)</p> <p>④ボルト取付け及びボルト締付け</p> <p>〔ボルト材質はSCM435(クロモリ鋼)であり管理区域内の湿度及び温度が一定の場所に設置されているため腐食の懸念はほとんどなく、また、日常パトロール及び定期的な訓練での取替え作業にて健全性は確認可能である。〕</p> <p>ディスタンスピース(通水用)及び工具が入った工具箱は、作業場所付近に固縛して備え付け、速やかに取替え作業ができるようにしている。また、工具の員数については日常パトロール等で確認している。</p> <div data-bbox="291 702 716 861"> <table border="1"> <tr> <th>通常時</th> <th>使用時</th> </tr> <tr> <td>ディスタンスピース (閉止水)</td> <td>ディスタンスピース (通水用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="257 877 851 1013">  <p>ディスタンスピース(閉止水) / ガスケット / ディスタンスピース(通水用) / ガスケット</p> </div>	通常時	使用時	ディスタンスピース (閉止水)	ディスタンスピース (通水用)			<p>2. 切替えの容易性</p> <p>(1) 水源切替え操作</p> <p>弁操作は、通常時に行う運転操作と同様であり、容易に実施することができる。</p> <p>操作内容</p> <p>①燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの水源切替として、補助給水ビット側の入口止め弁を「開」とする。</p> <p>②燃料取替用水ビット側の入口止め弁を「閉」とする。</p> <div data-bbox="1209 430 1870 941">  <p>補助給水ビット (閉水) / 燃料取替用水ビット (燃料地給水) / 代替格納容器スプレーポンプ / 非管理区域 / 管理区域 / 燃料取替用水スプレー / 炉心注水</p> </div>
通常時	使用時						
ディスタンスピース (閉止水)	ディスタンスピース (通水用)						
							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
<p>(2) 工具の最適性</p> <p>○ボルト緩め及び締付け工具（作業①、④）</p> <p>ボルトの緩め及び締付け作業を実施するためには、一般工具である片ロメガネレンチ及びソケットレンチが最適である。</p> <table border="1" data-bbox="268 300 828 466"> <thead> <tr> <th>工具</th> <th>作業時間（緩め）</th> <th>作業性</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・片ロメガネレンチ ・ソケットレンチ</td> <td>5分</td> <td>・一般工具であり、確実にボルトの緩め及び締付け作業ができる。</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="257 481 555 619"> <p>片ロメガネレンチ(30mm)</p> </div> <div data-bbox="564 481 862 619"> <p>ソケットレンチ(30mm)</p> </div> </div> <p>○フランジ面間を広げる工具（作業②）</p> <p>シノは、フランジ面に接着し押し広げることにより、セッティング及び取外しが可能であり、一般工具であるシノで確実かつ信頼性の高い作業が可能である。</p> <table border="1" data-bbox="257 794 862 960"> <thead> <tr> <th>工具</th> <th>原理</th> <th>作業時間（セッティング、面間広げ）</th> <th>作業性</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・シノ</td> <td>上流側と下流側のフランジの面間を広げる</td> <td>2分</td> <td>・一般工具であり、確実に面間を広げる作業ができる。</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="302 992 593 1114"> <p>シノ付きラチェット(30mm)</p> </div>	工具	作業時間（緩め）	作業性	評価	・片ロメガネレンチ ・ソケットレンチ	5分	・一般工具であり、確実にボルトの緩め及び締付け作業ができる。	◎	工具	原理	作業時間（セッティング、面間広げ）	作業性	評価	・シノ	上流側と下流側のフランジの面間を広げる	2分	・一般工具であり、確実に面間を広げる作業ができる。	◎	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>
工具	作業時間（緩め）	作業性	評価																	
・片ロメガネレンチ ・ソケットレンチ	5分	・一般工具であり、確実にボルトの緩め及び締付け作業ができる。	◎																	
工具	原理	作業時間（セッティング、面間広げ）	作業性	評価																
・シノ	上流側と下流側のフランジの面間を広げる	2分	・一般工具であり、確実に面間を広げる作業ができる。	◎																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉				泊発電所3号炉		相違理由
(3) ディスタンスピースの検討						
概略図						
取替要領	閉止用を引き抜き、通水用を差し込む。	閉止用と通水用をつなげて、引き抜いて方向を変えて差し込む。	閉止用と通水用をつなげて、ボルトを支点に回すことで取替え作業を実施。	配管上にバーを設置し、そこを支点に回すことで取替え作業を実施。		
設備面	一体でないため紛失の恐れ有。ただし、通水側は保管しているため傷がつくおそれはない。	地震時につなぎの部分にかかる応力が大きく破損の恐れ有。また、通水側が露出しているため傷がつくおそれ有。 △	重量が重くなり、ボルトにかかる負担が大きくなり、ボルト損傷の可能性大。また、通水側が露出しているため傷がつくおそれ有。 ×	地震時につなぎの部分にかかる応力が大きく破損のおそれ有。また、通水側が露出しているため傷がつくおそれ有。 ×		
作業性	取替えはガスケットを含み2分程度。ボルトは8本中4本は取り外さない。	引き抜いて差し込む作業は変わらないが、重量が重く、作業性が悪いため作業時間は長くなる。 ◎	取替えは時間短縮されるが、取替え時、ボルト2本を除き取外す必要があるためトータルの作業時間はほとんど変わらない。 ×	取替えは時間短縮されるが、取替え時、ボルトを全て取外す必要があるためトータルの作業時間は長くなる。 ×		
評価	◎	×	×	×		
<p>ディスタンスピースの形状について検討を行った結果、閉止用と通水用とを分離しておくことが、取替えの作業性及び取替え時間に関して最適であることを確認した。</p>						
比較対象なし					設備の相違（相違理由②）	

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(4) ディスタンスピース取替え作業の訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ディスタンスピースの訓練用モックアップを新規に製作した。 ○今後、訓練用モックアップの使用も含めて、重大事故等対策要員が年1回以上の頻度で訓練を実施し、習熟度の向上及び確実な作業の技能維持を図る。  <p>ディスタンスピース訓練用モックアップ</p> <p>写真はイメージ</p>	<p>比較対象なし</p>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>[参考] 作業詳細</p> <p>① 燃料取替用水ビット側閉止用ディスタンスピース締付けボルト緩め及び取外し。(8本中上部4本抜き取り)</p> <p>a. 取替え前のフランジ面間寸法測定</p> <div data-bbox="286 263 873 710"> <p>燃料取替用水補給ライン</p> <p>作業箇所</p> <p>閉止板</p> <p>フランジ</p> <p>幅目安:220mm</p> <p>測定した値は記録すること</p> <p>フランジ間幅値の測定</p> <p>直尺(150mm)</p> <p>直尺を用いてフランジの上下左右の4点で幅値を測定し記録してください。</p> <p>記録した値は、ディスタンスピース取り付け時のボルト締め付けの際に参考値として使用する。</p> </div> <p>b. 片口メガネレンチ及びソケットレンチにてボルト緩め</p> <div data-bbox="264 829 855 1276"> <p>閉止板を取外すのでボルトナットを全て緩めます。</p> <p>メガネレンチで一方を固定し、ソケットレンチでナットを緩める。</p> <p>ソケットレンチ(30mm)でボルトナットを取り外す。</p> <p>メガネレンチ(30mm)で一方を固定</p> </div>	<div data-bbox="1388 758 1646 821" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 比較対象なし </div>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>② ディスタンスピース（閉止用）及びガスケット取外し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フランジ上部より抜き出す。 		
<p>③ ディスタンスピース（通水用）及びガスケット取付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フランジ上部から挿入し、ボルト上部に乗せるだけで位置決め完了。（シート面を傷つけないよう注意する。） 	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由			
<p>④ 締付けボルト取付け及び締付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・締付けボルト取付け（8本中上部4本取付け） ・片締めにならないよう対角に締め付ける。 <div data-bbox="264 248 853 695" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ボルトをフランジに取付け、ガスケットの圧縮率に注意しながらナットを締める。</p>  <p>ボルト締め付け時は、手順で記録した値を参考にする。また、そのフランジ剛性がガスケット圧縮率の規定値を満たしていることを直尺で確認する。</p> <table border="1" data-bbox="593 608 815 671"> <tr> <td>フランジ確認値</td> </tr> <tr> <td>既り値 目標22.0Nm</td> </tr> <tr> <td>(21.5mm~22.5mm)</td> </tr> </table> </div>	フランジ確認値	既り値 目標22.0Nm	(21.5mm~22.5mm)	<div data-bbox="1391 762 1641 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 比較対象なし </div>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>
フランジ確認値					
既り値 目標22.0Nm					
(21.5mm~22.5mm)					

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）




1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(1)</p> <p style="text-align: center;">代替水源を用いた燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>【1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給】</p> <p>1. 操作概要 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とし、ほう酸混合器を使用した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名/ユニット 操作時間(想定)：30分 操作時間(実績)：20分(現場移動時間を含む。)</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.12</p> <p style="text-align: center;">1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした 1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 操作概要 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とし、ほう酸混合器を使用した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋T.P.10.3m(中間床)</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名 操作時間(想定)：30分 操作時間(訓練実績等)：14分(現場移動、放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具(全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉補助建屋T.P.10.3m(中間床))</p> </div>	<p>【大飯】 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は、各水源から燃料取替用水ピットへの補給手段をまとめて記載している。 ・泊は、各水源から燃料取替用水ピットへの補給手段ごとに添付資料を作成している。(伊方3号炉と同様) ・以下、添付資料1.13.12~19まで同様の相違であるため相違理由を省略する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">比較のため、下段の添付資料1.13.8-(3)を再掲</p> <p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(3)</p> <p>【1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（使用済燃料ピット脱塩塔経由）】</p> <p>1. 操作概要 1次系純水タンクを水源とし、使用済燃料ピット脱塩塔を経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名/ユニット 操作時間（想定）：70分 操作時間（実績）：55分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.13</p> <p style="text-align: center;">1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる 使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 操作概要 1次系純水タンクを水源とし、使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋T.P.17.8m 周辺補機棟T.P.24.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名 操作時間（想定）：55分 操作時間（訓練実績等）：33分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>1次系補給水ポンプによる 補給系統構成 (原子炉補助建屋 T.P.17.8m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>1次系補給水ポンプによる補給 (原子炉補助建屋 T.P.17.8m)</p> </div> </div>	<p style="text-align: center;">記載表現の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(2)</p> <p>【1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（加圧器逃がしタンク経由）】</p> <p>1. 操作概要 1次系純水タンクを水源とし、加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名/ユニット 操作時間（想定）：60分 操作時間（実績）：47分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.14</p> <p>1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 操作概要 1次系純水タンクを水源とし、加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.17.8m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名 操作時間（想定）：35分 操作時間（訓練実績等）：17分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (周辺補機棟 T.P.17.8m（中間床）)</p> </div>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、**BWR**固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(3)</p> <p>【1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの補給（使用済燃料ビット脱塩塔経由）】</p> <p>1. 操作概要 1次系純水タンクを水源とし、使用済燃料ビット脱塩塔を経由した燃料取替用水ビットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名/ユニット 操作時間（想定）：70分 操作時間（実績）：55分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ビット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>添付資料1.13.13にて比較</p> </div>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(4)</p> <p>【No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給】</p> <p>1. 操作概要 No. 3淡水タンクを水源とし、使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名/ユニット 操作時間(想定)：50分 操作時間(実績)：38分(現場移動時間を含む。)</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div data-bbox="414 986 703 1206" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.15</p> <p style="text-align: center;">2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる 使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 操作概要 2次系純水タンクを水源とし、使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.24.8m, T.P.10.3m(中間床) 原子炉補助建屋T.P.17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名 操作時間(想定)：65分 操作時間(訓練実績等)：42分(現場移動、放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具(全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1352 1018 1673 1262" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (周辺補機棟 T.P. 10.3m(中間床))</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(5)</p> <p>【No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給】</p> <p>1. 作業概要 No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ピットへ補給するため、消火栓から燃料取替用水ピットまで可搬型ホースを敷設し補給する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：3名/ユニット 作業時間（想定）：45分 作業時間（実績）：36分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 作業性：可搬型ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に作業可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.16</p> <p style="text-align: center;">ろ過水タンクを水源とした 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 作業概要 ろ過水タンクから燃料取替用水ピットへ補給するため、屋内から燃料取替用水ピットまで消防ホースを敷設し補給する。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P.40.3m</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：1名 作業時間（想定）：30分 作業時間（訓練実績等）：14分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備または携行して作業を行う。 作業性：消防ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に作業可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>記載表現の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉					泊発電所3号炉				相違理由
号 炉	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	消防ホース敷設箇所				
3号炉	屋内消火栓～ 燃料取替用水ピット	60m	40A	4本	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	
4号炉	屋内消火栓～ 燃料取替用水ピット	60m	40A	4本	屋内消火栓（HC-64）～ 燃料取替用水ピット	約10m	65A	1本	
 ① 消火栓接続口（常時接続）  ② 消火栓～可搬型ホース施設  ③ 可搬型ホース（40A）接続口  ④ 可搬型ホース（40A）接続後  ⑤ 燃料取替用水ピット入口扉					 消火ポンプ起動 （周辺補機棟 T.P. 40.3m）  消火栓接続口（常時接続）  消防ホース（40A）接続前  消防ホース（40A）接続後  ろ過水タンクによる補給 （周辺補機棟 T.P. 40.3m）				

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.17-(1)</p> <p style="text-align: center;">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車，可搬型ホース等の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要 原水槽水を燃料取替用水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車，可搬型ホース等を設置する。原水槽へ吸管を挿入する。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P.10.3m 屋外（原水槽周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 6名 作業時間（想定） : 200分 作業時間（訓練実績等）: 160分（現場移動，放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても，ヘッドライト，懐中電灯等を携行していることから，アクセス可能である。また，アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア，運搬ルート及び設置エリア周辺には，作業を行う上で支障となる設備はなく，また，ヘッドライト，懐中電灯等を携行していることから作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し，防護具（全面マスク，個人線量計，ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお，冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが，夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性 : 可搬型大型送水ポンプ車は，車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外の可搬型ホースの敷設は，ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから，容易に実施可能である。また，可搬型ホースの接続は，汎用の結合金具であり，容易に実施可能である。 原水槽へ挿入する吸管は，可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており，人力で挿入できる。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも，無線連絡設備（携帯型），衛星電話設備（携帯型）を携帯しており，確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1137 177 1901 300" style="border: 1px solid black; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">敷設ルート</th> <th style="width: 20%;">敷設長さ</th> <th style="width: 20%;">ホース口径</th> <th style="width: 30%;">本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原水槽～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口</td> <td>約 600m×1系統 約 50m×1系統</td> <td style="text-align: center;">150A</td> <td>約 12本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1384 387 1637 576" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1258 585 1762 633" style="text-align: center;"> <p>ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設 （屋外）</p> </div> <div data-bbox="1200 659 1456 849" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1193 861 1460 888" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース（150A）接続前</p> </div> <div data-bbox="1559 659 1818 849" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1552 861 1825 888" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース（150A）接続後</p> </div> <div data-bbox="1200 930 1456 1120" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1189 1131 1464 1203" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置 原水槽への吸管挿入 （屋外）</p> </div> <div data-bbox="1552 922 1825 1128" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1576 1131 1803 1203" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車 周辺のホース敷設 （屋外）</p> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	原水槽～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 600m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 12本×1系統 約 5本×1系統	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由⑥）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
原水槽～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 600m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 12本×1系統 約 5本×1系統							

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.17-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.40.3m, T.P.17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間(想定) : 40分 操作時間(訓練実績等): 20分(現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路: ヘッドライト, 懐中電灯等を携行していることから, 建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また, アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境: 事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また, 作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり, 事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し, 防護具(全面マスク, 個人線量計, ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。 操作性 : 通常行う弁操作と同じであり, 容易に操作可能である。 連絡手段: 事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも, 携行型通話装置を使用し, 確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1352 962 1673 1203" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">原水槽から補助給水ビットへの補給 系統構成 (周辺補機棟 T.P.17.8m)</p>	<p>設備の相違(相違理由⑥)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.17-(3)</p> <p>【原水槽への補給】</p> <p>1. 作業概要 2次系純水タンク又はろ過水タンクの移送ラインに可搬型ホースを接続し、移送することにより原水槽への補給を行う。</p> <p>2. 作業場所 屋外（2次系純水タンク又はろ過水タンク周辺及び原水槽周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 3名 作業時間（想定） : 180分 作業時間（訓練実績等）: 135分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性 : 可搬型ホースは、人力で運搬・敷設が可能な仕様であり、フランジ接続により容易かつ確実に接続可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>ろ過水タンクからの補給（屋外） （作業風景は類似作業）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2次系純水タンクからの補給（屋外） （作業風景は類似作業）</p> </div> </div>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.18-(1)</p> <p>代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要 代替給水ピット水を燃料取替用水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。代替給水ピットへ吸管を挿入する。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P.33.1m 屋外（代替給水ピット周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 6名 作業時間（想定） : 145分 作業時間（訓練実績等）: 115分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外の可搬型ホースの敷設は、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は、汎用の結合金具であり、容易に実施可能である。 代替給水ピットへ挿入する吸管は、可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" data-bbox="1137 199 1899 300" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車33m接続口</td> <td>約150m×1系統 約50m×1系統</td> <td>150A</td> <td>約3本×1系統 約5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="1384 389 1639 584" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設（屋外）</p> <div data-bbox="1205 663 1460 855" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース（150A）接続前</p> <div data-bbox="1572 663 1827 855" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース（150A）接続後</p> <div data-bbox="1205 935 1460 1126" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型大型送水ポンプ車の設置代替給水ビットへの吸管挿入（屋外） （作業風景は類似作業）</p> <div data-bbox="1563 935 1827 1126" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型大型送水ポンプ車周辺のホース敷設（屋外）</p>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車33m接続口	約150m×1系統 約50m×1系統	150A	約3本×1系統 約5本×1系統	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由⑥）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車33m接続口	約150m×1系統 約50m×1系統	150A	約3本×1系統 約5本×1系統							

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="434 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.18-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟 T.P. 40.3m, T.P. 17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 40分 操作時間（訓練実績等） : 14分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性 : 通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1352 962 1673 1203" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">代替給水ピットから 補助給水ピットへの補給系統構成 (周辺補機棟 T.P. 17.8m)</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.19-(1)</p> <p style="text-align: center;">海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（水中ポンプの設置含む。）】</p> <p>1. 作業概要 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給を行うため、可搬型大型送水ポンプ車の設置、海水取水箇所への水中ポンプ設置、可搬型ホース等の敷設等を行い、補給する。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P.33.1m, T.P.10.3m 屋外（海水取水箇所周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 6名 作業時間（想定） : 200分 作業時間（訓練実績等）: 160分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外の可搬型ホースの敷設は、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は、汎用の結合金具であり、容易に実施可能である。 海水取水箇所に吊り下げて設置する水中ポンプは、軽量なものであり人力で降下設置できる。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" data-bbox="1144 188 1890 424"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車10m 接続口</td> <td>約 400m×1 系統 約 50m×1 系統</td> <td>150A</td> <td>約 8本×1 系統 約 5本×1 系統</td> </tr> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車33m 接続口</td> <td>約 450m×2 系統 約 550m×1 系統 約 50m×1 系統</td> <td>150A</td> <td>約 9本×2 系統 約 11本×1 系統 約 5本×1 系統</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1205 497 1453 687"> <p data-bbox="1155 699 1500 767">ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設（屋外）</p> </div> <div data-bbox="1563 497 1825 687"> <p data-bbox="1518 699 1863 767">ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設（屋外）</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1205 783 1453 973"> <p data-bbox="1200 991 1458 1011">可搬型ホース（150A）接続前</p> </div> <div data-bbox="1563 783 1825 973"> <p data-bbox="1563 991 1821 1011">可搬型ホース（150A）接続後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1205 1054 1453 1244"> <p data-bbox="1200 1257 1458 1326">可搬型大型送水ポンプ車の設置 ポンプ車周辺のホース敷設（屋外）</p> </div> <div data-bbox="1563 1054 1825 1244"> <p data-bbox="1552 1257 1836 1302">海水取水箇所への水中ポンプ設置（屋外）</p> </div> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車10m 接続口	約 400m×1 系統 約 50m×1 系統	150A	約 8本×1 系統 約 5本×1 系統	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車33m 接続口	約 450m×2 系統 約 550m×1 系統 約 50m×1 系統	150A	約 9本×2 系統 約 11本×1 系統 約 5本×1 系統	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数											
海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車10m 接続口	約 400m×1 系統 約 50m×1 系統	150A	約 8本×1 系統 約 5本×1 系統											
海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車33m 接続口	約 450m×2 系統 約 550m×1 系統 約 50m×1 系統	150A	約 9本×2 系統 約 11本×1 系統 約 5本×1 系統											

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="434 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.19-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.40.3m, T.P.17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間(想定) : 40分 操作時間(訓練実績等): 20分(現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路: ヘッドライト, 懐中電灯等を携行していることから, 建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また, アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境: 事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また, 作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり, 事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し, 防護具(全面マスク, 個人線量計, ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。 操作性 : 通常行う弁操作と同じであり, 容易に操作可能である。 連絡手段: 事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも, 携行型通話装置を使用し, 確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1352 962 1673 1203" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">海から補助給水ビットへの補給 系統構成 (周辺補機棟 T.P.17.8m)</p>	<p>設備の相違(相違理由⑥)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(6)</p> <p>【復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給（ディスタンスピース接続）】</p> <p>1. 作業概要 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給準備のために、補給ラインのディスタンスピースを閉止用から通水用に取り替える。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：3名/ユニット 作業時間（想定）：90分 作業時間（実績）：58分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 作業性：ディスタンスピース取替え作業は一般的な作業であるため、容易に作業可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 作業エリア (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② ディスタンスピース</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>② ディスタンスピース取替え (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p style="color: red; font-size: small;">設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(7)</p> <p>【復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給（系統構成）】</p> <p>1. 操作概要 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名/ユニット 操作時間（想定）：25分 操作時間（実績）：18分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② 燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.9</p> <p style="text-align: center;">1次系純水タンク及びびほう酸タンクから 燃料取替用水ピットへの補給について</p> <p>重大事故等発生時における燃料取替用水ピットへの補給については、事故進展に伴う再循環運転への移行の可否により判断することとしている。</p> <p>大飯3号炉及び4号炉において、重大事故等発生時における燃料取替用水ピットへの補給の判断基準及び理由は以下のとおりである。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【燃料取替用水ピットへの補給に係る記載抜粋】</p> <p>1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</p> <p>(6) 1次系純水タンク及びびほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損発生時減圧継続、高圧及び低圧再循環運転不能において、1次系純水タンク及びびほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> </div> <p>1次冷却材喪失事故等設計基準事故において、燃料取替用水ピットを水源として原子炉及び格納容器へ注水した後、燃料取替用水ピットが再循環切替水位に達すれば、格納容器再循環サンプを水源とした再循環運転に切り替え、継続的に原子炉及び格納容器内の冷却を行うが、格納容器バイパス事象（IS-LOCA、SGTR）においては、燃料取替用水ピット水を注水しても、漏えい箇所が格納容器外であることから、格納容器再循環サンプが再循環可能水位まで達しない可能性が高いため、燃料取替用水ピットへの補給により、原子炉等への注水を継続しつつ、蒸気発生器2次側からの冷却や加圧器逃がし弁等による1次冷却系減圧により事故収束を図る必要がある。また、何らかの原因により再循環運転ができない事象が発生した場合にも、燃料取替用水ピットへの補給により原子炉等への注水を継続し、代替炉心注水等により事故収束を図る必要がある。このように再循環運転への移行ができない事象については燃料取替用水ピットへの補給を判断する上で重要な要素であり、燃料取替用水ピットへの補給を判断する基準として設定している。（事故による漏洩の程度（漏洩量）によらず、比較的小流量（約30m³/h）である1次系純水タンク及びびほう酸タンクであっても有効と判断）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【比較のため高浜3 / 4号炉の添付資料 1.13.9 の抜粋を掲載】</p> <p>一方、格納容器バイパス事象以外の事故（LOCA等）については、燃料取替用水タンク水が格納容器再循環サンプに溜まり、基本的には再循環への切り替えが期待できるため格納容器バイパス事象ほどの緊急性はないものの、再循環切替失敗に対するリスクを考慮すると補給操作は事故対応上も考慮すべきである。運転員の事故対応の優先順位等も考慮し、事象や事故の規模（冷却材の漏洩量等）に関係なく対応できるよう「燃料取替用水タンクの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合」を補給の判断基準として取り込んでいる。</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.20</p> <p style="text-align: center;">1次系純水タンク及びびほう酸タンクから 燃料取替用水ピットへの補給について</p> <p>重大事故等発生時における燃料取替用水ピットへの補給については、事故進展に伴う再循環運転への移行の可否により判断することとしている。</p> <p>泊発電所3号炉において、重大事故等発生時における燃料取替用水ピットへの補給の判断基準及び理由は以下のとおりである。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【燃料取替用水ピットへの補給に係る記載抜粋】</p> <p>1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</p> <p>(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</p> <p>e. 1次系補給ポンプ及びびほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>(1) 手順着手の判断基準</p> <p>原子炉容器への注水中に燃料取替用水ピットの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合、1次冷却材喪失事故（大破断）が発生し安全注入及び雷圧注入動作を確認した場合、インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損時又は再循環運転による炉心注水不能時において、1次系純水タンク及びびほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>格納容器スプレイ中に燃料取替用水ピットの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合又は原子炉格納容器内へのスプレイ中の再循環運転不能時において、1次系純水タンク及びびほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> </div> <p>1次冷却材喪失事故等設計基準事故において、燃料取替用水ピットを水源として原子炉容器及び原子炉格納容器へ注水した後、燃料取替用水ピットが再循環切替水位に達すれば、格納容器再循環サンプを水源とした再循環運転に切り替え、継続的に発電用原子炉及び原子炉格納容器内の冷却を行うが、格納容器バイパス事象（IS-LOCA、SGTR）においては、燃料取替用水ピット水を注水しても、漏えい箇所が原子炉格納容器外であることから、格納容器再循環サンプが再循環可能水位まで達しない可能性が高いため、燃料取替用水ピットへの補給により、原子炉容器等への注水を継続しつつ、蒸気発生器2次側からの冷却や加圧器逃がし弁等による原子炉冷却材圧力バウンダリの減圧により事故収束を図る必要がある。また、何らかの原因により再循環運転ができない事象が発生した場合にも、燃料取替用水ピットへの補給により原子炉容器等への注水を継続し、代替炉心注水等により事故収束を図る必要がある。このように再循環運転への移行ができない事象については燃料取替用水ピットへの補給を判断する上で重要な要素であり、燃料取替用水ピットへの補給を判断する基準として設定している。（事故による漏えいの程度（漏えい量）によらず、比較的小流量（約30m³/h）である1次系純水タンク及びびほう酸タンクであっても有効と判断）</p>	<p>記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】 運用の相違（相違理由⑦）</p> <p>【高浜】 設備名称の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

添付資料1.13.10

水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表

1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文	
		番号	手順名称
復水ピットへの供給に係る手順等 蒸気発生器2次側による炉心冷却	復水ピットからNo. 3淡水タンクへの水源切替	1.13	本条文中で整備
	A、B2次系純水タンクからNo. 3淡水タンクへの補給	1.13	本条文中で整備
	復水ピットから脱気器タンクへの水源切替	1.2	電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水
	1次冷却系のフィードアンドブリード	1.2	1次冷却系のフィードアンドブリード
	No. 3淡水タンクから復水ピットへの補給	1.13	本条文中で整備
	No. 2淡水タンクから復水ピットへの補給	1.13	本条文中で整備
	海水を用いた復水ピットへの補給	1.13	本条文中で整備
	炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水 ピットへの供給に係る手順等	燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替	1.13
燃料取替用水ピットからNo. 2淡水タンクへの水源切替		1.4	電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水
燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替		1.13	本条文中で整備
燃料取替用水ピットから海水への水源切替		1.4	可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水
1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給		1.13	本条文中で整備
1次系純水タンクから加圧器逃がしタンク経由の補給		1.13	本条文中で整備
1次系純水タンクから使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給		1.13	本条文中で整備
No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給		1.13	本条文中で整備
No. 2淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給		1.13	本条文中で整備
復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給		1.13	本条文中で整備

泊発電所3号炉

添付資料1.13.21

水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表 (1/5)

1.13 手順名称	詳細手順を整備する条文	
	番号	手順名称
燃料取替用水ピットを水源とした炉心注水	1.1	ほう酸水注入
	1.2	1次冷却系のフィードアンドブリードによる発電用炉心の冷却
	1.2	1次冷却系のフィードアンドブリードによる発電用炉心の冷却
	1.3	加圧器補助スプレイポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための原子炉容器への注水
	1.4	定てんポンプによる原子炉容器への注水
		日一機納容器スプレイポンプ（RHSS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水
		代替機納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水
		日一機定てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水
		日一機納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHSS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水
		高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水
	1.8	燃料取替用水ピットからの高圧注水による原子炉容器への注水
	1.6	燃料取替用水ピットを水源とした原子炉納容器内の冷却
		代替機納容器スプレイポンプによる原子炉納容器内へのスプレイ
	1.6	燃料取替用水ピットを水源とした原子炉納容器内の加熱
日一機納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉納容器内へのスプレイ		
1.7	納容器スプレイポンプによる原子炉納容器内へのスプレイ	
1.4	燃料取替用水ピットを水源とした原子炉納容器下部への注水	
1.8	代替機納容器スプレイポンプによる原子炉納容器下部への注水	
1.8	日一機納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉納容器下部への注水	
1.11	燃料取替用水ピットを水源とした使用済燃料ピットへの注水	
補助給水ピットを水源とした炉心注水	1.1	原子炉出力制御（自動） 原子炉出力制御（手動）
	1.2	96直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水
		電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水
	1.2	現場手動操作によるタービン補助給水ポンプの機能回復
		施設代替保安電源設備による電動補助給水ポンプの機能回復
	1.3	96直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水
		現場手動操作によるタービン補助給水ポンプの機能回復
	1.2	電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水
		電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水
	1.2	96直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水
タービン補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水		
1.8	電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	
	電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	
ろ過水タンクを水源とした	1.4	電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水
	1.6	電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉納容器内へのスプレイ
	1.6	電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉納容器内へのスプレイ
	1.8	電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉納容器下部への注水
	1.11	電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる使用済燃料ピットへの注水

記載方針の相違
 （女川審査実績の反映）
 ・各手段構成の相違による相違。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉			泊発電所3号炉			相違理由
1.13 手順名称			水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表 (2/5)			
	1.13 手順名称	詳細手順を整備する条文		1.13 手順名称	詳細手順を整備する条文	
		番号	手順名称		番号	手順名称
燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等	燃料取替用水ピットからNo. 2淡水タンクへの水源切替	1.6	電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替格納容器スプレイ	代替給水ピットを水源とした原子炉格納容器内への注水	1.2	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
	燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替	1.13	本条文中整備		1.2	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
	燃料取替用水ピットから海水への水源切替	1.6	可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ		1.4	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水
	1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中整備		1.2	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
	1次系純水タンクから加圧器逃がしタンク経由の補給	1.13	本条文中整備		1.2	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
	1次系純水タンクから使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給	1.13	本条文中整備		1.6	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ
	No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中整備		1.6	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ
	No. 2淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中整備		1.8	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水
	復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中整備		1.11	代替給水ピットを水源とした使用済燃料ピットへの注水/スプレイ
	1.13 手順名称				1.11	代替給水ピットを水源とした大気への放射性物質の拡散抑制
水源とした再循環運転に係る手順等	高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	1.4	高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	原水槽を水源とした原子炉格納容器内への注水	1.2	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
	A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	1.4	A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転		1.2	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
	B高圧注入ポンプ（海水冷却）、大容量ポンプによる高圧代替再循環運転	1.4	B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転		1.2	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
	A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	1.4	A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転		1.6	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ
					1.6	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ
使用済燃料ピットへの水の供給時に	No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11	No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	原水槽を水源とした原子炉格納容器下部への注水	1.8	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水
	No. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11	No. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水（船内消火栓） No. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水（船外消火栓）		1.11	原水槽を水源とした使用済燃料ピットへの注水/スプレイ
	ポンプ車によるNo. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11	ポンプ車によるNo. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水		1.11	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる使用済燃料ピットへのスプレイ
	ポンプ車によるNo. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11	ポンプ車によるNo. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水		1.11	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる大気への放射性物質の拡散抑制
	1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11	1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水			
	海水から使用済燃料ピットへの注水	1.11	海水から使用済燃料ピットへの注水			

記載方針の相違
 （女川審査実績の反映）
 ・各手段構成の相違による相違

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉		泊発電所3号炉		相違理由
1.13 手順名称		1.13 手順名称		
		詳細手順を整備する条文		
		番号	手順名称	
使用時 送水車による使用済燃料ピット又は原子炉周辺 建屋（貯蔵槽内燃料体等）へのスプレー 及び放水に係る手順等	1.11	送水車による使用済燃料ピットへのスプレー	1.11	送水車による使用済燃料ピット又は原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）へのスプレー
	1.12	送水車及びスプレーヘッドによる大気への拡散抑制	1.11	1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水
	1.11	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）への放水	1.11	2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水
大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）への放水 及び放水砲による原子炉周辺の スプレー	1.11	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）への放水	1.11	2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水
	1.12	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による大気への拡散抑制		
破損時の著しい損傷及び格納容器の への格納水に格納水に係る手順等 及びアニュラス部	1.12	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による格納容器及びアニュラス部への放水	1.2	電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水
			1.2	電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水
海水を水源とした対応手順	1.12	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による大気への拡散抑制	1.2	電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水
			1.4	電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水
			1.5	電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水
			1.2	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
			1.2	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
			1.4	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器への注水
			1.2	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
			1.5	可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード
			1.2	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
			1.5	可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード
			1.6	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー
			1.7	可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D一格納容器内前継ユニットによる格納容器内自然対流冷却
			1.6	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー
			1.7	可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D一格納容器内前継ユニットによる格納容器内自然対流冷却
1.8	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水			
1.11	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水			
1.5	原子炉補機冷却海水ポンプ及び原子炉補機冷却海水ポンプによる補機冷却水確保			

記載方針の相違
 （女川審査実績の反映）
 ・各手段構成の相違による相違

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																
水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表（4/5）																																																																																																		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">1.13 手順名称</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">詳細手順を整備する条文</th> </tr> <tr> <th></th> <th>番号</th> <th colspan="2">手順名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための格納容器内自然対流冷却</td> <td>1.7</td> <td colspan="2">可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器内循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1.5</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車によるA-副調用空気圧縮機への補機冷却水（海水）通水</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納冷却水（可搬型大容量海水送水ポンプ車冷却）による余熱除去ポンプを用いた代替炉心冷却</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための代替補機冷却</td> <td>1.11</td> <td colspan="2">海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインゾルによる大気への放射性物質の拡散抑制</td> </tr> <tr> <td>1.12</td> <td colspan="2">可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">海を水源とした大気への放射性物質の拡散抑制</td> <td>1.11</td> <td colspan="2">海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインゾルによる大気への放射性物質の拡散抑制</td> </tr> <tr> <td>1.12</td> <td colspan="2">可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">海を水源とした航空機燃料火災への消滅火</td> <td>1.12</td> <td colspan="2">可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水砲及び泡混合設備による航空機燃料火災への消滅火</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">水ほうとう酸たタンク対応手順</td> <td>1.1</td> <td colspan="2">ほう酸水注入</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">格納容器再循環システムを水源とした再循環運転</td> <td rowspan="2">1.4</td> <td colspan="2">余熱除去ポンプによる低圧再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="2">高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> </tr> <tr> <td>1.6</td> <td colspan="2">格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ</td> </tr> <tr> <td>1.4</td> <td colspan="2">単一格納容器スプレイポンプ（RBRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">格納容器再循環システムを水源とした代替再循環運転</td> <td colspan="2"></td> <td>可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">へ燃料の取水対応手順</td> <td>1.13</td> <td colspan="2">可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td>1.13</td> <td colspan="2">電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td>1.13</td> <td colspan="2">1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td>1.13</td> <td colspan="2">2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td>1.13</td> <td colspan="2">1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">水補を補助給水ビット対応するための</td> <td>1.13</td> <td colspan="2">可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td>1.13</td> <td colspan="2">2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給</td> </tr> </tbody> </table>	1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文			番号	手順名称		海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための格納容器内自然対流冷却	1.7	可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器内循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却		1.5	可搬型大型送水ポンプ車によるA-副調用空気圧縮機への補機冷却水（海水）通水		可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水		格納冷却水（可搬型大容量海水送水ポンプ車冷却）による余熱除去ポンプを用いた代替炉心冷却			海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための代替補機冷却	1.11	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインゾルによる大気への放射性物質の拡散抑制		1.12	可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制		海を水源とした大気への放射性物質の拡散抑制	1.11	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインゾルによる大気への放射性物質の拡散抑制		1.12	可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制		海を水源とした航空機燃料火災への消滅火	1.12	可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水砲及び泡混合設備による航空機燃料火災への消滅火					水ほうとう酸たタンク対応手順	1.1	ほう酸水注入					格納容器再循環システムを水源とした再循環運転	1.4	余熱除去ポンプによる低圧再循環運転		高圧注入ポンプによる高圧再循環運転		1.6	格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ		1.4	単一格納容器スプレイポンプ（RBRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転		格納容器再循環システムを水源とした代替再循環運転			可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転										へ燃料の取水対応手順	1.13	可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給		1.13	電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給		1.13	1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給		1.13	2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給		1.13	1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給		水補を補助給水ビット対応するための	1.13	可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給		1.13	2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給		<p>記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・各手段構成の相違による相違。</p>
1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文																																																																																																
	番号	手順名称																																																																																																
海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための格納容器内自然対流冷却	1.7	可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器内循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却																																																																																																
	1.5	可搬型大型送水ポンプ車によるA-副調用空気圧縮機への補機冷却水（海水）通水																																																																																																
		可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水																																																																																																
	格納冷却水（可搬型大容量海水送水ポンプ車冷却）による余熱除去ポンプを用いた代替炉心冷却																																																																																																	
海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための代替補機冷却	1.11	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインゾルによる大気への放射性物質の拡散抑制																																																																																																
	1.12	可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制																																																																																																
海を水源とした大気への放射性物質の拡散抑制	1.11	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインゾルによる大気への放射性物質の拡散抑制																																																																																																
	1.12	可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制																																																																																																
海を水源とした航空機燃料火災への消滅火	1.12	可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水砲及び泡混合設備による航空機燃料火災への消滅火																																																																																																
水ほうとう酸たタンク対応手順	1.1	ほう酸水注入																																																																																																
格納容器再循環システムを水源とした再循環運転	1.4	余熱除去ポンプによる低圧再循環運転																																																																																																
		高圧注入ポンプによる高圧再循環運転																																																																																																
	1.6	格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ																																																																																																
	1.4	単一格納容器スプレイポンプ（RBRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転																																																																																																
格納容器再循環システムを水源とした代替再循環運転			可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転																																																																																															
へ燃料の取水対応手順	1.13	可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																																																
	1.13	電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給																																																																																																
	1.13	1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給																																																																																																
	1.13	2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給																																																																																																
	1.13	1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給																																																																																																
水補を補助給水ビット対応するための	1.13	可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給																																																																																																
	1.13	2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給																																																																																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																											
	<p style="text-align: center;">水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表（5/5）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">1.13 手順名称</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">詳細手順を整備する条文</th> </tr> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 75%;"></th> <th style="width: 5%;">番号</th> <th style="width: 15%;">手順名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="font-size: small;">水の 補給 水 槽 へ の 切 替 手 順 の た め</td> <td>2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給</td> <td>1.13</td> <td>本文中で整備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="font-size: small;">燃 料 取 替 用 水 ビ ツ ト へ の 切 替 え</td> <td>燃料取替用水ビツトから補助給水ビツトへの切替え（原子炉容器への注水時の場合）</td> <td>1.13</td> <td>本文中で整備</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビツトから補助給水ビツトへの切替え（原子炉格納容器内へのスプレイング時の場合）</td> <td>1.13</td> <td>本文中で整備</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">ほ う 酸 タ ン ク へ の 切 替 え</td> <td>燃料取替用水ビツトから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え</td> <td>1.13</td> <td>本文中で整備</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">タ ー ビ ン 動 機 補 給 水 ボ ン プ の 切 替 え</td> <td>電動補助給水ポンプ又はタービン動機補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え</td> <td>1.13</td> <td>本文中で整備</td> </tr> </tbody> </table>	1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文				番号	手順名称	水の 補給 水 槽 へ の 切 替 手 順 の た め	2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給	1.13	本文中で整備	燃 料 取 替 用 水 ビ ツ ト へ の 切 替 え	燃料取替用水ビツトから補助給水ビツトへの切替え（原子炉容器への注水時の場合）	1.13	本文中で整備	燃料取替用水ビツトから補助給水ビツトへの切替え（原子炉格納容器内へのスプレイング時の場合）	1.13	本文中で整備	ほ う 酸 タ ン ク へ の 切 替 え	燃料取替用水ビツトから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え	1.13	本文中で整備	タ ー ビ ン 動 機 補 給 水 ボ ン プ の 切 替 え	電動補助給水ポンプ又はタービン動機補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え	1.13	本文中で整備	<p style="color: blue;">記載方針の相違 （女川審査実績の 反映） ・各手段構成の相 違による相違。</p>
1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文																											
		番号	手順名称																										
水の 補給 水 槽 へ の 切 替 手 順 の た め	2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給	1.13	本文中で整備																										
燃 料 取 替 用 水 ビ ツ ト へ の 切 替 え	燃料取替用水ビツトから補助給水ビツトへの切替え（原子炉容器への注水時の場合）	1.13	本文中で整備																										
	燃料取替用水ビツトから補助給水ビツトへの切替え（原子炉格納容器内へのスプレイング時の場合）	1.13	本文中で整備																										
ほ う 酸 タ ン ク へ の 切 替 え	燃料取替用水ビツトから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え	1.13	本文中で整備																										
タ ー ビ ン 動 機 補 給 水 ボ ン プ の 切 替 え	電動補助給水ポンプ又はタービン動機補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え	1.13	本文中で整備																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉					泊発電所3号炉					相違理由				
添付資料 1.13.11-(1)					添付資料1.13.22-(1)									
各タンク等配置図及び仕様					各タンク等配置図及び仕様									
<p>重大事故等の収束に必要となる水の供給手順のうち、蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）、炉心注水、格納容器スプレー及び使用済燃料ピットへの注水に使用する各タンク等の配置、容量及び用途を以下のとおり示す。</p>					<p>重大事故等時に必要となる水の供給手順のうち、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）、炉心注水、格納容器スプレー及び使用済燃料ピットへの注水・スプレーに使用する各タンク等の配置、容量及び用途を以下のとおり示す。</p>					<p>記載内容の相違 ・基準改正による相違 記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>設備の相違（相違理由④⑥）</p>				
No.	タンク等名称	容量	分類	用途	No.	タンク等名称	容量	分類	用途					
				SA時					通常時					
1	No. 2 淡水タンク※	8,000m ³	淡水	・代替炉心注水 ・代替格納容器スプレー ・復水ピット補給 ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・消火水供給 ・淡水供給	1	Aーろ過水タンク (3号炉)	約1,500m ³	淡水	・原水槽補給 ・代替炉心注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・消火水供給 ・淡水供給			
2	No. 3 淡水タンク※			2次系純水	・蒸気発生器注水 ・復水ピット補給 ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・2次系補給水供給 ・使用済燃料ピット補給	2	Bーろ過水タンク (3号炉)	約1,500m ³	淡水	・原水槽補給 ・代替炉心注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・消火水供給 ・淡水供給		
3	A 2次系純水タンク	8,500m ³	2次系純水	・No. 3 淡水タンク補給	・2次系補給水供給	3	Aーろ過水タンク (1, 2号炉共用)	約1,500m ³	淡水	・原水槽補給 ・代替炉心注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・消火水供給 ・淡水供給			
4	B 2次系純水タンク					2次系純水	・原水槽補給 ・代替炉心注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・消火水供給 ・淡水供給	4	Bーろ過水タンク (1, 2号炉共用)	約1,500m ³	淡水	・原水槽補給 ・代替炉心注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・消火水供給 ・淡水供給
5	3号炉 脱気器タンク	約600m ³	2次系純水	・蒸気発生器注水	・蒸気発生器注水	5	A-2次系純水タンク	約1,500m ³	2次系純水	・蒸気発生器注水 ・補助給水ピット補給 ・原水槽補給 ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・2次系補給水供給 ・使用済燃料ピット補給			
6	4号炉 脱気器タンク					2次系純水	・蒸気発生器注水	・蒸気発生器注水	6	B-2次系純水タンク	約1,500m ³	2次系純水	・蒸気発生器注水 ・補助給水ピット補給 ・原水槽補給 ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・2次系補給水供給 ・使用済燃料ピット補給
7	A 1次系純水タンク	328m ³	1次系純水	・炉心注水 ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・原子炉補給水供給	7	脱気器タンク	約400m ³	2次系純水	・蒸気発生器注水	・蒸気発生器注水			
8	B 1次系純水タンク					1次系純水	・炉心注水 ・燃料取替用水ピット補給	・原子炉補給水供給 ・燃料取替用水ピット補給	8	1次系純水タンク	約360m ³	1次系純水	・炉心注水 ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・原子炉補給水供給 ・燃料取替用水ピット補給
9	3号炉 Aほう酸タンク	約100m ³	ほう酸水	・炉心注水 ・燃料取替用水ピット補給	・原子炉補給水供給 ・燃料取替用水ピット補給	9	A-ほう酸タンク	約40m ³	ほう酸水	・炉心注水 ・燃料取替用水ピット補給	・原子炉補給水供給 ・燃料取替用水ピット補給			
10	3号炉 Bほう酸タンク					ほう酸水	・炉心注水 ・燃料取替用水ピット補給	・原子炉補給水供給 ・燃料取替用水ピット補給	10	B-ほう酸タンク	約40m ³	ほう酸水	・炉心注水 ・燃料取替用水ピット補給	・原子炉補給水供給 ・燃料取替用水ピット補給
11	4号炉 Aほう酸タンク					ほう酸水	・炉心注水、代替炉心注水 ・格納容器スプレー、代替格納容器スプレー	・炉心注水 ・格納容器スプレー ・使用済燃料ピット補給	11	燃料取替用水ピット	約2,000m ³	ほう酸水	・炉心注水、代替炉心注水 ・格納容器スプレー、代替格納容器スプレー	・炉心注水 ・格納容器スプレー ・使用済燃料ピット補給
12	4号炉 Bほう酸タンク					ほう酸水	・蒸気発生器注水 ・代替炉心注水 ・格納容器スプレー、代替格納容器スプレー	・炉心注水 ・格納容器スプレー ・使用済燃料ピット補給	12	補助給水ピット	約660m ³	2次系純水	・蒸気発生器注水 ・代替炉心注水 ・代替格納容器スプレー ・蒸気発生器注水 ・補助給水ピット補給 ・代替炉心注水	・蒸気発生器注水
13	3号炉 燃料取替用水ピット	約2,900m ³	ほう酸水	・炉心注水、代替炉心注水 ・格納容器スプレー、代替格納容器スプレー	・炉心注水 ・格納容器スプレー ・使用済燃料ピット補給	13	A-原水槽	約5,000m ³	淡水	・蒸気発生器注水 ・補助給水ピット補給 ・代替炉心注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水 ・使用済燃料ピットスプレー	・淡水供給			
14	4号炉 燃料取替用水ピット	約2,100m ³				2次系純水	・蒸気発生器注水 ・炉心注水、代替炉心注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給	・蒸気発生器注水	14	B-原水槽	約5,000m ³	淡水	・蒸気発生器注水 ・補助給水ピット補給 ・代替炉心注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水 ・使用済燃料ピットスプレー	・淡水供給
15	3号炉 復水ピット	約1,200m ³	2次系純水	・蒸気発生器注水 ・炉心注水、代替炉心注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給	・蒸気発生器注水	15	代替給水ピット	約473m ³	淡水	・蒸気発生器注水 ・補助給水ピット補給 ・代替炉心注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水 ・使用済燃料ピットスプレー	-			
16	4号炉 復水ピット					2次系純水	・蒸気発生器注水 ・炉心注水、代替炉心注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給	・蒸気発生器注水						

※1号炉および2号炉建設時にNo.1～3 淡水タンクとして運用開始したが、その後、No.2、3 淡水タンクを純水タンクとして使用することになり、新規基準下の溢水対策として現在の運用としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）





大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.11-(2)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 300px; height: 300px; margin: 0 auto;"></div> <p style="text-align: center;">各タンク等配置図及び仕様（2 / 4）</p> <div style="border: 2px solid black; width: 350px; height: 250px; margin: 10px auto;"></div> <p style="text-align: center;">添付資料 1.13.11-(3)</p> <p style="font-size: small; border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p style="text-align: center;">添付資料1.13.22-(2)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 300px; height: 200px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 2px solid black; width: 300px; height: 350px; margin: 10px auto;"></div> <p style="text-align: center;">添付資料 1.13.22-(2)</p> <p style="font-size: small; border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="text-align: center;">相違理由</p> <p style="color: red; text-align: center;">設備の相違（相違理由④⑥）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">各タンク等配置図及び仕様（3/4）</p>  <p style="text-align: center;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.22-(3)</p> 	
<p style="text-align: center;">各タンク等配置図及び仕様（4/4）</p>  <p style="text-align: center;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p style="text-align: center;">[] 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

添付資料 1.13.11-(4)

添付資料 1.13.11-(5)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉 添付資料 1.13.12-(1)	泊発電所3号炉 添付資料1.13.23-(1)	相違理由																																																														
<p>可搬型ホース接続口の配置</p> <p>重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順のうち、蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）に使用する復水ビット及び炉心注水、格納容器スプレイに使用する燃料取替用水ビットへの補給手順の内、可搬型ホースを敷設する供給手順について、可搬型ホースの接続口を示す。</p> <p>なお、建屋入口は、通用扉を開放し可搬型ホースを引き込む。 また、復水ビット及び燃料取替用水ビットは、上部点検扉を開放し可搬型ホースを導く。</p> <table border="1" data-bbox="136 536 981 699"> <thead> <tr> <th>手順名</th> <th>接続口</th> <th>接続方式</th> <th>添付資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>No. 2 淡水タンクから復水ビットへの補給</td> <td>消火栓と可搬型ホース接続</td> <td>差込み式</td> <td>1.13.12-(2)</td> </tr> <tr> <td>海水を用いた復水ビットへの補給</td> <td>送水車と可搬型ホース接続（取水側）</td> <td>ねじ込み式</td> <td>1.13.12-(3)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>送水車と可搬型ホース接続（送水側）</td> <td>ツイスター金具</td> <td>1.13.12-(5)</td> </tr> <tr> <td>No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td>消火栓と可搬型ホース接続</td> <td>差込み式</td> <td>1.13.12-(7)</td> </tr> </tbody> </table>	手順名	接続口	接続方式	添付資料	No. 2 淡水タンクから復水ビットへの補給	消火栓と可搬型ホース接続	差込み式	1.13.12-(2)	海水を用いた復水ビットへの補給	送水車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	1.13.12-(3)		送水車と可搬型ホース接続（送水側）	ツイスター金具	1.13.12-(5)	No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	消火栓と可搬型ホース接続	差込み式	1.13.12-(7)	<p>可搬型ホース接続口の配置</p> <p>重大事故等時に必要となる水の供給手順のうち、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）に使用する補助給水ビット及び炉心注水、格納容器スプレイに使用する燃料取替用水ビットへの補給手順のうち、可搬型ホースを敷設する供給手順について、可搬型ホースの接続口を示す。</p> <p>なお、建屋入口は、通用扉を開放し可搬型ホースを引き込む。 また、ろ過水タンクから燃料取替用水ビットへの補給時は、アクセスドアを開放し消防ホースを導く。 原水槽、代替給水ビット又は海水を用いた補助給水ビット又は燃料取替用水ビットへの補給時は、可搬型ホースを代替給水・注水配管接続口へ接続する。</p> <table border="1" data-bbox="1057 576 1980 1082"> <thead> <tr> <th>手順名</th> <th>接続口</th> <th>接続方式</th> <th>添付資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）</td> <td>結合金具接続</td> <td rowspan="5">1.13-7-(1) 1.13-17-(1)</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンクと可搬型ホース接続</td> <td>フランジ接続</td> </tr> <tr> <td>2次系純水タンクと可搬型ホース接続</td> <td>フランジ接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）</td> <td>結合金具接続</td> <td rowspan="3">1.13-8-(1) 1.13-18-(1)</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車33m接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）</td> <td>結合金具接続</td> <td rowspan="3">1.13-9-(1) 1.13-19-(1)</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> <td>可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> <td rowspan="2">1.13-9-(1) 1.13-19-(1)</td> </tr> <tr> <td>可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車33m接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> <td>屋内消火栓と消防ホース接続</td> <td>ワンタッチ式</td> <td>1.13-16</td> </tr> </tbody> </table>	手順名	接続口	接続方式	添付資料	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	結合金具接続	1.13-7-(1) 1.13-17-(1)	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続	結合金具接続	ろ過水タンクと可搬型ホース接続	フランジ接続	2次系純水タンクと可搬型ホース接続	フランジ接続	代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	結合金具接続	1.13-8-(1) 1.13-18-(1)	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車33m接続口接続	結合金具接続	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	結合金具接続	1.13-9-(1) 1.13-19-(1)	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続	結合金具接続	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続	結合金具接続	1.13-9-(1) 1.13-19-(1)	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車33m接続口接続	結合金具接続	ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給	屋内消火栓と消防ホース接続	ワンタッチ式	1.13-16	<p>記載内容の相違 ・基準改正による相違</p> <p>設備の相違 ・大飯3/4号炉は、No. 2 淡水タンク及び海水による補給は扉を開放して直接各ビットに補給する。 ・泊3号炉はろ過水タンクから燃料取替用水ビットへの補給時のみ扉を開放して直接補給するが、その他補給手順は、可搬型ホースを補給配管に接続することで補給可能。（伊方3号炉同様）</p>
手順名	接続口	接続方式	添付資料																																																													
No. 2 淡水タンクから復水ビットへの補給	消火栓と可搬型ホース接続	差込み式	1.13.12-(2)																																																													
海水を用いた復水ビットへの補給	送水車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	1.13.12-(3)																																																													
	送水車と可搬型ホース接続（送水側）	ツイスター金具	1.13.12-(5)																																																													
No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	消火栓と可搬型ホース接続	差込み式	1.13.12-(7)																																																													
手順名	接続口	接続方式	添付資料																																																													
原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	結合金具接続	1.13-7-(1) 1.13-17-(1)																																																													
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続																																																														
	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続	結合金具接続																																																														
	ろ過水タンクと可搬型ホース接続	フランジ接続																																																														
	2次系純水タンクと可搬型ホース接続	フランジ接続																																																														
代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	結合金具接続	1.13-8-(1) 1.13-18-(1)																																																													
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続																																																														
	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車33m接続口接続	結合金具接続																																																														
海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	結合金具接続	1.13-9-(1) 1.13-19-(1)																																																													
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続																																																														
	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続	結合金具接続																																																														
海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続	結合金具接続	1.13-9-(1) 1.13-19-(1)																																																													
	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車33m接続口接続	結合金具接続																																																														
ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給	屋内消火栓と消防ホース接続	ワンタッチ式	1.13-16																																																													

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1787 140 1973 164" style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(2)</div> <div data-bbox="1093 263 1765 1273" style="border: 2px solid black; height: 633px; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="1809 475 1839 1042" style="text-align: center; font-size: small;"> 原水槽から補助給水ピット又は燃料取扱替用水ピットへの補給(1/2) </div> <div data-bbox="1877 284 1906 866" style="text-align: center; font-size: small;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<div data-bbox="2000 751 2136 799" style="color: red; font-size: small;"> 設備の相違（相違理由④⑥） </div>

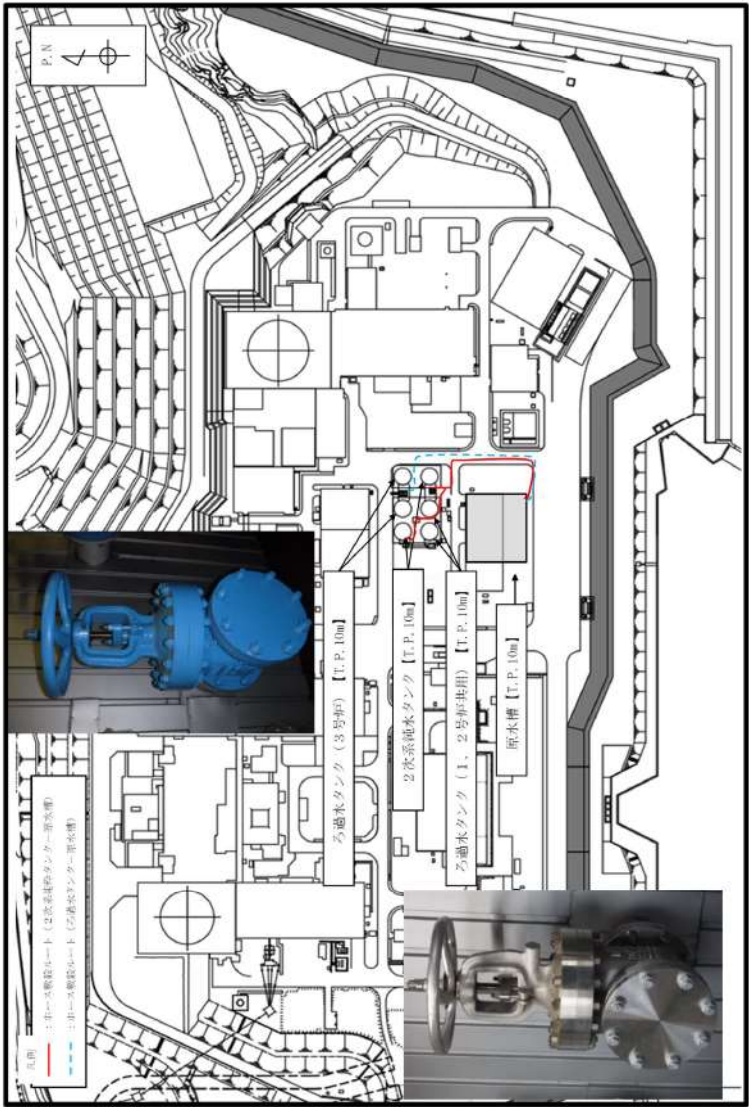
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1787 140 1973 164" style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(3)</div> <div data-bbox="1184 301 1715 1385" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 20px auto;"></div> <div data-bbox="1765 512 1798 1072" style="text-align: center; font-size: small;"> 原水槽から補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(2/2) </div> <div data-bbox="1834 323 1868 807" style="text-align: center; font-size: small;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<div data-bbox="1995 751 2139 802" style="color: red; font-size: small;">設備の相違（相違理由④⑤）</div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(4)</p>  <p style="text-align: center;">ろ過水タンク又は2次系純水タンクから原水槽への補給</p>	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由④⑤）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1787 140 1973 164" style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(5)</div> <div data-bbox="1066 272 1805 1390" style="border: 2px solid black; height: 700px; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="1850 483 1877 1185" style="text-align: center; font-size: small;">代替給水ピットから補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(1/2)</div> <div data-bbox="1921 352 1948 890" style="text-align: center; font-size: small;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</div> <div data-bbox="1921 903 1948 995" style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>	<div data-bbox="2000 754 2136 802" style="color: red; font-size: small;">設備の相違（相違理由④⑤）</div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="434 778 685 833" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1787 140 1973 164" style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(6)</div> <div data-bbox="1077 280 1816 1370" style="border: 2px solid black; height: 683px; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="1850 347 1928 1126" style="text-align: center; font-size: small;"> 代替給水ピットから補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(2/2) 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<div data-bbox="2002 767 2136 815" style="color: red; font-size: small;">設備の相違（相違理由④⑥）</div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.12-(2)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 80%; margin: 20px auto; height: 600px; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 5px; left: 5px; writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">可搬型ホース接続口配置図</div> <div style="position: absolute; top: 5px; right: 5px; writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">No. 2 淡水タンクから復水ピットへの補給</div> <div style="position: absolute; right: 5px; top: 50%; transform: translateY(-50%); writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="color: red; font-size: small;">設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.12-(3)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 80%; margin: 20px auto; height: 600px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; position: absolute; top: 100px; right: 100px; text-align: center; font-size: 8px;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: 50px; top: 300px;">可搬型ホース接続口配置図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 (1/2)</p>	<p style="text-align: center;">添付資料1.13.23-(7)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 80%; margin: 20px auto; height: 600px;"></div> <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: 800px; top: 300px;">海水を用いた補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(1/3)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 100px; height: 20px; position: absolute; left: 820px; top: 500px;"></div> <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: 830px; top: 180px;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.12-(4)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 300px; height: 700px; margin: 20px auto;"></div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース接続口配置図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給（2/2）</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: 20px auto; text-align: center;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<p style="text-align: center;">添付資料1.13.23-(8)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 300px; height: 700px; margin: 20px auto;"></div> <p style="text-align: center;">海水を用いた補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(2/3)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: 20px auto; text-align: center;"> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p style="text-align: center;">設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1787 140 1973 164" style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(9)</div> <div data-bbox="1070 248 1816 1353" style="border: 2px solid black; height: 692px; margin: 10px 0;"></div> <div data-bbox="1848 260 1928 1053" style="text-align: right; padding-right: 10px;"> 海水を用いた補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(3/3) 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.12-(5)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 90%; margin: 20px auto; height: 700px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20%; margin: 10px auto; padding: 5px;"> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; position: absolute; left: 40px; top: 320px;">可搬型ホース接続口配置図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給（1 / 2）</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 80%; margin: auto;">比較対象なし</div>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.12-(6)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 90%; margin: 20px auto; height: 600px;"></div> <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 10px; top: 50%; transform: translateY(-50%); border: 1px solid black; padding: 2px;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: 10px; top: 50%; transform: translateY(-50%); border: 1px solid black; padding: 2px;">可搬型ホース接続口配置図 4号炉 海水を用いた復水ビットへの補給（2 / 2）</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 80%; margin: auto;">比較対象なし</div>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.12-(7)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 50%; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); font-size: 2em; font-weight: bold;"> 可搬型ホース接続口配置図 No. 2淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給 </div> <div style="position: absolute; right: 10px; top: 10px; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> </div>	<p style="text-align: center;">添付資料1.13.23-(10)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; right: 10px; top: 10px; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div> </div>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.13</p> <p style="text-align: center;">復水ビットへの海水補給手段の多重性について</p> <p>復水ビットへの海水補給については、復水ビット入口扉にアクセスできない場合においても、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプのテストラインに可搬型ホースを接続することで補給できる。具体的な補給手段について、以下に記載する。</p> <p>1. 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインからの復水ビット補給 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインに可搬型ホースを接続することで、復水ビット入口扉にアクセスすることなく復水ビットへの補給を実施する。 なお、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインについては、設計基準地震動により機能を喪失しない設計とする。</p> <div data-bbox="253 555 862 735" data-label="Diagram"> </div> <p>2. 作業時間について 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインからの補給作業時間については、復水ビット入口扉よりアクセスし補給する場合と同じ約3.4時間と想定しており、有効性評価における復水ビットを水源とするタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の復水ビット枯渇までの約18.7時間までに補給が可能であり、注水を継続することができる。 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインへの可搬型ホース接続作業場所（3号炉の例）を「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインへの可搬型ホース接続作業場所について」に示す。</p>	<div data-bbox="1384 762 1637 815" data-label="Text"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯3/4号炉は、海水を復水ビットに補給し、復水ビットから水頭圧を利用した重力注水により燃料取替用水ビットに補給する手順であるため、復水ビットへの海水補給について多重性を考慮している。 ・泊3号炉は、燃料取替用水ビットに補助給水ビットを経由せず直接海水を補給可能であるため、多重性を考慮していない。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインへの可搬型ホース接続作業場所について（3号炉の例）</p> <div data-bbox="136 209 983 679" style="border: 2px solid black; height: 295px; width: 378px; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="412 683 978 715" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>	<div data-bbox="1386 762 1637 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 比較対象なし </div>	<p>設備の相違（相違理由③）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯3/4号炉は、海水を復水ビットに補給し、復水ビットから水頭圧を利用した重力注水により燃料取替用水ビットに補給する手順であるため、復水ビットへの海水補給について多重性を考慮している。 ・泊3号炉は、燃料取替用水ビットに補助給水ビットを経由せず直接海水を補給可能であるため、多重性を考慮していない。

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

泊発電所3号炉

添付資料1.13.24

相違理由

大飯3/4号炉比較対象なし

【比較のため女川の添付資料1.13.4を掲載】

添付資料 1.13.4

解釈一覧

操作手順の解釈一覧

手順	操作手順記載内容	解釈
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順	(1) 復水貯蔵タンクへ水を補給するための対応手順 復水貯蔵タンクの水位を維持	・補給開始：復水貯蔵タンクを水源とした原子炉注水等を実施しており、復水貯蔵タンク水位が1600 m ³ 未満となった場合 ・補給停止：復水貯蔵タンク水位2700m ³ 以上となった場合

解釈一覧

1. 判断基準の解釈一覧(1/2)

手順	判断基準記載内容	解釈
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順	(1) 燃料貯蔵タンク水位が規定値以下となった場合 (2) 燃料貯蔵タンク水位が規定値以下となった場合	1. 燃料貯蔵タンク水位が規定値以下となった場合 2. 燃料貯蔵タンク水位が規定値以下となった場合
(A) 復水貯蔵タンクを水源とした1次高純水ポンプによる燃料貯蔵タンクへの補給	1. 燃料貯蔵タンク水位が規定値以下となった場合 2. 燃料貯蔵タンク水位が規定値以下となった場合	1. 燃料貯蔵タンク水位が規定値以下となった場合 2. 燃料貯蔵タンク水位が規定値以下となった場合
(B) 代用給水ポンプを水源とした1次高純水ポンプによる燃料貯蔵タンクへの補給	1. 代用給水ポンプ水位が規定値以下となった場合 2. 代用給水ポンプ水位が規定値以下となった場合	1. 代用給水ポンプ水位が規定値以下となった場合 2. 代用給水ポンプ水位が規定値以下となった場合
(C) 1次高純水ポンプを水源とした1次高純水ポンプによる燃料貯蔵タンクへの補給	1. 1次高純水ポンプ水位が規定値以下となった場合 2. 1次高純水ポンプ水位が規定値以下となった場合	1. 1次高純水ポンプ水位が規定値以下となった場合 2. 1次高純水ポンプ水位が規定値以下となった場合

記載方針の相違
(女川審査実績の反映)

【女川】
設備の相違による対応手段の相違
・女川は、判断基準の記載にて解釈が必要な内容がないため整理していない。
・泊は、判断基準の記載に解釈が必要な記載があり、操作手順に解釈が必要な記載がないための相違。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉

泊発電所3号炉

相違理由

大飯3 / 4号炉比較対象なし

【比較のため女川の添付資料1.13.4を掲載】

添付資料 1.13.4

解釈一覧
操作手順の解釈一覧

手順	操作手順記載内容	解釈
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順	(1) 復水貯蔵タンクへ水を補給するための対応手順 復水貯蔵タンクの水位を維持	・補給開始：復水貯蔵タンクを水源とした原子炉注水等を実施しており、復水貯蔵タンク水位が1600 m ³ 未満となった場合 ・補給停止：復水貯蔵タンク水位2700m ³ 以上となった場合

1. 判断基準の解釈一覧(2/2)

手順	判断基準記載内容	解釈
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順	(1) 燃料貯蔵タンクからの燃料貯蔵タンクへの供給	2 二次冷却タンク等の水位が確保 2 二次冷却タンク水位が9,010mm以上
	(2) 燃料貯蔵タンクからの燃料貯蔵タンクへの供給	2 二次冷却タンク等の水位が確保 2 二次冷却タンク水位が9,010mm以上
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順	(1) 1 次冷却タンク及び2 次冷却タンクからの燃料貯蔵タンクへの供給	1 1 次冷却タンク及び2 次冷却タンク水位が確保 1 1 次冷却タンク水位が20%以上 1 2 次冷却タンク水位が3%以上
	(2) 1 次冷却タンク及び2 次冷却タンクからの燃料貯蔵タンクへの供給	1 1 次冷却タンク及び2 次冷却タンク水位が確保 1 1 次冷却タンク水位が20%以上 1 2 次冷却タンク水位が3%以上
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順	(1) 復水貯蔵タンクからの燃料貯蔵タンクへの供給	復水貯蔵タンクの水位が確保 復水貯蔵タンクの水位に余裕
	(2) 代替給水タンクからの燃料貯蔵タンクへの供給	代替給水タンクの水位が確保 代替給水タンク水位に余裕
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順	(1) 2 次冷却タンクからの燃料貯蔵タンクへの供給	2 次冷却タンクの水位が確保 2 次冷却タンク水位が9,010mm以上
	(2) 2 次冷却タンクからの燃料貯蔵タンクへの供給	2 次冷却タンクの水位が確保 2 次冷却タンク水位が9,010mm以上
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順	(1) 燃料貯蔵タンクからの燃料貯蔵タンクへの供給	燃料貯蔵タンクの水位が確保 燃料貯蔵タンク水位が3%以上
	(2) 燃料貯蔵タンクからの燃料貯蔵タンクへの供給	燃料貯蔵タンクの水位が確保 燃料貯蔵タンク水位が3%以上
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順	(1) 燃料貯蔵タンクからの燃料貯蔵タンクへの供給	1 二次冷却タンク及び2 次冷却タンク水位が確保 1 二次冷却タンク水位が20%以上 1 2 次冷却タンク水位が3%以上
	(2) 燃料貯蔵タンクからの燃料貯蔵タンクへの供給	2 二次冷却タンク等の水位が確保 2 二次冷却タンク水位が9,010mm以上

記載方針の相違
(女川審査実績の反映)

【女川】
設備の相違による対応手段の相違
・女川は、判断基準の記載にて解釈が必要な内容がないため整理していない。
・泊は、判断基準の記載に解釈が必要な記載があり、操作手順に解釈が必要な記載がないための相違。

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																												
<p>大飯3 / 4号炉比較対象なし</p> <p>【比較のため女川の添付資料1.13.4を掲載】</p> <table border="1" data-bbox="152 853 974 1077" style="margin: auto;"> <caption>弁番号及び弁名称一覧</caption> <thead> <tr> <th>弁番号</th> <th>弁名称</th> <th>操作場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P13-F041</td> <td>復水貯蔵タンク外部注水入口弁</td> <td>CST 連絡トレンチ/バルブ室</td> </tr> <tr> <td>P70-D001-1</td> <td>復水貯蔵タンク補給弁</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>FW-V-300</td> <td>ろ過水タンク非常用接続端止め弁（大容量送水ポンプ用）</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>FW-V-301</td> <td>ろ過水タンク非常用戻り側接続端止め弁（大容量送水ポンプ用）</td> <td>屋外</td> </tr> </tbody> </table>	弁番号	弁名称	操作場所	P13-F041	復水貯蔵タンク外部注水入口弁	CST 連絡トレンチ/バルブ室	P70-D001-1	復水貯蔵タンク補給弁	屋外	FW-V-300	ろ過水タンク非常用接続端止め弁（大容量送水ポンプ用）	屋外	FW-V-301	ろ過水タンク非常用戻り側接続端止め弁（大容量送水ポンプ用）	屋外	<p>2. 弁番号及び弁名称一覧</p> <table border="1" data-bbox="1086 231 1937 1364"> <thead> <tr> <th>弁番号</th> <th>弁名称</th> <th>操作場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3V-RF-102</td> <td>ECTトラックアクセスエリア側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁（SA対策）</td> <td>周辺補機棟T.P. 40.3m</td> </tr> <tr> <td>3V-RF-100</td> <td>燃料取替用水ビットオーバーフローライン海水供給止め弁（SA対策）</td> <td>周辺補機棟T.P. 40.3m</td> </tr> <tr> <td>3V-RF-101</td> <td>燃料取替用水ビット給水ライン止め弁（SA対策）</td> <td>周辺補機棟T.P. 40.3m</td> </tr> <tr> <td>3V-FW-664</td> <td>R/B東側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁（SA対策）</td> <td>周辺補機棟T.P. 17.8m</td> </tr> <tr> <td>3V-FW-663</td> <td>補助給水ビット-燃料取替用水ビット給水連絡ライン止め弁（SA対策）</td> <td>周辺補機棟T.P. 17.8m</td> </tr> <tr> <td>3V-SF-104A</td> <td>A-使用済燃料ビット脱塩塔入口弁</td> <td>原子炉補助建屋T.P. 17.8m</td> </tr> <tr> <td>3V-SF-104B</td> <td>B-使用済燃料ビット脱塩塔入口弁</td> <td>原子炉補助建屋T.P. 17.8m</td> </tr> <tr> <td>3V-SF-112</td> <td>使用済燃料ビット脱塩塔逆洗水絞り弁</td> <td>原子炉補助建屋T.P. 17.8m</td> </tr> <tr> <td>3V-SF-114A</td> <td>A-使用済燃料ビット脱塩塔逆洗弁</td> <td>原子炉補助建屋T.P. 17.8m</td> </tr> <tr> <td>3V-SF-114B</td> <td>B-使用済燃料ビット脱塩塔逆洗弁</td> <td>原子炉補助建屋T.P. 17.8m</td> </tr> <tr> <td>3V-SF-127A</td> <td>A-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁</td> <td>原子炉補助建屋T.P. 17.8m</td> </tr> <tr> <td>3V-SF-127B</td> <td>B-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁</td> <td>原子炉補助建屋T.P. 17.8m</td> </tr> <tr> <td>3V-CS-050</td> <td>脱塩塔補給水止め弁</td> <td>原子炉補助建屋T.P. 17.8m</td> </tr> <tr> <td>3V-RC-073</td> <td>加圧器逃がしタンクドレン弁</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>3V-RC-097</td> <td>加圧器逃がしタンク補給水ライン止め弁</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>3V-WL-031</td> <td>格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/V内側隔離弁</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>3V-SF-059A</td> <td>A-使用済燃料ビット補給弁</td> <td>周辺補機棟T.P. 10.3m（中間床）</td> </tr> <tr> <td>3V-SF-059B</td> <td>B-使用済燃料ビット補給弁</td> <td>周辺補機棟T.P. 10.3m（中間床）</td> </tr> <tr> <td>3V-SF-047</td> <td>使用済燃料ビット脱塩水補給弁</td> <td>周辺補機棟T.P. 10.3m（中間床）</td> </tr> <tr> <td>3V-CS-548</td> <td>ほう酸混合器出口手動補給ラインほう酸補給止め弁</td> <td>原子炉補助建屋T.P. 10.3m（中間床）</td> </tr> <tr> <td>3V-CS-551</td> <td>ほう酸混合器出口燃料取替用水ビット補給ライン切替弁</td> <td>原子炉補助建屋T.P. 10.3m（中間床）</td> </tr> <tr> <td>3FCV-223A</td> <td>1次系純水補給ライン流量制御弁</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>3FCV-220A</td> <td>ほう酸補給ライン流量制御弁</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>3V-FW-661</td> <td>補助給水ビットブローライン給水用止め弁（SA対策）</td> <td>周辺補機棟T.P. 17.8m</td> </tr> <tr> <td>3V-FW-662</td> <td>補助給水ビット給水ライン止め弁（SA対策）</td> <td>周辺補機棟T.P. 17.8m</td> </tr> <tr> <td>3V-FW-630</td> <td>補助給水ビット脱塩水補給ライン流量絞り弁</td> <td>周辺補機棟T.P. 24.8m</td> </tr> <tr> <td>3V-RW-131A</td> <td>A-ろ過水タンクブロー弁</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>3V-RW-131B</td> <td>B-ろ過水タンクブロー弁</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>V-MW-905A</td> <td>A-ろ過水タンク排水弁</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>V-MW-905B</td> <td>B-ろ過水タンク排水弁</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>V-MW-952A</td> <td>A-2次系純水タンク排水弁</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>V-MW-952B</td> <td>B-2次系純水タンク排水弁</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>3V-RH-100</td> <td>B-余熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対策）</td> <td>原子炉補助建屋T.P. 10.3m（中間床）</td> </tr> <tr> <td>3V-CP-147</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口炉心注入用絞り弁</td> <td>周辺補機棟T.P. 10.3m</td> </tr> <tr> <td>3V-CP-132</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ補助給水ビット側入口止め弁</td> <td>周辺補機棟T.P. 17.8m</td> </tr> <tr> <td>3V-CP-135</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ入口テスト用止め弁</td> <td>周辺補機棟T.P. 17.8m</td> </tr> <tr> <td>3V-CP-144</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁</td> <td>原子炉補助建屋T.P. 10.3m</td> </tr> <tr> <td>3V-CP-141</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁</td> <td>周辺補機棟T.P. 10.3m</td> </tr> <tr> <td>3V-CP-013B</td> <td>B-格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>3FCV-220B</td> <td>体積制御タンク出口側補給弁</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>3LCV-121D</td> <td>充電ポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁A</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>3LCV-121E</td> <td>充電ポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁B</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>3V-FW-608B</td> <td>タービン動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁</td> <td>周辺補機棟T.P. 10.3m</td> </tr> <tr> <td>3V-FW-608A</td> <td>A、B-電動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁</td> <td>周辺補機棟T.P. 10.3m</td> </tr> <tr> <td>3V-FW-601</td> <td>補助給水ビット電動補助給水ポンプ側出口弁</td> <td>周辺補機棟T.P. 24.8m</td> </tr> <tr> <td>3V-FW-604</td> <td>補助給水ビットタービン動補助給水ポンプ側出口弁</td> <td>周辺補機棟T.P. 24.8m</td> </tr> </tbody> </table>	弁番号	弁名称	操作場所	3V-RF-102	ECTトラックアクセスエリア側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁（SA対策）	周辺補機棟T.P. 40.3m	3V-RF-100	燃料取替用水ビットオーバーフローライン海水供給止め弁（SA対策）	周辺補機棟T.P. 40.3m	3V-RF-101	燃料取替用水ビット給水ライン止め弁（SA対策）	周辺補機棟T.P. 40.3m	3V-FW-664	R/B東側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁（SA対策）	周辺補機棟T.P. 17.8m	3V-FW-663	補助給水ビット-燃料取替用水ビット給水連絡ライン止め弁（SA対策）	周辺補機棟T.P. 17.8m	3V-SF-104A	A-使用済燃料ビット脱塩塔入口弁	原子炉補助建屋T.P. 17.8m	3V-SF-104B	B-使用済燃料ビット脱塩塔入口弁	原子炉補助建屋T.P. 17.8m	3V-SF-112	使用済燃料ビット脱塩塔逆洗水絞り弁	原子炉補助建屋T.P. 17.8m	3V-SF-114A	A-使用済燃料ビット脱塩塔逆洗弁	原子炉補助建屋T.P. 17.8m	3V-SF-114B	B-使用済燃料ビット脱塩塔逆洗弁	原子炉補助建屋T.P. 17.8m	3V-SF-127A	A-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁	原子炉補助建屋T.P. 17.8m	3V-SF-127B	B-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁	原子炉補助建屋T.P. 17.8m	3V-CS-050	脱塩塔補給水止め弁	原子炉補助建屋T.P. 17.8m	3V-RC-073	加圧器逃がしタンクドレン弁	中央制御室	3V-RC-097	加圧器逃がしタンク補給水ライン止め弁	中央制御室	3V-WL-031	格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/V内側隔離弁	中央制御室	3V-SF-059A	A-使用済燃料ビット補給弁	周辺補機棟T.P. 10.3m（中間床）	3V-SF-059B	B-使用済燃料ビット補給弁	周辺補機棟T.P. 10.3m（中間床）	3V-SF-047	使用済燃料ビット脱塩水補給弁	周辺補機棟T.P. 10.3m（中間床）	3V-CS-548	ほう酸混合器出口手動補給ラインほう酸補給止め弁	原子炉補助建屋T.P. 10.3m（中間床）	3V-CS-551	ほう酸混合器出口燃料取替用水ビット補給ライン切替弁	原子炉補助建屋T.P. 10.3m（中間床）	3FCV-223A	1次系純水補給ライン流量制御弁	中央制御室	3FCV-220A	ほう酸補給ライン流量制御弁	中央制御室	3V-FW-661	補助給水ビットブローライン給水用止め弁（SA対策）	周辺補機棟T.P. 17.8m	3V-FW-662	補助給水ビット給水ライン止め弁（SA対策）	周辺補機棟T.P. 17.8m	3V-FW-630	補助給水ビット脱塩水補給ライン流量絞り弁	周辺補機棟T.P. 24.8m	3V-RW-131A	A-ろ過水タンクブロー弁	屋外	3V-RW-131B	B-ろ過水タンクブロー弁	屋外	V-MW-905A	A-ろ過水タンク排水弁	屋外	V-MW-905B	B-ろ過水タンク排水弁	屋外	V-MW-952A	A-2次系純水タンク排水弁	屋外	V-MW-952B	B-2次系純水タンク排水弁	屋外	3V-RH-100	B-余熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対策）	原子炉補助建屋T.P. 10.3m（中間床）	3V-CP-147	代替格納容器スプレイポンプ出口炉心注入用絞り弁	周辺補機棟T.P. 10.3m	3V-CP-132	代替格納容器スプレイポンプ補助給水ビット側入口止め弁	周辺補機棟T.P. 17.8m	3V-CP-135	代替格納容器スプレイポンプ入口テスト用止め弁	周辺補機棟T.P. 17.8m	3V-CP-144	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	原子炉補助建屋T.P. 10.3m	3V-CP-141	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	周辺補機棟T.P. 10.3m	3V-CP-013B	B-格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁	中央制御室	3FCV-220B	体積制御タンク出口側補給弁	中央制御室	3LCV-121D	充電ポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁A	中央制御室	3LCV-121E	充電ポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁B	中央制御室	3V-FW-608B	タービン動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	周辺補機棟T.P. 10.3m	3V-FW-608A	A、B-電動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	周辺補機棟T.P. 10.3m	3V-FW-601	補助給水ビット電動補助給水ポンプ側出口弁	周辺補機棟T.P. 24.8m	3V-FW-604	補助給水ビットタービン動補助給水ポンプ側出口弁	周辺補機棟T.P. 24.8m	<p>記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】 設備の相違による 対応手段の相違</p>
弁番号	弁名称	操作場所																																																																																																																																																												
P13-F041	復水貯蔵タンク外部注水入口弁	CST 連絡トレンチ/バルブ室																																																																																																																																																												
P70-D001-1	復水貯蔵タンク補給弁	屋外																																																																																																																																																												
FW-V-300	ろ過水タンク非常用接続端止め弁（大容量送水ポンプ用）	屋外																																																																																																																																																												
FW-V-301	ろ過水タンク非常用戻り側接続端止め弁（大容量送水ポンプ用）	屋外																																																																																																																																																												
弁番号	弁名称	操作場所																																																																																																																																																												
3V-RF-102	ECTトラックアクセスエリア側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁（SA対策）	周辺補機棟T.P. 40.3m																																																																																																																																																												
3V-RF-100	燃料取替用水ビットオーバーフローライン海水供給止め弁（SA対策）	周辺補機棟T.P. 40.3m																																																																																																																																																												
3V-RF-101	燃料取替用水ビット給水ライン止め弁（SA対策）	周辺補機棟T.P. 40.3m																																																																																																																																																												
3V-FW-664	R/B東側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁（SA対策）	周辺補機棟T.P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-FW-663	補助給水ビット-燃料取替用水ビット給水連絡ライン止め弁（SA対策）	周辺補機棟T.P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-SF-104A	A-使用済燃料ビット脱塩塔入口弁	原子炉補助建屋T.P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-SF-104B	B-使用済燃料ビット脱塩塔入口弁	原子炉補助建屋T.P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-SF-112	使用済燃料ビット脱塩塔逆洗水絞り弁	原子炉補助建屋T.P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-SF-114A	A-使用済燃料ビット脱塩塔逆洗弁	原子炉補助建屋T.P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-SF-114B	B-使用済燃料ビット脱塩塔逆洗弁	原子炉補助建屋T.P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-SF-127A	A-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁	原子炉補助建屋T.P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-SF-127B	B-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁	原子炉補助建屋T.P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-CS-050	脱塩塔補給水止め弁	原子炉補助建屋T.P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-RC-073	加圧器逃がしタンクドレン弁	中央制御室																																																																																																																																																												
3V-RC-097	加圧器逃がしタンク補給水ライン止め弁	中央制御室																																																																																																																																																												
3V-WL-031	格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/V内側隔離弁	中央制御室																																																																																																																																																												
3V-SF-059A	A-使用済燃料ビット補給弁	周辺補機棟T.P. 10.3m（中間床）																																																																																																																																																												
3V-SF-059B	B-使用済燃料ビット補給弁	周辺補機棟T.P. 10.3m（中間床）																																																																																																																																																												
3V-SF-047	使用済燃料ビット脱塩水補給弁	周辺補機棟T.P. 10.3m（中間床）																																																																																																																																																												
3V-CS-548	ほう酸混合器出口手動補給ラインほう酸補給止め弁	原子炉補助建屋T.P. 10.3m（中間床）																																																																																																																																																												
3V-CS-551	ほう酸混合器出口燃料取替用水ビット補給ライン切替弁	原子炉補助建屋T.P. 10.3m（中間床）																																																																																																																																																												
3FCV-223A	1次系純水補給ライン流量制御弁	中央制御室																																																																																																																																																												
3FCV-220A	ほう酸補給ライン流量制御弁	中央制御室																																																																																																																																																												
3V-FW-661	補助給水ビットブローライン給水用止め弁（SA対策）	周辺補機棟T.P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-FW-662	補助給水ビット給水ライン止め弁（SA対策）	周辺補機棟T.P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-FW-630	補助給水ビット脱塩水補給ライン流量絞り弁	周辺補機棟T.P. 24.8m																																																																																																																																																												
3V-RW-131A	A-ろ過水タンクブロー弁	屋外																																																																																																																																																												
3V-RW-131B	B-ろ過水タンクブロー弁	屋外																																																																																																																																																												
V-MW-905A	A-ろ過水タンク排水弁	屋外																																																																																																																																																												
V-MW-905B	B-ろ過水タンク排水弁	屋外																																																																																																																																																												
V-MW-952A	A-2次系純水タンク排水弁	屋外																																																																																																																																																												
V-MW-952B	B-2次系純水タンク排水弁	屋外																																																																																																																																																												
3V-RH-100	B-余熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対策）	原子炉補助建屋T.P. 10.3m（中間床）																																																																																																																																																												
3V-CP-147	代替格納容器スプレイポンプ出口炉心注入用絞り弁	周辺補機棟T.P. 10.3m																																																																																																																																																												
3V-CP-132	代替格納容器スプレイポンプ補助給水ビット側入口止め弁	周辺補機棟T.P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-CP-135	代替格納容器スプレイポンプ入口テスト用止め弁	周辺補機棟T.P. 17.8m																																																																																																																																																												
3V-CP-144	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	原子炉補助建屋T.P. 10.3m																																																																																																																																																												
3V-CP-141	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	周辺補機棟T.P. 10.3m																																																																																																																																																												
3V-CP-013B	B-格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁	中央制御室																																																																																																																																																												
3FCV-220B	体積制御タンク出口側補給弁	中央制御室																																																																																																																																																												
3LCV-121D	充電ポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁A	中央制御室																																																																																																																																																												
3LCV-121E	充電ポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁B	中央制御室																																																																																																																																																												
3V-FW-608B	タービン動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	周辺補機棟T.P. 10.3m																																																																																																																																																												
3V-FW-608A	A、B-電動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	周辺補機棟T.P. 10.3m																																																																																																																																																												
3V-FW-601	補助給水ビット電動補助給水ポンプ側出口弁	周辺補機棟T.P. 24.8m																																																																																																																																																												
3V-FW-604	補助給水ビットタービン動補助給水ポンプ側出口弁	周辺補機棟T.P. 24.8m																																																																																																																																																												